

平成 28 年度事業報告書

IV 附属明細書

(ホームページのみ掲載分)

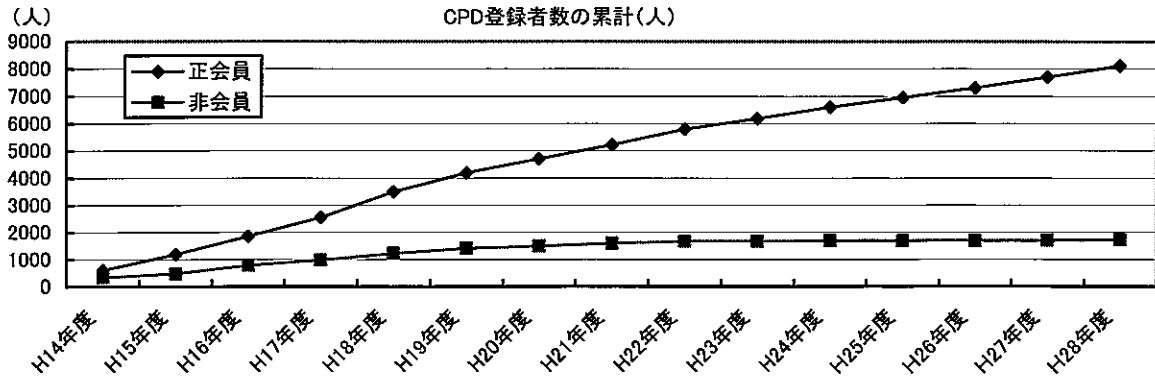
資料 10	技術士 CPD 登録等実績	1
資料 11	総会及び理事会における議題一覧	2
資料 12	規程類の制定・変更一覧	6
資料 13	第 8 回企業と技術者の倫理とコンプライアンス	8
資料 14	第 4 回技術者倫理ワークショップ	8
資料 15	技術士 CPD 中央講座	9
資料 16	技術士 CPD ミニ講座	11
資料 17	第 34 回技術士 CPD・技術士業績・研究発表年次大会	12
資料 18	新春記念講演会	13
資料 19	第 19 回北東 3 地域本部技術士交流会	14
資料 20	第 22 回西日本技術士研究・業績発表年次大会	15
資料 21	第 43 回技術士全国大会(横浜) 創立 65 周年記念大会	16
資料 22	地域産学官と技術士との合同セミナー	18
資料 23	技術士を目指そう、修習ガイダンス 2017	22
資料 24	技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会	22
資料 25	技術士第一次試験合格者祝賀会	23
資料 26	技術士第二次試験合格者祝賀会	24
資料 27	技術士業務に関する対外協力件数	26
資料 28	技術支援基礎講座等	27
資料 29	海外技術業務協力実務講習会	28
資料 30	第 17 回修習技術者発表研究年次大会	29
資料 31	第 29 回修習技術者研修セミナー	29
資料 32	修習技術者キャリアプランセミナー	30
資料 33	修習技術者研修会/修習技術者発表研究会	30
資料 34	第 12 回全国防災連絡会議	32
資料 35	新聞・雑誌等記事掲載一覧	33
資料 36	技術士制度の講演会、説明会一覧	33
資料 37	後援、協賛等	34
資料 38	四役会議・常設委員長会議・地域本部長会議・部会長会議	36
資料 39	委員会の会議開催状況	39
資料 40	部会の開催	43
資料 41	地域本部の会合	43

資料 42	県支部の会合	44
資料 43	部会における講演会	45
資料 44	部会における見学会	57
資料 45	地域本部における主な講演会等	59
資料 46	地域本部における主な見学会	89
資料 47	地域本部管轄下の県支部における主な講演会等	92
資料 48	関東甲信地域の県支部における主な講演会等	100
資料 49	地域本部管轄下の県支部における主な見学会	110
資料 50	関東甲信地域の県支部における主な見学会	111
資料 51	地域本部管轄下の県支部、部門別正会員・準会員数	113
資料 52	関東甲信地域における県支部、部門別正会員・準会員数	116
資料 53	地域本部、部門別 女性正会員・準会員数	117
資料 54	会員による活動グループの異動状況	118
資料 55	平成 28 年度技術士試験実施状況	119
資料 56	技術部門別 女性技術士登録者数	120
資料 57	技術部門別 女性技術士補登録者数	121

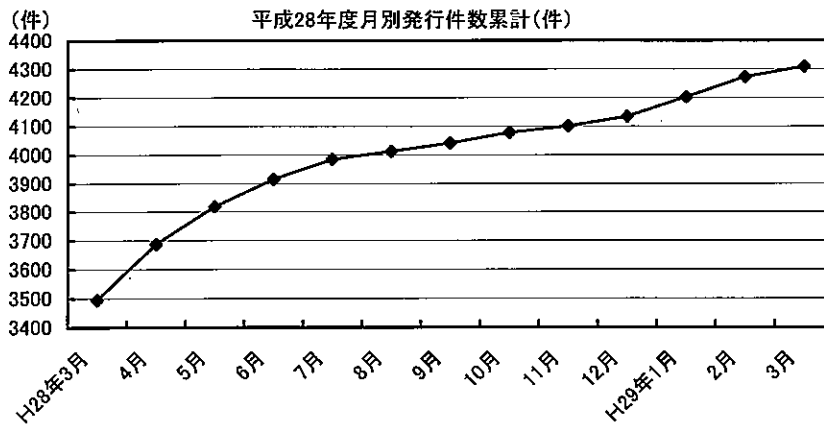
資料 10 技術士CPD登録等実績

1. CPD登録者（平成13年4月1日～平成29年3月31日）

平成29年3月末（人）	WEB			文書			合計		
	正会員	非会員	計	正会員	非会員	計	正会員	非会員	計
	7,644	1,274	8,918	476	458	934	8,120	1,732	9,852

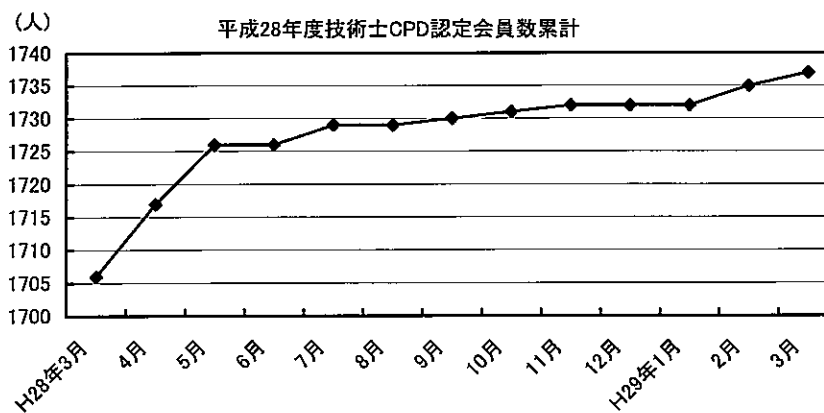


2. CPD登録証明書（平成17年4月1日～平成29年3月31日）



期間	数(件)
H17.4～H20.3	179
H20.4～H21.3	145
H21.4～H22.3	224
H22.4～H23.3	545
H23.4～H24.3	326
H24.4～H25.3	317
H25.4～H26.3	359
H26.4～H27.3	646
H27.4～H28.3	755
H28.4～H29.3	814
累計	4,310

3. CPD認定会員（平成18年3月1日～平成29年3月31日）



期間	数(人)
H18.3～H19.3	619
H19.4～H20.3	248
H20.4～H21.3	122
H21.4～H22.3	125
H22.4～H23.3	94
H23.4～H24.3	38
H24.4～H25.3	189
H25.4～H26.3	176
H26.4～H27.3	54
H27.4～H28.3	41
H28.4～H29.3	31
累計	1,737

※ 1,737名のうち1,127名は死亡・退会、更新せず。実際には、610名

資料 11 総会及び理事会における議題一覧

(1) 総会

第 58 回定時総会（平成 28 年 6 月 16 日）

第 1 号議案 役員の選任について

（報告事項）

1. 平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）
事業報告及び同収支決算報告並びに監査報告について
2. 平成 28 年度事業計画及び収支予算について

(2) 理事会

第 1 回（平成 28 年 5 月 11 日）

（審議事項）

1. 特定費用準備資金等の計上及び運用に関する規則の制定等について
2. 平成 27 年度事業報告及び収支決算について
3. 役員候補者の選定について
4. 第 58 回定時総会の開催日時・議題等について
5. 平成 28 年度新名誉会員について
6. 平成 28 年度フェロー認定について
7. 平成 28 年度会長表彰者について
8. APEC エンジニア日豪二国間協定の締結について
9. 役員候補者選出選挙規則の変更について
10. 近畿本部兵庫県支部の設置について
11. 人事院勧告に基づく常勤理事の報酬変更について
12. 会員の入会等について（報告事項）

（報告事項）

1. 科学技術・学術審議会技術士分科会等報告について
2. 第 5 期科学技術基本計画について
3. 防災会議（平成 28 年熊本地震災害）の設置について
4. 東日本大震災復興支援活動状況報告について
5. 平成 27 年度技術士 CPD 定期審査実施報告について
6. 総務委員会の議事録作成に関する手引きの制定について
7. 四国、中部、北陸、中国本部の運営における個別事項の手引きの制定等について
8. 緩やかな連携の推進について
9. 外部委員会委員等の推薦について
10. 常設委員会等報告について

第 2 回（平成 28 年 7 月 13 日）

（審議事項）

1. 参与の選任について
2. 中国本部山口県支部及び鳥取県支部の設置について

3. 委員会委員等の異動について
4. 会員の入会等について（報告事項）

（報告事項）

1. 第 58 回定時総会 (H28. 6. 16) 開催結果報告について
2. 平成 28 年度技術士第二次試験受験申込状況報告等について
3. 科学技術・学術審議会技術士分科会等報告について
4. 東日本大震災復興支援活動状況報告について
5. I E A 2 0 1 6 国際会議報告について
6. 本会組織・役職名等に関する英文表記の検討状況について
7. 部会幹事及び部会長の選任方法の検討状況報告について
8. 会員による活動グループの登録審査結果について
9. 九州本部、神奈川県支部の手引きの制定等について
10. 緩やかな連携の推進について
11. 外部委員会委員等の推薦について
12. 常設委員会等報告について
13. 平成 28 年度業務状況報告について

第 3 回（平成 28 年 9 月 14 日）

（審議事項）

1. 役員候補者選出選挙管理委員会委員の委嘱について
2. 会員の入会等について

（報告事項）

1. 平成 28 年度技術士第二次試験筆記試験受験状況報告について
2. 平成 28 年度技術士第一次試験受験申込状況報告について
3. 科学技術・学術審議会技術士分科会等報告について
4. 本会組織・役職名等に関する英文表記の検討状況（中間報告）について
5. 日本保健物理学会との CPD 実施細目についての覚書締結について
6. 部会幹事及び部会長の選任方法の検討状況報告について
7. 緩やかな連携の推進について（〇〇技術士会の設立）
8. 外部委員会委員等の推薦について
9. 事務局の移転について
10. 常設委員会等報告について
11. 平成 28 年度業務状況報告について

第 4 回（平成 28 年 11 月 9 日）

（審議事項）

1. 国際委員会におけるワーキンググループの設置について
2. 国際委員会 I E A ワーキンググループ員の委嘱について
3. 本会組織・役職名等に関する英文表記について
4. 会員の入退会等に関する規則の変更について
5. 本会規程の形式面からの整備について
6. 情報処理学会との覚書の変更について

7. 委員会委員等の異動について
8. 会員の入会等について
(報告事項)
 1. 平成 28 年度技術士第二次試験筆記試験結果について
 2. 平成 28 年度技術士第一次試験実施状況について
 3. 科学技術・学術審議会技術士分科会等報告について
 4. 平成 29 年度事業計画・収支予算策定について
 5. 第 46 回日韓技術士国際会議開催結果報告について
 6. 平成 28 年度技術士 CPD 定期審査について
 7. 部会幹事及び部会長の選任方法の検討状況報告について
 8. 茨城県支部の運営における個別事項の手引き制定について
 9. 緩やかな連携の推進について
 10. 外部委員会委員等の推薦について
 11. 常設委員会等報告について
 12. 平成 28 年度業務状況報告

第 5 回 (平成 29 年 1 月 11 日)

(審議事項)

1. 委員会運営に関する規則及び地域組織における幹事選出に関する規則の変更について
2. 地域本部幹事定数の変更について
3. 技術士業務についての外部からの依頼に関する規則の変更について
4. 委員会委員等の異動について
5. 会員の入会等について

(報告事項)

1. 平成 28 年度技術士第一次試験の結果について
2. 平成 29 年度技術士試験日程について
3. 科学技術・学術審議会技術士分科会報告について
4. 平成 29 年度役員候補者選出選挙日程について
5. 部会長及び部会幹事の選任方法の検討状況について
6. 部会に関する規則制定の検討について
7. 緩やかな連携の推進について
8. 第 43 回技術士全国大会 (横浜) 創立 65 周年記念大会開催結果報告について
9. 技術士 CPD ガイドラインの変更について
10. 技術士業務についての外部からの依頼に関する手引きの変更について
11. 外部委員会委員等の推薦について
12. 常設委員会等報告について
13. 平成 28 年度業務状況報告

第 6 回 (平成 29 年 3 月 8 日)

(審議事項)

1. 平成 29 年度事業計画について
2. 対外活動促進費運用規則の変更について

3. 講演会見学会等開催補助費運用規則の変更について
4. 平成 29 年度収支予算について
5. 技術士CPD審査規則の変更について
6. 部会に関する規則の制定について
7. 会員推薦状規則の変更について
8. 地域組織の設置運営に関する規則の変更について
9. 本会規程の形式面からの整備（その2）について
10. 統括本部事務局の移転先について
11. 常勤理事の報酬の変更について
12. 会員の入会等について

（報告事項）

1. 平成 28 年度技術士第二次試験結果について
2. 技術士制度検討委員会の検討状況（中間報告）について
3. 対外活動促進費の運用に関わる手引きの変更について
4. 技術士CPD審査の手引きの変更について
5. 日本原子力学会とのCPD実施細目についての覚書締結について
6. 緩やかな連携の推進について
7. 常設委員会等報告について
8. 平成 28 年度業務状況報告について

資料 12 規程類の制定・変更一覧

【 規 則 】

規程名	区分	主な内容	審議・報告日
特定費用準備資金等の計上及び運用に関する規則	制定	特定資産の計上に当たっては、法令により目的外取崩しの手続等を定めることが求められていることから、新たに規則として制定	第1回理事会(平成28年5月11日)審議
役員候補者選出選挙規則	変更	文言の明確化を図る等の変更	
会員の入退会等に関する規則	変更	会員の休会制度の要件拡充についての変更	第4回理事会(平成28年11月9日)審議
委員会運営に関する規則	変更	役員候補者選出選挙管理委員会幹事会の業務内容の明記等の変更	第5回理事会(平成29年1月11日)審議
地域組織における幹事選出に関する規則	変更	立候補者が役員定数を超えた場合の選挙について追記を行い選挙運営の明確化を図るための変更	
技術士業務についての外部からの依頼に関する規則	変更	委員会組織変更を反映していない点など字句の修正とあわせて変更	
対外活動促進費運用規則	変更	対外活動促進費と対外的情報発信費を対外活動促進費に一本化するなどの変更	
講演会見学会等開催補助費運用規則	変更	補助対象となる費用の範囲に主催組織の担当委員の交通費を加えることなどの変更	第6回理事会(平成29年3月8日)審議
技術士CPD審査規則	変更	申請に応じた期間の技術士CPD登録証明書を発行することなどの変更	
部会に関する規則	制定	本会の部会の設置及び運営等に関する必要な事項について定める規則として制定	
会員推薦状規則	変更	会長名による推薦状が更に多くの正会員により活用できるよう、交付要件の見直し等の変更	
地域組織の設置運営に関する規則	変更	2年に満たない任期については、地域役員の任期制限の期間に加えない等の変更	

【 手 引 き 】

規程名	区分	主な内容	審議・報告日
総務委員会の議事録作成に関する手引き	制定	議事録作成の基本方針について「手引き」の形式として整備	第1回理事会(平成28年5月11日)報告
四国本部の運営における個別事項の手引き	制定	四国本部の運営における個別事項に関する手引きの制定	
中部本部の運営における個別事項の手引き	制定	中部本部の運営における個別事項に関する手引きの制定	

規程名	区分	主な内容	審議・報告日
北陸本部の運営における個別事項の手引き	制定	北陸本部の運営における個別事項に関する手引きの制定	
中国本部の運営における個別事項の手引き	変更	北陸本部の運営における個別事項に関する手引きの変更	
九州本部の運営における個別事項に関する手引き	制定	九州本部の運営における個別事項に関する手引きの制定	第2回理事会(平成28年7月13日)報告
神奈川県支部の運営における個別事項に関する手引き	変更	神奈川県支部の運営における個別事項に関する手引きの変更	
茨城県支部の運営における個別事項の手引き	制定	茨城県支部の運営における個別事項に関する手引きの変更	第4回理事会(平成28年11月9日)報告
技術士業務についての外部からの依頼に関する手引き	変更	委員会組織変更を反映していない点など字句の修正とあわせて変更	第5回理事会(平成29年1月11日)報告
対外活動促進費の運用に関わる手引き	変更	対外活動促進費運用規則の変更に伴い、同費目の運用に関わる手引きを変更	第6回理事会(平成29年3月8日)報告
技術士CPD審査の手引き	変更	技術士CPD審査規則の変更に伴い、技術士CPD審査の手引きについて変更	

資料13 第8回企業と技術者の倫理とコンプライアンス

テ ー マ：科学技術と社会の関わり～トランスサイエンスと技術者倫理～

日 時：平成28年5月17日（火）13：00～17：00

会 場：学士会館 202号室

参加者数：94名

開会のことば 日本技術士会 副会長 高木 茂知

シンポジウム趣旨説明 日本技術士会 倫理委員会啓発小委員長 阿津沢 潔

講 演

・「技術者の信頼とコミュニケーション」

日本科学技術ジャーナリスト会議会長 小出 重幸

・「基準値とレギュラトリー・サイエンス」

福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション講座准教授 村上 道夫

・「コミュニケーションと積極的倫理」

NPO法人科学技術倫理フォーラム代表、T.スギモト技術士事務所 杉本 泰治

パネルディスカッション

パネリスト：小出 重幸、村上 道夫、杉本 泰治

コーディネーター：日本技術士会 倫理委員会委員長 本間 重一

閉会のことば 日本技術士会 倫理委員会副委員長 篠 龍一郎

資料14 第4回技術者倫理ワークショップ

テ ー マ：「グローバルな時代の新たな技術者倫理教育」

日 時：平成28年11月13日（日）13：30～17：00

会 場：ワークピア横浜 2階 「くじゃく」

参加者数：85名

開 会：日本技術士会 倫理委員会 情報小委員長 武安 真児

挨拶：日本技術士会 会長 吉田 克己

第一部：技術者倫理活動報告

日本技術士会 倫理委員会報告 倫理委員長 本間 重一

日本技術士会 中部本部報告 中部本部 伊藤 博

日本技術士会 四国本部報告 四国本部 栗本 好正

第二部：講演「グローバルな時代の新たな技術者倫理教育」

・『技術者倫理教育がめざすべきものは何か』

東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 教授

公益社団法人 日本工学教育協会 技術者倫理調査研究委員会 委員長 札野 順 氏

・『技術者倫理教育の質保証と多様化－「学習・教育目標2016」の意義と目的－』

熊本高等専門学校 共通教育科 教授

公益社団法人 日本工学教育協会 技術者倫理調査研究委員会 副委員長 小林 幸人 氏

閉 会：日本技術士会 倫理委員会 副委員長 桑江 良明

資料 15 技術士 CPD 中央講座

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

28. 6. 11 (第 132 回)	テーマ：東日本大震災の復興支援の現状と今後の展望 ～東北の明るい未来に向けて～			118 (11)
	被災市街地復興土地区画整理事業は使いこなせたか	(有)アトリエU都市・地域空間計画室 代表取締役、東京理科大学工学部 建築学科 非常勤講師	宇野 健一	
	低平地の土地利用計画はいかにあるべきか	千葉大学大学院 園芸学研究科 准教授	秋田 典子	
	寄り添うプランニング	首都大学東京 都市環境科学研究科 准教授	市古 太郎	
28. 7. 2 (第 133 回)	テーマ：知的創造サイクルによる知的財産の創出～創造、権利設定、権利活用			109 (5)
	世界の知財戦略を勝ち抜く！	知財評論家、東京中小企業投資育成株式会社相談役、日本商工会議所科学技術・知財専門委員長、東京商工会議所知的財産戦略委員長	荒井 寿光	
	爆発的に進展する中国の研究現場 急進的に改革する知財制度	科学ジャーナリスト、特定非営利活動法人21世紀構想研究会・理事長、JST 中国総合研究交流センター 上席フェロー	馬場 錬成	
	技術ブランドを創ろう！	東京理科大学 専門職大学院 イノベーション研究科 知的財産戦略専攻(MIP)教授、弁理士	生越 由美	
28. 9. 10 (第 134 回)	テーマ：ドローン活用の最前線とドローンが可能にする新しいトータルソリューションビジネス			171 (28)
	ドローンの現状と将来展望	戸澤洋二技術士事務所 代表、自律制御システム株式会社 技術顧問	戸澤 洋二	
	ドローンによる写真測量技術	金井度量衡株式会社 執行役員 事業開発部 部長	吉田 雄一	
	ドローンの技術を活用した新たなインフラ点検の提案	三信建材工業株式会社 代表取締役	石田 敦則	
28. 9. 17 (第 135 回)	テーマ：サイバーセキュリティの最新動向、人材育成、IoT等の対策			156 (11)
	サイバー攻撃の最新動向と対策の概要	東京電機大学 教授	佐々木良一	
	サイバー対策のヒト・モノ・カネ・演習	情報セキュリティ大学院大学 教授	林 紘一郎	
	IoT 機器の脆弱性対応を考える ～BB ルータ脆弱性を悪用したサイバー攻撃事例から～	NTTコミュニケーションズ 情報セキュリティ部 セキュリティマネジメント室	西部 喜康	

28. 10. 22 (第 136 回)	テーマ：非鉄金属製造のプロセス技術の新潮流 ～ e-スクラップ（電子機器スクラップ）のリサイクルについて～			85 (5)
	貴金属リサイクルの現状と今後の動向	田中貴金属工業(株)化学 品回収カンパニー湘南工 場 執行役員工場長	奥田 晃彦	
	レア金属の製錬・リサイクルの現状 と今後の動向	東京大学生産技術研究所 副所長・教授	岡部 徹	
	非鉄系ベース金属のプロセス技術の 現状と今後の動向	東北大学多元物質科学研 究所 教授	中村 崇	
28. 11. 19 (第 137 回)	テーマ：動き始めた 8K スーパーハイビジョン ～技術と応用の最前線より～			81 (5)
	8K への取組みと先端医療イメージング における実用化	東京電機大学 客員教授、 メディカルイメージング コンソーシアム 副理事 長	谷岡 健吉	
	フォトリソグラフィによる革新的な ディスプレイ技術と 8K への活用	慶應義塾大学 教授、慶應 義塾大学フォトリソグ ラフィ・インスティテ ュート所長	小池 康博	
	8K 大容量情報配信を可能とするダイナ ミック光パズネットワーク技術	国立研究開発法人産業技 術総合研究所 電子光技 術研究部門 副研究部門 長、データフォトリソ グ・プロジェクトユニ ット代表	並木 周	
28. 12. 17 (第 138 回)	テーマ：東京電力福島第一原子力発電所の事故から 5 年、福島の復興を考える- 知の統合に向けた専門家の役割-			99 (15)
	低線量放射線の影響と食の重要性、情 報発信における専門家の責任	公益財団法人ルイ・パス ツール医学研究センタ ー 基礎研究部 IFN・生体 防御研究室室長	宇野賀津子	
	福島復興に向けて把握すべき事実と課 題、専門家/メディア・国民/住人各々 の課題	立命館大学衣笠総合研究 機構准教授	開沼 博	
	福島トリプル災害の真の健康被害と は：現場からの知見	医療法人相馬中央病院 内科診療科長	越智 小枝	
28. 3. 11 (第 139 回)	テーマ：“食”を取り巻く最新事情と植物の持つ力			75 (3)
	動物検疫の現状と課題 - 人や物の流 れの増加、多様化の中で-	農林水産省 動物検疫所 所長	小倉 弘明	
	植物工学の応用-農作物の栄養・機能 性、環境への対応	東京農工大学 農学部 応用生物科学科 農学 府応用生命化学専攻 准 教授	川合 伸也	
	日本の食材を海外へ 水産物の輸出 (対米、EU) について	一般社団法人大日本水 産会 国際・輸出促進部 部長	手塚 義博	

資料 16 技術士 CPD ミニ講座

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

28. 9. 14 (第 67 回) 中国本部 から WEB 中継	石炭灰造粒物を用いた河口域干潟 および浅海域の底質環境改善手法	中国地下工業株式会社 代 表取締役	藤原 哲宏	61 (14) 内 WEB 参加 37 名
28. 10. 12 (第 68 回)	技術監査の意義について ~ます ます重要となる技術士の貢献~	NPO 地域と行政を支える技 術フォーラム 理事長、(株) SEC 計画事務所 代表取締役	原田 敬美	48 (1) 内 WEB 参加 12 名
28. 11. 9 (第 69 回)	緊急時のマスコミ対応	広報コンサルタント、日本 リスクマネジメント&コン サルタント協会理事	石川 慶子	74 (7) 内 WEB 参加 30 名
29. 1. 18 (第 70 回)	福島の復興の 5 年間を振り返って- 除染の進展と放射線リスクコミュ ニケーション	高エネルギー加速器研究機 構 名誉教授	川合 将義	57 (12) 内 WEB 参加 22 名
29. 2. 8 (第 71 回) 近畿本部 から WEB 中継	防災・減災のための実践を踏まえた地域・地区防災活動 ~住民・行政・企業・ 技術士の関わり			47 (2) 内 WEB 参加 35 名
	防災・減災活動における行政との 連携	NPO 都市災害に備える技術 者の会 顧問、泉南市防災技 術者の会 副会長	向井 通彦	
	民間専門家活動組織による防災・ 減災活動	ユージェヌ土地利用研究所 所長、泉南市防災技術者の 会 会長、兵庫まちづくり 専門家、大阪市ハウジング アドバイザー、八尾市街づ くり専門家	中佐 一重	

資料 17 第 34 回技術士 CPD・技術士業績・研究発表年次大会

日 時：平成 28 年 6 月 18 日（土）13：00～17：00 会 場：機械振興会館 地下 2 階 ホール（東京都港区芝公園 3-5-8） 参加者数：59 名		
発表		
静電脱塩器のリスクベースメンテナンス方法 論による最適な保全計画の検討	日本コムシス(株)	鈴木 茂雄
安定かつ省エネな小規模クリーンルーム構築 技術	理化学研究所	関口 芳弘
トンネル火災解析による社会インフラ整備方 法	パシフィックコンサルタンツ(株)	江本 信司
フッ素系材料の分析・解析技術	米森技術士事務所	米森 重明
〔優秀賞〕 レーザーによる弾性波を用いた完全非接触で の損傷検知技術	宇宙航空研究開発機構 航空技術部門	神田 淳
ベースボールバットスイング計測システムの 開発	(株)アシックス スポーツ工学研究所	大冢 陽右
技術士の必修課題 UX (User Experience)	坂東技術士事務所	坂東 大輔
富岡製糸場と周辺地区の観光まちづくりの取 り組み	群馬県立高崎工業高等学校	西尾 敏和
〔優秀賞〕 森林資源を利用したフルボ酸量産化技術の開 発	国土防災技術(株)	田中 賢治
エリアマネジメント推進上の課題と対応策 （横浜市の事例から）	横浜市、中央大学	黒澤 之

資料 18 新春記念講演会

日 時：平成 29 年 1 月 11 日（水）16：00～17：30

会 場：学生会館 202 号室

参加者数：141 名

年頭の辞：日本技術士会 会長 吉田 克己

記念講演：研究は楽しく：ヒントは身のまわりにある－光触媒を例にして

講師：藤嶋 昭 氏

〔「光触媒」の発見者、東京理科大学 学長、東京大学 特別栄誉教授〕

閉会の辞：日本技術士会 研修委員会 委員長 西村 正直

資料 19 第 19 回北東 3 地域本部技術士交流会

東北本部

テーマ：「地域交流による産業活性化と技術士の役割」

日 時：平成 28 年 10 月 25 日（火） 13：15～17：10

会 場：(株)ユアテック（仙台市）

共 催：北海道本部、北陸本部

参加者数：70 名

行事内容：

【基調講演】

「観光交流に活かそう地域資源と技術士の力」

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部長 宮原 育子 氏

【研修発表】

- (1) 北海道における自然エネルギーの導入事例と地域活性化のあり方
株式会社リブテック 武智 弘明 氏（北海道本部／上下水道・建設）
- (2) 漁業・水産業を核とする地域活性化の取り組み
株式会社アルファ水工コンサルタンツ 若林 隆司 氏（北海道本部／水産・建設）
- (3) 年々増加する災害に対して北陸発ジオシンセティックスでできることは何か
前田工織株式会社 横田 善弘 氏（北陸本部福井／建設）
- (4) 新潟県内における地中熱利用の普及に向けての取り組み
株式会社興和 坂東 和郎 氏（北陸本部／応用理学・建設・総監）
- (5) 復興まちづくりに必要な新たな職能とは
中央復建コンサルタンツ株式会社 末 祐介 氏（東北本部／建設・総監）

資料 20 第 22 回西日本技術士研究・業績発表年次大会

中国本部

テーマ：『地方から考える「まち・ひと・しごと」～技術士の関わり～』

日時：平成 28 年 10 月 28 (金)～29 日 (土)

会場：松江テルサ

後援等：農林水産省中国四国農政局・経済産業省中国経済産業局・国土交通省中国地方整備局・環境省中国四国地方環境事務所・島根県・松江市

参加者数：技術士 100 名・その他 13 名・一般 120 名

行事内容：

28 日①テクニカルツアー

国宝松江城・松江歴史館・松江バイオマス発電所をガイドの案内により見学した。

① 交流会

松江エクセルホテル東急で開催。佐竹副会長をはじめ近畿、九州、四国の各地域本部長等出席のもと、来賓として松江市の小川副市長をお迎えし、盛大に開催した。アトラクションとして「ドジョウ掬いや隠岐民謡」さらにはボランティアによる詩吟が披露され、歓談の時間を過ごした。

17 日 講演会

・大会式典では大田本部長、佐竹副会長の挨拶に引き続き、国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所長 小林 寛氏 島根県 土木部技監 山岡雄二氏、松江市副市長 吉山 治氏に祝辞を頂いた。

・基調講演

(株)日本総合研究所主任研究員藻谷 浩介氏による『地方から考える「まち・ひと・しごと」～技術士の関わり～』と題した講演を頂いた。首都圏、広島市より、地方のほうが人口構成は高齢化しないことや地域内経済循環、地産地消のお話をいただいた。

・論文発表

大会テーマに沿って、第一分科会（一般）では、地域創生への技術士による多分野の研究・業績が論文が 10 編の報告がされた。

青年技術士の活性化を目的とし第二分科会（青年）では、サブテーマとして「青年がつなく技術と社会」を掲げ、5 編の報告がされた。

資料 21 第 43 回技術士全国大会（横浜）創立 65 周年記念大会

大会テーマ：技術士の挑戦～世界・日本の持続的成長をめざして～		
開催日	平成 28 年 11 月 13 日（日）～16 日（水）	参加者数
開催場所	パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）ほか	
後援	文部科学省、内閣府、農林水産省、経済産業省、国土交通省、神奈川県、横浜市	
行事	11 月 14 日（月） 午前 分科会 ・第 1 分科会「防災」 ・第 2 分科会「都市再生」 ・第 3 分科会「環境五輪」 ・第 4 分科会「グローバル展開」 ・第 5 分科会「男女共同参画」	103 74 46 64 31
	大会式典（司会：河西美紀 フリーアナウンサー） ・歓迎挨拶（第 43 回技術士全国大会運営委員会 委員長 西村正直） ・式辞（日本技術士会 会長 吉田 克己） ・来賓祝辞 文部科学大臣（代理：科学技術・学術政策局人材政策課長 塩崎正晴） 国土交通省関東地方整備局長（大西亘） 神奈川県知事（代理：副知事 中島正信） 横浜市長（代理：副市長 平原敏英） ・分科会報告（各分科会主査） ・大会宣言（技術士（資源工学部門）古賀沙織） ・閉会挨拶（第 43 回技術士全国大会運営委員会 副委員長 久下善生）	445
	記念講演 演題：ハイテクで探る古代エジプトの謎 講演者：吉村作治（東日本国際大学学長、早稲田大学 名誉教授（工学博士）、エジプト考古学者）	464
	交流パーティー ・開会挨拶（日本技術士会 会長 吉田 克己） ・来賓挨拶（参議院議員 山東昭子）、参議院議員 足立敏之） ・乾杯（文部科学省科学技術・学術政策局 総括官 神代浩） ・アトラクション（中華獅子舞） ・次回開催案内（四国本部） ・閉会挨拶（日本技術士会 副会長 高木茂知）	303

関連行事	11月13日(日)	
	・第4回技術者倫理ワークショップ(ワークピア横浜)	85
	・第12回全国防災連絡会議(ワークピア横浜)	85
	・青年技術士の集い(神奈川産業振興センター)	51
	・ウェルカムパーティー(英一番館)	212
ツアー	11月14日(月)	
	・パートナーズツアー(鎌倉コース)	16
	11月15日(火)	
	・テクニカルツアーA(横須賀コース)	27
	・テクニカルツアーB(スカイツリーコース)	20
	11月15日(火)~16日(水)	
	・テクニカルツアーC(富士山・河口湖コース)	19

資料 22 地域産学官と技術士との合同セミナー

東北本部

テーマ：「ふくしまの未来を考える」～未来・創生～

日 時：平成 28 年 10 月 6 日（木） 13 時 00 分～17 時 00 分

会 場：コラッセふくしま（福島市）

後援等：福島県、福島市、福島大学、日本大学、福島工業高等専門学校、NHK福島放送局、福島民報社、福島民友新聞社、福島建設工業新聞社、福島河川国道事務所、（一社）建設コンサルタンツ協会東北支部、（一社）福島県測量設計業協会、（一社）福島県建設業協会、（一社）福島県地質調査業協会、福島県橋友会、福島商工会議所連合会

参加者数：122名

行事内容：

- | | | |
|---------------------|------------------------|---------|
| (1) 開会の辞 | 日本技術士会東北本部 本部長 | 吉川 謙造 |
| (2) 主催者挨拶 | 日本技術士会 会長 | 吉田 克己 |
| (3) 来賓挨拶 | 福島県 知事 | 内堀 雅雄 氏 |
| | 福島市長 | 小林 香 氏 |
| (4) 基調講演 「福島の復興と創生」 | | |
| 講師 | 福島大学学長 | 中井 勝己 氏 |
| (5) パネルディスカッション | | |
| コーディネーター： | 福島大学学長 | 中井 勝己 氏 |
| パネリスト | ほまれ酒造(株) 代表取締役社長 | 唐橋 裕幸 氏 |
| | 福島工業高等専門学校 校長 | 中村 隆行 氏 |
| | 福島県相双地方振興局 局長 | 御代 典文 氏 |
| | NPO 法人福島環境カウンセラー協会特別顧問 | 長澤 利枝 氏 |
| | 日本技術士会東北本部福島県支部 支部長 | 長尾 晃 氏 |
| (6) 閉会挨拶 | 日本技術士会東北本部福島県支部 副支部長 | 佐藤 國裕 |

九州本部

テーマ：第36回地域産学官と技術士との合同セミナー（福岡）

日時：H28年10月22日（土）13:00-17:00

会場：福岡商工会議所

後援等：九州経済産業局

参加者数：62名

行事内容：

プログラム

【式典】

開会挨拶 甲斐忠義 九州本部長

主催者挨拶 佐竹芳郎 日本技術士会副会長

来賓挨拶 芳野勇一郎氏 九州経済産局地域経済部長

【基調講演】

「九州の地方創生を考える」

田代雅彦氏 公益財団法人九州経済調査協会
常務理事・調査研究部長

【政府における取組報告】

講演－1 林淳一氏「九州における6次産業の推進」

農林水産省九州農政局 福岡支局長 地方参事官

講演－2 野尻純一郎氏「九州の地方創生を考える」

経済産業省九州経済産業局 地域経済部 参事官

講演－3 古木慎一氏「地方創生の動向と九州圏広域地方計画」

国土交通省九州地方整備局 企画部事業調整官

【県・学・産における取組報告】

講演－1 鳥巢毅氏「福岡県の産業振興と地方創生の取組報告」

福岡県商工部新産業振興課企画監

講演－2 白岩紀人氏「地域再生エネルギーの面的活用システム」

みやまスマートエネルギー株式会社 執行役員 経営企画部 部長

講演－3 塚原健一氏「地方創生－強靱化、真の地域力とは」

九州大学工学研究院教授（工学博士）

【閉会挨拶】末松正典 九州本部副本部長

北海道本部

テーマ：ICTを用いた最新技術がもたらす産業構造変化

日時：平成28年11月29日（火）13:30～17:00

会場：ホテルポールスター札幌（札幌市中央区北4条西6丁目）

後援等：国土交通省北海道開発局、経済産業省北海道経済産業局、環境省北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、一般社団法人建設コンサルタント協会北海道支部

参加者数：97名

行事内容：

- (1) 開会挨拶 日本技術士会北海道本部 本部長 能登 繁幸
- (2) 主催者挨拶 日本技術士会 専務理事 奈良 人司
- (3) 講演1「ICTによる農業イノベーションの現状と展望」
北海道大学大学院農学研究院 教授 農学博士 野口 伸
- (4) 講演2「建設業のICT (i-Construction)」
北海道開発局事業振興部技術管理課 技術管理企画官 島多 昭典
- (5) 講演3「都市域の雨水管理におけるICT技術の活用」
メタウォーター(株)プラントエンジニアリング 本部新事業技術部担当課長 技術士 苧木 新一郎
- (6) 講演4「建設現場におけるICT活用事例」
(株)岩崎 企画調査部企画開発グループ係長 山本 紀彦
- (7) 閉会挨拶
「第36回地域産学官と技術士との合同セミナー」 実行委員長
(日本技術士会北海道本部 事業委員長) 椛澤 勝則

北陸本部

テーマ：技術を通じた持続可能な地域社会の形成

日 時：平成 29 年 2 月 25 日

会 場：ホテルグランテラス富山

後援等：なし

参加者数：103 名

行事内容：

講演 1 「富山の土木と地域の活性化」 富山県 土木部 次長 村岡 清孝
氏

講演 2 「富山大学の『都市デザイン学部』設置構想
～大学と連携した今後の富山のまちづくり～」
富山大学大学院 理工学研究部 教授 久保田 善明 氏

講演 3 「ものづくりにおけるオープン化次世代産業用ロボット」
株式会社不二越 ロボット開発部 制御開発部 部長 石田 勇一 氏

講演 4 「アルミニウム建材の発展と技術」
三協立山株式会社 三協アルミ社 技術部 部長 宇野 清文 氏

資料 23 技術士を目指そう、修習ガイダンス 2017

開催日：平成 29 年 2 月 4 日（土）10:30～18:30
会場：日本教育会館 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
参加者数：194 名

技術部門別展示説明会【9階 喜山倶楽部 平安の間】

10:30～12:00 各部会関係者等によるポスター展示（出入り自由）

ガイダンス【3階 ホール】

13:00～13:05 開会にあたって

日本技術士会 修習技術者支援委員会 副委員長 野村 晃平

13:05～13:10 祝辞と期待のことば

日本技術士会 理事、研修委員会 委員長 西村 正直

13:10～14:15 講演「第二次試験制度改定の解説、修習方法・修習支援体制の説明」

日本技術士会 修習技術者支援委員会 委員長 川村 智

14:30～15:55 パネル討論「プロフェッショナルを目指す、技術士として生きる」

コーディネーター：青年技術士交流委員会 副委員長 中川 暢子

パネリスト：

諸田 敦洋 技術士（情報工学）

北元 芳明 技術士（電気電子）

石丸 顕二 技術士（情報工学）

小塚 俊吾 修習技術者・第一次試験合格者（機械）

露木 完吾 修習技術者・JABEE 認定課程修了生（電気電子）

15:55～16:00 閉会にあたって

日本技術士会 修習技術者支援委員会 副委員長 石附 尚志

合格祝賀会【9階 喜山倶楽部 平安の間】

16:30～18:30 先輩技術士との懇談・交流

資料 24 技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会

開催日：平成 28 年 4 月 23 日（土）14:00～19:00
会場：日本教育会館 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
参加者数：124 名

研修会【8階 第二会議室】

14:00～14:10 「歓迎の挨拶」 日本技術士会 会長 吉田 克己

14:10～15:00 「技術士と技術者倫理」 日本技術士会 倫理委員会 副委員長 本間 重一

15:00～15:35 「技術士 CPD の概要」 日本技術士会 CPD 支援委員会 委員長 青崎 耕

15:40～16:00 「日本技術士会の紹介」 日本技術士会 専務理事 高木 譲一

16:00～16:20 「部会活動の紹介」 日本技術士会 応用理学部会 部会長 木寺 幸司

16:20～16:40 「県支部活動の紹介」 日本技術士会 神奈川県支部 支部長 松井 隆

16:40～17:00 「第二次合格者からの質問コーナー」

祝賀会【9階 喜山倶楽部 飛鳥の間】

17:15～19:00 先輩技術士との懇談・交流

資料 25 技術士第一次試験合格者祝賀会

主催	開催日	会場	参加者数
修習技術者支援実行委員会	29. 2. 4 (土)	日本教育会館	194
青年技術士交流委員会	28. 4. 16 (土)	日本教育会館	54 (*)
機械部会	28. 4. 8 (金)	日本技術士会会議室	35 (*)
船舶・海洋／航空・宇宙部会	29. 1. 28 (土)	日本技術士会会議室	1
電気電子部会	28. 4. 22 (金)	日本技術士会会議室	42 (*)
化学部会	28. 4. 2 (土)	日本技術士会会議室	22 (*)
	28. 5. 26 (木)		7 (*)
繊維部会	28. 4. 23 (土)	江東区文化センター	2 (*)
金属部会	28. 4. 20 (水)	ニューオータニイン東京	14 (*)
資源工学部会	28. 4. 12 (火)	日本技術士会会議室	3 (*)
上下水道部会	28. 5. 21 (土)	日本技術士会会議室	8 (*)
衛生工学部会	28. 4. 14 (木)	日本技術士会会議室	11 (*)
農業部会	28. 4. 23 (土)	日本技術士会会議室	8 (*)
森林部会	28. 4. 18 (月)	日林協会館 5階大会議室	9 (*)
水産部会	29. 1. 14 (土)	日本技術士会会議室	1
経営工学部会	29. 3. 17 (金)	日本技術士会会議室	19 (*)
情報工学部会	29. 2. 3 (金)	機械振興会館	26
応用理学部会	28. 4. 19 (火)	日本技術士会会議室	12 (*)
	29. 1. 14 (土)	機械振興会館	0
	29. 2. 18 (土)	札幌市中央区民センター	6
生物工学部会	29. 2. 26 (日)	神戸市産業振興センター	7
	28. 4. 23 (土)	日本技術士会会議室	21 (*)
環境部会	28. 4. 23 (土)	日本技術士会会議室	21 (*)
原子力・放射線部会	28. 4. 15 (金)	日本技術士会会議室	8 (*)
北海道本部	28. 4. 6 (水)	ホテル札幌ガーデンパレス	22
東北本部	29. 2. 18 (土)	パレス宮城野 (仙台市)	27
北陸本部	29. 2. 4 (土)	新潟市技術センタービル	20
中部本部	29. 3. 25 (土)	国立大学法人 名古屋工業大学	73 (*)
近畿本部	29. 2. 27 (土)	大阪科学技術センター 小ホール	59
中国本部	29. 2. 18 (土)	広島市文化交流会館	27
四国本部	29. 1. 28 (土)	復建調査設計(株)四国支社	15
九州本部	28. 4. 16 (土)	福岡商工会議所	23 (*)
神奈川県支部	28. 4. 2 (土)	情報文化センター	48 (*)
埼玉県支部	28. 5. 28 (土)	新都心ビジネス交流プラザ 4F	20 (*)
千葉県支部	28. 5. 14 (土)	千葉市科学館「きぼーる」	10 (*)
栃木県支部	28. 6. 4 (土)	ホテル丸治	3 (*)
茨城県支部	28. 4. 2 (土)	ひたちなか商工会議所会館	13 (*)
青森県支部	28. 7. 9 (土)	ウェディングプラザ・アラスカ	11 (*)
秋田県支部	28. 4. 9 (土)	パーティーギャラリー イヤタカ	2
岡山県支部	29. 2. 4 (土)	サムライスクエア	22
山口県支部	29. 1. 21 (土)	山口グランドホテル	2

※右欄の参加者数は、新合格者の参加者数、(*)印は一次及び二次合同開催のため新合格者の参加総数を示す。

資料 26 技術士第二次試験合格者祝賀会

主催	開催日	会場	参加者数
CPD支援委員会	28. 4. 23 (土)	日本教育会館	124
青年技術士交流委員会	28. 4. 16 (土)	日本教育会館	54(*)
機械部会	28. 4. 8 (金)	日本技術士会会議室	35(*)
船舶・海洋／航空・宇宙部会	29. 3. 25 (土)	日本技術士会会議室	3
電気電子部会	28. 4. 22 (金)	日本技術士会会議室	42(*)
化学部会	28. 4. 2 (土)	日本技術士会会議室	22(*)
	28. 5. 26 (木)		7(*)
繊維部会	28. 4. 23 (土)	江東区文化センター	2(*)
金属部会	28. 4. 20 (水)	ニューオータニイン東京	14(*)
資源工学部会	28. 4. 12 (火)	日本技術士会会議室	3(*)
上下水道部会	28. 5. 21 (土)	日本技術士会会議室	8(*)
衛生工学部会	28. 4. 14 (木)	日本技術士会会議室	11(*)
農業部会	28. 4. 23 (土)	日本技術士会会議室	8(*)
森林部会	28. 4. 18 (月)	日林協会館 5階大会議室	9(*)
水産部会	28. 5. 14 (土)	日本技術士会会議室	6
経営工学部会	29. 3. 17 (金)	日本技術士会会議室	19(*)
情報工学部会	28. 4. 22 (金)	機械振興会館	20
応用理学部会	28. 4. 19 (火)	日本技術士会会議室	12(*)
生物工学部会	28. 4. 9 (土)	日本技術士会会議室	7
環境部会	28. 4. 23 (土)	日本技術士会会議室	21(*)
原子力・放射線部会	28. 4. 15 (金)	日本技術士会会議室	8(*)
北海道本部	29. 1. 27 (金)	ホテル札幌ガーデンパレス	14
東北本部	28. 5. 10 (火)	ホテルメトロポリタン仙台	28
北陸本部	28. 4. 2 (土)	金沢市ANAクラウンプラザホテル	0
	28. 4. 17 (日)	新潟市ホテル日航新潟	11
中部本部	29. 3. 25 (土)	国立大学法人 名古屋工業大学	73(*)
近畿本部	29. 4. 9 (土)	大阪科学技術センター 7F 700号室	113
中国本部	28. 4. 16 (土)	広島市文化交流会館	19
四国本部	28. 5. 28 (土)	阿波観光ホテル	18
	28. 6. 11 (土)	えひめ共済会館	30
	28. 6. 22 (水)	サンイレブン高松	5
	28. 6. 24 (金)	高知会館	20
九州本部	28. 4. 16 (土)	福岡商工会議所	23(*)
神奈川県支部	28. 4. 2 (土)	情報文化センター	48(*)
埼玉県支部	28. 5. 28 (土)	新都心ビジネス交流プラザ 4F	20(*)
千葉県支部	28. 5. 14 (土)	千葉市科学館「きぼーる」	10(*)
栃木県支部	28. 6. 4 (土)	ホテル丸治	3(*)
茨城県支部	28. 4. 2 (土)	ひたちなか商工会議所会館	13(*)
青森県支部	28. 7. 9 (土)	ウェディングプラザ・アラスカ	11(*)
秋田県支部	28. 4. 9 (土)	パーティーギャラリー イヤタカ	3
岡山県支部	28. 4. 9 (土)	ピュアリティまきび	9
熊本県支部	28. 6. 18 (土)	メルパルク熊本	1

宮崎県支部	28.6.19(日)	ホテルメリージュ	2
-------	------------	----------	---

※右欄の参加者数は、新合格者の参加者数、(*)印は一次及び二次合同開催のため新合総数を示す。格者の参加

資料 27 技術士業務に関する対外協力件数

業務形態	対応部門	依頼	不成立*	成約
技術指導	機械	2	1	1
	電気電子	6	4	
	化学	5	2	1
	金属	1	0	
	建設	2	2	
	上下水道	2	1	
	農業	1	1	
	経営工学	2	1	
	応用理学	1	1	
	小計	22	13	2
調査	機械	6	3	2
	電気電子	8	4	4
	化学	4	2	1
	金属	5	3	2
	経営工学	2	0	2
	情報工学	1	0	1
	応用理学	1	0	
	生物工学	1	1	
	小計	28	13	12
合計	50	26	14	

*不成立には応募者なしを含む

資料 28 技術支援基礎講座等

回	開催日	内 容	参加者数
1	9月20日(火)	技術支援基礎講座「合意形成のプロセスデザイン～社会的合意形成について考える～」百武ひろ子氏(県立広島大学大学院経営管理研究科教授, 博士(工学), 一級建築士, 特定非営利活動法人合意形成マネジメント協会理事長)	44
2	12月6日(火)	技術支援基礎講座「プロジェクトマネジメント革新 ～プロジェクト成功の条件を学ぶ～」芝尾 芳昭氏(イノベーションマネジメント株式会社 代表取締役社長, 経営学博士)	60
3	1月19日(木)	知的資産経営 WEEK2016 セミナー～知的資産経営における技術士への期待～(1)「知的資産経営について」後藤 慎平氏(経済産業省 経済産業政策局 知的財産政策室 室長補佐)(2)「ローカルベンチマークについて」塚本 裕之氏(経済産業省 経済産業政策局 産業資金課 課長補佐)(3)「中小企業等経営強化法と地域支援機関が技術士に期待すること」石川 充氏(山梨県商工会連合会 経営支援課 主査, 山梨大学客員社会連携コーディネーター)	46
5	3月14日(水)	技術支援基礎講座「企業支援における環境視点(省エネルギー・CO2削減)の取組み」(1)「省エネルギーに関する政策、平成29年度予算(省エネルギー相談地域プラットフォーム)」南須原 美恵氏(経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー課)(2)「CO2削減ポテンシャル診断事業について」田脇 康広氏(技術士(環境, 総監))(3)「地球温暖化対策に関する情報と平成29年度研修計画について」塚原 忠一(技術士活性化委員会 副委員長, 技術士(上下水道))	54
述べ参加人数(有償参加者のみ)			204

資料 29 海外技術業務協力実務講習会

平成 28 年度 海外技術協力実務講習会	
サブタイトル：～海外との技術交流・技術協力をどのようにして創るか～ 日 時：平成 29 年 1 月 27 日（金）13：00～17：00 会 場：葺手第二ビル 5 階会議室 主 催：海外活動支援委員会 後 援：独立行政法人 国際協力機構（JICA） 参加者数：100 名（外部講師含む参加者。北陸本部、中部本部、近畿本部、中国本部、 四国本部からの WEB での参加者を含む）	
・開会挨拶：日本技術士会理事 国際委員会委員長 ・講 演	小林 経明
講演 1：これまでのキャリアを生かして JICA の国際技術協力を目指す方へ ・技術士として参入可能な JICA 事業及びポイントの紹介 ・JICA の海外安全対策	
講師：国際協力機構（JICA） 国際協力人材部次長	稲村 次郎氏
講演 2：海外業務活動報告 インド・ベトナム等技術支援活動報告	
講師：イーグルブルグマンジャパン（株） 技術士（機械・経営工学部門）	大坪 利行
・情報提供 海外業務の課題と対策 ～海外業務経験技術士による情報提供～ 司会：海外活動支援委員会副委員長 技術士（情報工学部門）	
1) ショートスピーチ（4 パネラー、各 20 分）	
・海外業務とリスクマネジメント 海外活動支援委員会委員 技術士（機械部門）	松井 武久
・海外業務契約書作成上の留意事項 海外活動支援委員会委員 技術士（総合技術監理・情報工学部門）	吉村 元一
・海外業務と安全保障貿易輸出管理 海外活動支援委員会委員長 技術士（化学部門）	中村 博昭
・海外活動支援委員会の海外業務紹介の状況報告 海外活動支援委員会副委員長 技術士（経営工学部門）	鈴木 陸夫
2) パネルディスカッション	
・閉会挨拶：海外活動支援委員会委員長	中村 博昭
・総合司会：海外活動支援委員会副委員長	小川 斉

資料 30 第 17 回修習技術者発表研究年次大会

テ ー マ：「技術士制度のあり方と未来への展望」
－技術者が備えるべき資質と技術士制度－

開 催 日：平成 29 年 1 月 21 日（土） 10：30～16：40

会 場：日本技術士会 葦手第二ビル 会議室

主 催：修習技術者支援委員会

参加者数：17 名

1. 修習技術者発表研究年次大会 10：30～14：30

※ 大会発表者 4 名

「自転車走行空間整備設計における課題解決技法」	小松 剛弘 氏	修習技術者（建設）
「広範囲の温度域において高精度の体温モニタ開発について」	吉中 康浩 氏	修習技術者（電気電子）
「マイクロ波固定無線の開発」	永澤 一也 氏	修習技術者（電気電子）
「技術士への道」	大塚 泰匡 氏	修習技術者（建設）

2. 特別講演/パネル討論会

特別講演「技術士制度が目指すもの」

講師：（株）建設技術研究所国土文化研究所 研究顧問、東京工業大学 名誉教授 池田 駿介 氏

パネル討論会

* 池田 駿介 氏

* 川村 智（修習技術者支援委員会 委員長）

資料 31 第 29 回修習技術者研修セミナー

テ ー マ：「安全で安心できる社会を目指して」
－安全・安心な社会構築での技術士の果たすべき役割とは－

開 催 日：平成 28 年 11 月 19 日（土） 13：00～18：00

会 場：日本技術士会 葦手第二ビル 会議室

参加者数：11 名

挨拶・開会宣言（修習技術者支援委員会 委員長 川村 智）

オリエンテーション

第一課題のグループ討議/発表・質疑応答

第二課題のグループ討議/発表・質疑応答

講評・修了証授与

資料 32 修習技術者キャリアプランセミナー

テーマ：技術士になるためのキャリアプランを描く 日時：平成 29 年 3 月 11 日（土）10：00～18：00 会場：日本技術士会 荻手第二ビル 会議室 参加者数：30 名	
開会挨拶	川村 智〔修習技術者支援委員会 委員長〕
セミナーの概要説明	横井 弘文〔修習技術者支援委員会 委員〕
＊ 講演 1：技術士になるために必要なキャリア 横井 弘文 氏〔技術士（電気電子）〕	
＊ 講演 2：先輩技術士の事例紹介 嵩田 泰彦 氏〔技術士（上下水道、衛生工学、総合技術監理）〕 秋元 英郎 氏〔技術士（化学）〕 笹尾 圭哉子 氏〔技術士（上下水道）〕	
＊ 昼食、自己紹介、役割分担 ＊ グループ討議「技術士になるためのキャリアプラン」 ＊ グループ討議結果の発表、質疑応答	
講評・開会挨拶	石附 尚志〔修習技術者支援委員会 副委員長〕

資料 33 修習技術者研修会／修習技術者発表研究会

(1) 修習技術者研修会

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

28. 4. 9	課題：コミュニケーション能力の向上 テーマ：プロジェクトの推進においてコミュニケーション能力を如何に 養うか		20 (1)	
	首都大学東京産業技術大学院大学 教授	瀬戸 洋一		
28. 5. 14	課題：「行動原則」資質向上講座 テーマ：「経営者」、「技能者」の立場から見た、企業倫理と技術者倫理		18 (1)	
	小柳塗工所 代表取締役、中央大学理工学部 兼任講師	小柳 拓央		
28. 6. 11	課題：「専門技術能力」コミュニケーション研修会 テーマ：これからの技術者像		13 (1)	
	茨城県立産業技術短期大学校情報処理科 特任教授	小林 守		
28. 7. 16	課題：「業務遂行能力」資質向上講座 テーマ：安全をモノ作りの基本から考える～リスクコミュニケーション～		8 (0)	
	元 明治大学教授（大学院理工学研究科新領域創造専攻）	杉本 旭		
28. 9. 10	課題：「専門技術能力」資質向上講座 テーマ：技術史からみる技術者の信念		29 (7)	
	タコマ海峡吊橋崩落にみる 技術者の生きざま	川田テクノロジーズ（株） 取締役相談役		川田 忠樹
	加工精度向上の執念ともの つくり教育	旧都立航空高等専門学校 名誉教授		吉田 喜一
	パネルディスカッション ＊ 川田 忠樹 ＊ 吉田 喜一 ＊ 川村 智〔修習技術者支援委員会 委員長〕			

28.10.8	課 題：「行動原則」コミュニケーション研修会 テーマ：技術者倫理ケーススタディ	鳥養 茂	15 (2)
	電気学会倫理委員会教育WG委員、千葉大工学部非常勤講師		
28.12.10	課 題：「業務遂行能力」資質向上講座 テーマ：新技術動向	小林 敬典	12 (0)
	国立研究開発水産研究・教育機構、研究推進部、 研究開発コーディネーター		

(2) 修習技術者発表研究会

第308回 28.4.9	3人のロボ開発～半田付けからシステム製作まで～ 武内 晋哉〔修習技術者（情報工学）〕	20 (1)
第309回 28.5.14	既存道路における自転車走行空間整備に対する設計 小松 剛弘〔修習技術者（建設）〕	18 (1)
	広範囲の温度域における高精度の温度モニターの開発について 吉中 康浩〔修習技術者（電気電子）〕	
第313回 28.10.8	無線技術のスペシャリストを目指して 永澤 一也〔修習技術者（電気電子）〕	15 (2)
	神城断層地震に伴う測量業務 大塚 泰匡〔修習技術者（建設）〕	

資料 34 第 12 回全国防災連絡会議

テーマ 「地域防災力向上に向けて、技術士の役割」

－災害に備えて、技術士は何をなすべきか－

開催日：平成 28 年 11 月 13 日（日） 13：00～17：00

会 場：ワークピア横浜

参加者：85 名

司会 防災支援委員会委員 丹羽 真

(1) 開 会 主催者挨拶 防災支援委員会 委員長 上野 雄一

副 会 長 日本技術士会 副会長 橋場 常雄

(2) 各地域報告

「災害発生後に何が必要であり、何を技術士は学ぶべきか」

グループ報告と質疑

司 会 統括本部 防災委員会 副委員長 田村 裕美

登壇者 統括本部 茨城県支部総務委員会 委員 手島 久

東北本部 防災委員会 委員 齋藤 明

中国本部 防災委員会 委員長 古川 智

九州本部 防災委員会 委員長 矢ヶ部 秀美

(3) ワークショップ

(4) 大会宣言 「横浜宣言」 統括本部 神奈川県支部防災委員会 委員長 小原 丈二

(5) 閉 会 閉会挨拶 防災支援委員会 副委員長 濱中 拓郎

第 12 回全国防災連絡会議 横浜宣言

私たち技術士は、技術士プロフェッショナル宣言の精神に則り、国民の安全・安心な生活に貢献することを目指して、ここに「全国防災連絡会議横浜宣言」を以下の通り宣言する。

1. 私たち技術士は、過去の大地震、大津波、土砂災害、水害の教訓を活かして、地域防災力向上のため、地域および関連組織との連携およびネットワークの構築、自治体等との協定締結等による連携強化を図り、社会貢献に努めます。
2. 私たち技術士は、専門知識や知見を駆使し、地域に根ざした防災学習を地域の方々と共に実施し、地域の防災力の向上に努めます。
3. 私たち技術士は、全国防災連絡会議の開催を継続し、安全安心な国土づくりに貢献します。

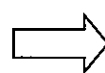
平成 28 年 11 月 13 日

公益社団法人 日本技術士会 防災支援委員会

2015
富 山



2016
横 浜



2017
山 口

資料 35 新聞・雑誌等記事掲載一覧

発行年月日	新聞・雑誌名	主な内容
平成 28 年 4 月 5 日	月刊「OHM」	①平成 27 年度技術士第二次試験結果 ②平成 28 年度技術士第二次試験スケジュール
平成 28 年 12 月 5 日	月刊「電設技術」	平成 28 年度技術士第二次試験 電気電子部門 試験問題 必須科目Ⅰ、電気設備 選択科目Ⅱ、Ⅲ
平成 29 年 1 月 5 日	月刊「電設技術」	平成 28 年度技術士第一次試験 基礎科目 試験問題
平成 29 年 2 月 5 日	月刊「OHM」	①平成 28 年度技術士第一次試験結果 ②平成 29 年度技術士試験日程
平成 29 年 2 月 5 日	月刊「電設技術」	平成 28 年度技術士第一次試験 適性科目 試験問題
平成 29 年 3 月 5 日	月刊「OHM」	平成 29 年度資格日程一覧 (技術士試験)
平成 29 年 3 月 5 日	月刊「電力土木」	平成 28 年度技術士第二次試験 試験問題 (建設部門、総合 技術監理部門)、平成 29 年度技術士第二次試験の実施につ いて、平成 29 年度技術士第一次試験の実施について
平成 29 年 3 月 5 日	月刊「電設技術」	平成 28 年度技術士第一次試験 専門科目 (電気電子部門) 試験問題

資料 36 技術士制度の講演会、説明会一覧

開催日	主催、開催場所等
平成 28 年 6 月 9 日 (木)	東京都建設局
平成 28 年 6 月 10 日 (金)	国土交通省関東地方整備局港湾空港部
平成 28 年 6 月 10 日 (金)	日本大学生産工学部 (津田沼校舎)
平成 28 年 6 月 13 日 (月)	日本大学理工学部 (駿河台校舎)
平成 28 年 6 月 30 日 (木)	JFEエンジニアリング株式会社
平成 28 年 11 月 10 日 (木)	国土交通省国土技術政策総合研究所
平成 29 年 3 月 11 日 (土)	神奈川県支部

※その他、地域本部、委員会等で開催

資料 37 後援、協賛等

(注) 28 年度中に依頼のあったもの (依頼があった順)

開催日	依頼元	後援・協賛・協力内容	
H28.6.2～3	震災対策委員会大阪	第 3 回震災対策技術展 in 大阪	後援
H28.6.3	システム監査学会	第 30 回研究大会 統一論題「サイバー社会とシステム監査」	後援
H28.6～H29.3	公益財団法人板橋区産業振興公社	板橋製品技術大賞	後援
H28.9.24～25	スケーリング学会	スケジューリング・シンポジウム 2016	協賛
H28.6.26	全日本理工科学生柔道連盟	第 57 回全日本理工科学生柔道優勝大会	後援
H28.12.17～18	高知工業高等専門学校	平成 28 年度全国高等専門学校デザインコンペティション	後援
H28.9.10,17	一般社団法人日本機械学会	2015 年度 計算力学技術者 (CAE 技術者)資格認定事業	協賛
H28.7.27	京都大学技術士会	京都大学技術士会「第 6 回講演会」	後援
H28.10.5～7	UBM メディア(株)	食品開発展 2016 Hi/S-tec Japan 2016	協賛
H28.8.30～31	公益社団法人電気化学会	2016 年電気化学会セミナー 初心者のための電気化学測定法一実習編	協賛
H28.9.6～9	公益社団法人日本冷凍空調学会	2016 年度 日本冷凍空調学会年次大会	協賛
H28.8.25～26	震災対策技術展東北	第 7 回震災対策技術展 東北	後援
H28.10.15,30	一般社団法人日本機械学会	振動分野の有限要素法解析講習会 (計算力学技術者 2 級認定試験対策講習会)	協賛
H28.8.1～7	一般社団法人日本機械学会	機械の日・機械週間	協賛
H28.8.6～8	独立行政法人国立女性教育会館	平成 28 年度「女子中高生夏の学校 2016～科学・技術・人との出会い～」	協賛
H28.11.9,25	一般社団法人日本鉄鋼協会	第 227・228 回西山記念技術講座「鉄鋼の構造プロセスを革新し続けるセンシング技術」	協賛
H28.10.26	一般社団法人日本鉄鋼協会	第 68 回白石記念講座「変形・強化機構を極めて、新規材料創出に挑め！」	協賛
H28.9.3	京都大学技術士会	第 4 回大会「これからの技術士育成と活躍推進」	後援
H28.10.27～28	日本 IE 協会	2016 日本 IE 協会年次大会	協賛
H28.9.28～30	一般社団法人次世代センサ協議会	次世代センサ総合シンポジウム “ニーズとシーズの出会い”	協賛
H28.9.26	公益財団法人国民工業振興会	講演会「アルツハイマー病治療最前線～脳の老化とアルツハイマー病」	後援
H28.9.27	気象影響防御技術コンソーシアム	第 1 回 WEATHER-Eye オープンフォーラム」	後援
H28.10.28	システム監査学会	第 29 回公開シンポジウム	後援
H28.9.1～7	首都防災ウィーク実行委員会	第 4 回首都防災ウィーク	後援
H28.11.19	一般社団法人日本 ETC センター	第 11 回エレクトロヒートシンポジウム	協賛
H28.11.10～11	公益財団法人板橋区産業振興公社	第 20 回いたばし産業見本市	後援
H29.5.18～19	名古屋国際見本市	第 5 回中部ライフガード T E C 2017～防災・減災・危機管理展～	協賛

H28.9.23～	一般社団法人コンクリートメンテナンス協会	コンクリート建造物の補修・補強に関するフォーラム2016 (追加講演)	後援
H29.4.19～21	一般社団法人 OPI 協議会	OPTICS&PHOYONICS International Exhibition2017 (OPIE' 17)	協賛
H27.10.18	公益財団法人溶接接合工学振興会	第 27 回セミナー「三次元造形 (3DP、PP、RM) の最前線	後援
H29.6.23～25	ｽｼﾞｰﾘﾝｸﾞ 学会	スケジュールリング・シンポジウム 2017	協賛
H29.2.3	一般社団法人情報処理学会	「ソフトウェアジャパン 2017ーデータと AI が創り出す新たな価値ー」	協賛
H28.11.12	一般社団法人日本機械学会	No.16-148 第 17 回リーダ-を目指す技術者倫理セミナー-	協賛
H29.2.2～3	震災対策技術展横浜実行委員会	第 21 回「震災対策技術展」横浜	後援
H29.2.28	輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会	輸出管理 DAY for ACADEMIA	後援
H29.9.20～21	名古屋国際見本市	九州ライフガード T E C ～防災・減災・危機管理展～	協賛
H28.12.2	東京都産業労働局商工部創業支援課	平成 28 年度東京都中小企業知的財産シンポジウム	後援
H28.10.5～7.	UBM メディア(株)	食品開発展 2016 Hi/S-tec Japan 2016	協賛
H29.2.7	公益財団法人国民工業振興会	内閣府の規制改革推進の動向	協賛
H29.5.11～	一般社団法人コンクリートメンテナンス協会	コンクリート建造物の補修・補強に関するフォーラム 2017	後援
H29.6.8～9	防犯防災総合展実行委員会	防犯防災総合展 in KANSAI2017	後援
H29.6.7&7.5	一般社団法人日本鉄鋼協会	第 229・230 回西山記念技術講座「鋼材の性能を引き出す溶接技術の最先端」	協賛
H29.3.16	公益財団法人国民工業振興会	時代が求める人材像について	協賛
H29.4.19	京都大学技術士会	第 8 回講演会「深海とイノベーション 海の底に広がる無限世界のなぞに迫る！」	後援
H29.5.27	映像情報メディア学会	研究・イノベーション合同シンポジウム「地方創生とプロデューサーシップ」	後援
H29.4.1～6.30	一般社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会	第 23 回「労働安全衛生コンサルタント制度推進月間」	後援

資料 38 四役会議・常設委員長会議・地域本部長会議・部会長会議

(1) 四役会議 及び 常設委員長会議 (6回)

開催日	審議・検討課題
平成 28 年 4 月 26 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について (資料No.1-1) ・第 58 回定時総会における役員選任候補者について ・次回理事会 (5/11) において予定される審議事項等 ・その他
平成 28 年 7 月 6 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について ・第 3 回地域本部長会議について ・ECFA による H28 年度事業への協賛について ・次回理事会 (7/13) において予定される審議事項等 ・その他
平成 28 年 9 月 7 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について ・文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞審査への協力について ・F E I A P 執行委員会 (フィリピン パラワン島) への参加について ・次回理事会 (9/14) において予定される審議事項等 ・その他
平成 28 年 11 月 2 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について ・次回理事会 (11/9) において予定される審議事項等 ・その他
平成 28 年 12 月 20 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について ・次回理事会 (1/11) において予定される審議事項等 ・その他
平成 29 年 3 月 1 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要日程について ・【四役会議のみ】統括本部事務所の移転検討状況について ・次回理事会 (3/8) において予定される審議事項等 ・その他

(2) 地域本部長会議（4回）

開催日	審議・検討課題
平成 28 年 4 月 20 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度事業計画について ・平成 28 年度収支予算について ・国の政策動向について ＊ 科学技術・学術審議会技術士分科会検討状況報告について ＊ 第 5 期科学技術基本計画について ・平成 27 年度技術士第二次試験の結果について ・各地域本部からの審議事項、報告及び意見・要望等
平成 28 年 7 月 28 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度事業報告について ・平成 27 年度収支決算について ・平成 28 年度技術士第二次試験申込状況報告等について ・科学技術・学術審議会技術士分科会検討状況報告について ・企画委員会（講演会のWEB収録）について ・技術士業務の外部からの依頼に関する留意事項について ・技術士パーソナルDBについて ・各地域本部からの審議事項、報告及び意見・要望等
平成 28 年 10 月 12 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要行事・会議予定について ・平成 28 年度技術士第二次試験筆記試験受験状況報告について ・平成 28 年度技術士第一次試験受験申込状況報告について ・科学技術・学術審議会技術士分科会検討状況報告について ・第 43 回技術士全国大会（横浜）創立 65 周年記念大会準備状況について ・緩やかな連携の推進について ・統括本部事務所の移転検討について ・各地域本部からの審議事項、報告及び意見・要望等
平成 29 年 1 月 25 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の主要行事・会議予定について ・平成 28 年度技術士第一次試験の結果について ・平成 29 年度技術士試験日程について ・科学技術・学術審議会技術士分科会検討状況報告について ・技術士CPDガイドラインの改定について ・緩やかな連携の推進について

(3) 部会長会議 (4回)

開催日	審議・検討課題
平成 28 年 5 月 17 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・部会活動計画の紹介 ・部会からの報告、討議等 ・委員会等から <ul style="list-style-type: none"> * 平成 28 年度事業計画、収支予算について * 平成 27 年度技術士第二次試験の結果について * 科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告 * 第 5 期科学技術基本計画について * 部会幹事の選任方法に関する検討状況について (総務委員会) * 部会における CPD 行事内容の WEB 掲載用収録状況 (Pe-CPD) について ・CPD 教材「男女共同参画の実践」
平成 28 年 8 月 1 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・部会活動計画の紹介 ・部会からの報告、討議等 ・委員会等から <ul style="list-style-type: none"> * 平成 27 年度事業報告について * 平成 27 年度収支決算について * 平成 28 年度技術士第二次試験申込状況報告等について * 科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告 * 講演会の WEB 収録について (企画委員会) * 全国大会の広告協賛状況について
平成 28 年 11 月 22 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・部会活動計画の紹介 ・部会からの報告、討議等 ・委員会等から <ul style="list-style-type: none"> * 平成 28 年度技術士第二次試験筆記試験結果について * 平成 28 年度技術士第一次試験実施状況について * 科学技術・学術審議会技術士分科会等報告について * 部会幹事及び部会長の選任方法の検討状況について
平成 29 年 2 月 27 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・部会活動計画の紹介 ・部会からの報告、討議等 ・委員会等から <ul style="list-style-type: none"> * 平成 28 年度技術士第一次試験の結果について * 平成 29 年度技術士試験日程について * 科学技術・学術審議会技術士分科会報告について * 技術士制度検討委員会の検討状況について * 部会長、部会幹事の選任方法、及び部会に関する規則検討について * 士 CPD ガイドラインの改定について

資料39 委員会の会議開催状況

<p>倫理委員会 (7回) 倫理教育検討ワーキンググループ (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の不幸事例等の調査と倫理綱領見直しの要否等の検討 ・第8回技術者倫理シンポジウムの開催と、第9回技術者倫理シンポジウムの企画 ・第4回技術者倫理ワークショップの開催と、第5回技術者倫理ワークショップの企画 ・日本工学教育協会「技術者倫理調査研究委員会」で開発のモジュール型モデル・シラバスを基に、技術士が大学・高専等で担当する倫理講座用教材作成の基本的な考え方・構成を検討 ・月刊「技術士」に、「技術者倫理啓発活動シリーズ」及び「新たな技術者倫理教育シリーズ」記事、及び実施行事報告記事の執筆企画・推進、並びに平成29年度の執筆掲載の企画を検討 ・日本工学会「技術倫理協議会」の参加組織として、第12回公開シンポジウムの企画
<p>総務委員会 (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度新名誉会員及び会長表彰者の推薦について ・諸規則及び手引きの制定、改訂、廃止について ・平成28年度フェロー認定審査について ・役員候補者選出選挙における被選挙権の検討 ・部会長及び部会幹事の選任方法の検討 ・各地域本部の運営の個別事項に関する手引きについて ・平成28年度名誉会員、会長表彰、フェロー認定等関連日程について ・会員による登録グループの新規登録、登録取消及び登録先の変更について ・会員による登録グループの平成27年度活動報告の確認について ・中国本部管轄地域における支部設置について ・地域本部関連事項検討小委員会からの報告に基づく検討について ・緩やかな連携について ・大学別技術士会との相互協力協定の締結
<p>企画委員会 (10回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告及び財務諸表等について ・CPD行事の中央地方の格差是正のためのPe-CPD新収録ソフト”CamtasiaStudio”の選定と希望する地域本部へソフトを配布について ・上記の収録ソフトを普及させるための普及利用マニュアルの作成と新ソフトで収録したコンテンツ作成と公開について ・CPD行事の中央地方の格差是正のためのTV会議システムの検討について（既存のTV会議システムのケーブル接続、ネットワーク環境の点検、新システム導入の検討） ・予算申請におけるPDM様式の提出について ・平成29年度事業計画及び収支予算について ・対外活動促進費と対外的情報発信費の運用の一本化について ・諸謝金の現状について ・長期的な財政健全化について
<p>研修委員会 (10回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術士CPDガイドライン（第2版）の改定 ・技術士CPD審査規則及び技術士CPD審査の手引きの改定 ・情報処理学会との「高度な情報技術者の育成・可視化及び情報系プロフェッショナルコミュニティの形成に関する覚書」の締結 ・日本保健物理学会との継続研鑽の実施に係る相互連携に関する実施細目の締結 ・日本原子力学会との継続研鑽の実施に係る相互連携に関する実施細目の締結 ・外部委員会委員等の推薦 ・修習技術者支援委員会及び青年技術士交流委員会の委員補佐の承認・委嘱 ・平成27年度CPD定期審査報告 ・平成28年度定期審査の実施（実施予定、委員の委嘱、審査スケジュール等） ・第43回技術士全国大会開催状況及び開催結果報告 ・平成29年度事業計画案（研修委員会関連） ・平成27・28年度事業報告案（研修委員会関連） ・管轄する実行委員会の活動 ・技術士CPDプログラムの申請報告 ・建設系CPD協議会報告

<p>広報委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月刊『技術士』の企画・編集・発行 ・平成28年度特別号の発刊（平成28年7月号、平成28年12月号） ・月刊『技術士』投稿の手引き及び査読の手引き・マニュアルの見直し ・月刊『技術士』、ホームページ、マスメディア等を通じた対外的広報活動の推進 ・ホームページ「PEプラス」の充足 ・月刊『技術士』を、国立国会図書館における採録誌とするべく働きかけ
<p>社会委員会 (6回) 工事監査支援ワーキンググループ (8回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・司法支援技術士データの維持 ・裁判所からの鑑定人等の推薦依頼対応 ・第7回社会活動事例発表会の開催 ・社会委員会のホームページの充実と内容更新 ・技術士及び日本技術士会による社会活動の情報集約 ・工事監査支援ワーキンググループの受託拡大の検討
<p>国際委員会 (6回) 国際委員会幹事会 (6回) IEAワーキンググループ (1回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英文表記統一化 ・全国大会第4分科会対応 ・国際委員会ホームページの更新 ・英国のレビュー関連 ・IEA出張対応、FEIAP出張対応、豪州出張対応 ・APEC/IPEA審査委員会への提案 ・IEA-WG発足 ・過去の協定書覚書整理 ・山東省対応
<p>CPD支援委員会 (11回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CPD中央講座（8回）及びCPDミニ講座（5回）の企画・開催 ・2016年度技術士フォーラムの企画 ・第34回技術士CPD・技術士業績・研究発表年次大会の開催 ・平成29年新春記念講演会の開催 ・技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会の開催 ・CPD教材の企画 ・地域本部（近畿本部及び中国本部）からのCPDミニ講座の実施
<p>修習技術者支援委員会 (11回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月例セミナーの内容検討（以下） <ul style="list-style-type: none"> ①4月：「業務遂行能力」-コミュニケーション能力の向上- ②5月：「行動原則」-技術者倫理と社会的責任- ③6月：「専門技術能力」-新時代の技術者像- ④7月：「業務遂行能力」-社会へのアクセス能力- ⑤9月：「専門技術能力」-技術史または環境問題について- ⑥10月：「行動原則」-技術者倫理ケーススタディ- ⑦12月：「業務遂行能力」-新技術動向- ⑧平成29年1月「年次発表大会」の構成と「技術士制度に関するパネル討論」の内容検討 ・研修セミナーの内容検討 全員参加型のグループ討議するためのテーマ検討 ・2017修習ガイダンスの内容と役割分担の検討、および関連団体への通知と協力依頼について
<p>青年技術士交流委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各月例会の実施計画、実施報告 ・例会グループ、国際グループ、広報グループの活動報告 ・若手技術者向け研鑽事業の企画・実施 ・若手技術者の国際交流活動の企画・実施 ・全国大会青年委員会主催行事・交流会の企画・実施 ・各地域本部青年技術士組織との交流 ・小学生向け理科教室などの社会貢献活動の企画・実施 ・研修委員会、広報委員会、国際委員会、修習技術者支援委員会、日韓技術士交流委員会への協力 ・日本技術士会活動のPR ・青年技術士交流委員会ホームページ・ブログの定期更新及び運営

<p>技術士活性化委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技術士業務開業研修会の企画（入門コース5月、実践コース6月開催） ・技術支援基礎講座の企画（9月、12月、3月開催） ・知的資産経営WEEK2016の企画（1月開催） ・外部からの依頼対応報告及び今後の進め方検討 ・PDBの登録普及について検討 ・技術士業務についての外部からの依頼に関する規則・手引変更 ・報酬アンケート調査の検討・実施 ・技術コンサルタントガイドブック第5版作成 ・委員会ホームページのコンテンツ充実
<p>防災支援委員会 (3回) 幹事会 (9回) ワーキンググループ (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第12回全国大会(横浜)第1分科会(防災)の企画と開催・報告 ・第12回全国防災連絡会議(横浜)の企画と開催・報告 ・横浜震災対策技術展でのセミナー、展示の企画と開催・報告 ・東日本大震災5周年シンポジウム(仙台)の企画と開催・報告 ・東日本大震災5年目勉強会(全7回)の企画と開催・報告 ・被災者支援に関する基本法令研修(全6回)企画と開催・報告 ・各自治会の防災講演会・減災マップづくり講習会の開催・報告 ・防災支援委員会BCP改訂版IIの検討 ・防災支援委員会BCP運用報告 ・「防災カード」英語版の企画・検討 ・ワーキンググループの活動のあり方についての検討 ・熊本地震災害防災会議の設置 ・各地域本部の防災講演会、防災関連行事の開催報告 ・災害復興まちづくり支援機構の防災行事への支援と開催・報告 ・墨田区災害復興支援組織の防災行事への支援と開催・報告 ・秋葉原駅周辺地域協議会の防災行事への支援と開催・報告
<p>科学技術振興支援委員会 (12回) 第一小委員会 (8回) 第二小委員会 (6回) 第三小委員会 (7回) (総計21回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度理科教室の申請要領及び申請書の改定版に向けての作業、改訂版を同報メールによる会員に対する周知徹底。 ・サイエンスアゴラ2016の公募申請の検討と公募案の精査。採択後の講師等の依頼及び交渉、講師謝礼内容の決定。JSTに対してセッション型会場の変更交渉。当日のアンケート用紙の作成と配布。 ・サイエンス・インカレ2016の論文審査(44論文)、技術士会会長賞の候補論文の選定。 ・第1回理科実験事例発表大会の企画、内容精査、講師選定及び交渉、特別講師の選定、交渉、謝金の決定、会場の選定、設営 ・月刊技術士10月号に掲載の記事につき原案作成、とりまとめ。 ・新規印刷クリアファイルについて、印刷されている周期律表の改定の検討及び新たに発見された113番元素のニホニウム(Nh)を加えて1,000部印刷。技術士及び技術士会のPR配布用に使用する。すでにサイエンスアゴラ2016で使用済み。 ・埼玉県総合教育センター内展示ポスターについて新規内容、写真を入れ替えて展示。
<p>日韓技術士交流委員会 (9回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第46回日韓技術士国際会議(栃木県・日光)の企画・開催 ・第46回日韓技術士国際会議(栃木県・日光)の開催結果報告 ・第47回日韓技術士国際会議(釜山)の企画・開催 ・第48回日韓技術士国際会議について
<p>海外活動支援委員会 (12回) フォードンの会 (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良新事務局長挨拶、海外活動実務講習会(広島セミナー)開催について、月刊技術士への海外活動PR投稿について、浙江省寧波市開催交流会(新規覚書締結(案))について、中国台州市との交流会、今年度マッチング大会参加について ・海外活動実務講習会(広島セミナー)結果について、浙江省寧波市開催交流会報告、台湾技術交流会発足に向けて、終了後暑気払い。 ・浙江省寧波市開催交流会報告と覚書締結の件、正式に調印した。 ・平成28年度海外技術協力実務講習会の開催について ・海外活動支援委員会ダナンミッション計画、過去の協定書・覚書一覧の見直結果、台湾との交流についての報告。

	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾貿易センターからの申し出、次期委員会委員の選任について、 ・ベトナム出張報告、次年度予算計画について、忘年会。 ・海外技術協力実務セミナー、予算計画について、海外業務マッチング状況 ・キェム(東京大学助教)、コア(東京理科大助教)、トゥン(会社員)、クー(学生)、アン(民間組合) <p>：「ベトナムの農業(食料)への期待」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車のおいたちとマツダの歴史、自動運転(人工知能ビジネス) ・原子力発電について ・2000～2008年 ベトナム中部地域とダナン市の道路、鉄道、工業インフラ整備に向けて <p>在日ベトナム技術者：ファム・ゴク・ドク、レー・アン・ユン、グエン・カン・コン(計3名)</p> <p>技術士：中村委員長、小川副委員長、福島ベトナム小委員長、大坪(経営工学)、松井(機械)、坂本(建設)、山下(農業)、林(水産)、佐藤(建設)(計9名)</p>
男女共同参画推進委員会(委員会2回、メール審議4回、その他個別のワーキング活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・重要方針、委員会の方向付けは委員会により審議 ・第43回技術士全国大会(横浜)第5分科会の運営とポスター展示の企画、ポスター製作等 ・委員会広報パンフレット、ウェブサイトの更新等 <p>【女子学生支援ワーキング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術者をめざす女性向け技術サロンの定例開催(3、6、9、12月) ・「技術サロン報告書ーいま、そしてみらいの女性技術者が輝くためにー」の第2刷発行 ・ウェブサイトの充実ー技術サロンの質問に対する回答を記したQ&A集の作成及びウェブ掲載
第43回技術士全国大会運営委員会 運営委員会(2回) 運営会議(10回)	<ul style="list-style-type: none"> ・渉外、広報、式典、会計、危機管理、分科会の6小委員会により各々の所掌業務の検討 ・運営委員会委員の追加委嘱 ・運営委員会の組織体制 ・第43回技術士全国大会の概要 ・大会当日のタイムスケジュール・役割分担 ・各小委員会の検討状況の報告、確認事項 ・第43回技術士全国大会の活動記録の作成
技術士制度検討委員会 (12回)	<ul style="list-style-type: none"> ・技術士制度の課題と論点の整理 ・他の資格制度(更新制度あり)の調査 ・海外制度の調査 ・制度改革案の検討 ・各制度改革案のメリットとデメリット ・検討を踏まえた技術士更新案の検討 ・文科省技術士審議会内容の検討 ・各課題に対する検討
役員候補者選出選挙管理委員会 (幹事会2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・開票事務作業の確認について ・開票作業(兵庫県支部、山口県支部、鳥取県支部) ・開票結果の確認

資料 40 部会の開催

部 会	機 械	船舶・海洋/ 航空・宇宙	電気電子	化 学	織 維	金 属	資源工学
回 数	14	6	11	12	9	7	6

部 会	建 設	上下水道	衛生工学	農 業	森 林	水 産	経営工学
回 数	10	14	9	5	5	6	9

部 会	情報工学	応用理学	生物工学	環 境	原子力・ 放射線	部会 計
回 数	12	11	6	12	7	171

資料 41 地域本部の会合

地域本部名	全体会合等	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
北海道	1	4	87	69	25	186
東 北	1	4	16	31	0	52
北 陸	1	3	13	11	13	41
中 部	1	6	87	53	51	198
近 畿	1	6	34	118	8	167
中 国	1	7	37	36	53	134
四 国	1	4	30	36	9	80
九 州	1	6	38	26	52	123
計	8	40	342	380	211	991

資料 42 県支部の会合

(1) 関東甲信地域における県支部

県支部名	全体会合等	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
神奈川	2	11	45	22	7	87
埼玉	1	9	51	16	2	79
山梨	1	7	—	6	—	14
長野	1	6	—	5	1	13
千葉	1	10	66	11	12	100
茨城	1	12	16	15	13	57
栃木	1	10	12	17	6	46
群馬	1	6	6	4	3	20
計	9	71	196	96	44	416

(2) 地域本部管轄下の県支部

管轄本部	県支部名	全体会合等	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
東北本部	宮城	1	5	—	6	—	12
	青森	1	3	1	4	—	9
	秋田	1	3	—	4	—	8
	福島	1	5	8	4	5	23
	山形	1	5	随時	5	3	14
	岩手	1	6	10	8	0	25
北陸本部	富山	1	4	0	3	2	10
中部本部	愛知	1	7	13	12	38	71
	岐阜	1	5	5	6	5	22
	三重	1	4	4	6	9	24
	静岡	1	5	0	5	43	54
近畿本部	兵庫	1	6	12	3	2	24
中国本部	岡山	1	5	3	7	6	22
	山口	1	4	5	2	2	14
	鳥取	1	3	1	1	0	6
九州本部	大分	2	5	—	4	—	11
	鹿児島	1	2	3	5	—	11
	宮崎	1	1	—	2	2	6
	佐賀	1	5	—	2	—	8
	熊本	1	7	5	2	18	33
	長崎	1	6	—	4	1	12
計		22	96	70	95	136	419

資料 43 部会における講演会

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

機械部会

28. 5. 13.	強風による列車脱線事故についての一考察	最上鑑定技術士事務所	最上和夫	102 (21)
	倫理事例として考える、技術士（原子力・放射線部門）の10年	電源開発株式会社	桑江良明	
28. 6. 11.	第1部：講演技術コンサルタントの創造力発揮方法 第2部：アイデア発想を実際に体験「熟成製品を画期的に進化させるワークショップ」	アイデアプラント	石井力重	40 (2)
28. 7. 8.	ニュートン・工作機械の設計法	渡部技術士事務所	渡部厚夫	104 (9)
	回転機械の不思議「回転機械の釣り合わせを複素数で解く。振動と数学の面白い関係」	近藤エンジニアリング事務所	近藤孝邦	
28. 8. 19.	知っておきたい歯車の技術	渋谷技術士事務所	渋谷高広	64 (5)
28. 9. 9.	半導体ウェーハにおける切断技術	株式会社ディスコ	遠藤智章	65 (10)
28. 10. 14.	大学でのものづくり教育へのPBLの試み	名古屋大学	山口隆正	81 (16)
	冷却システムの更新と省エネ化	株式会社IHIプラントエンジニアリング	濁川義和	
28. 11. 13.	神奈川県支部の活動紹介	馬縹技術士事務所	馬縹宏	29 (1)
	相模ロボット産業特区の活動	磯村技術士事務所	磯村正義	
28. 12. 9.	半導体製造装置の耐震化（従来の地震対策と新しい課題）	技術士	高橋正人	58 (2)
29. 2. 10.	生体流体力学-循環器系シミュレーションと可視化計測（工学とバイオの融合）	東京大学大学院情報学環/生産技術研究所	大島まり	65 (6)
29. 3. 10.	機械技術者をいかに育成するか	奥田技術士事務所	奥田孝之	66 (21)
	交通事故解析（鑑定）についての一考察（事故解析や報告を通し、第三者に対し誤解無く的確に伝える表現や意思疎通方法を考える）	最上鑑定技術士事務所	最上和生	

船舶・海洋／航空・宇宙部会

28. 4. 1	航空機用ディーゼルエンジン史とクリーンディーゼル自動車の課題など	杉本技術士事務所 代表	杉本漢三	16
28. 6. 11	航空機胴体構造概論	平岡技術士事務所 代表	平岡康一	16
	身近な雑貨 ハブラシのハナシ	--	今城八重	
28. 6. 11	航空機の空力設計についてー航空機の空力設計技術の紹介と携わった機体の空力設計の紹介ー	元・川崎重工	酒井謙二	22
28. 7. 23	救難飛行艇 US-2 と消防飛行艇研究の紹介	新明和工業株式会社 航空機事業部 課長	郷田雄志	14
	ヘリコプターの機外荷物搭載装置による人員運搬について	エアボーンシステムズ株式会社	及川祐	
28. 8. 6	「さび（錆）」について	元・三菱重工	濱井升平	21
28. 9. 24	航空事故と安全基準の関わり	第一システムエンジニアリング 第1技術部 課長補佐	内山航	17
	宇宙環境と人工衛星について	宇宙技術開発株式会社 第一事業部	島袋翼	
28. 10. 8	航空機装備品への適用技術について	川崎重工業株式会社 技術本部 基幹職	米田治史	21
28. 11. 26	航空機用ジェット・エンジンの発達史	阿部技術士事務所 代表	阿部駿一郎	20
	レーザーによる弾性波を用いた完全非接触での損傷検知技術	宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 研究領域主幹	神田淳	
28. 12. 17	HAZOP による安全分析について	名古屋市工業研究所	小川清	16
29. 1. 28	今後の航空交通について	株式会社日本空港コンサルタンツ 国内業務本部 部長	土肥野隆史	21
	越後庄屋屋敷と技術革新	--	大治かな子	
29. 2. 4	ヒューマンエラーによる事故例や対策	中央エンジニアリング	渡邊幸之助	16
29. 3. 25	惑星系科学に向けたスペースオプティクスの研究	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 准教授	塩谷圭吾	23
	ロケットの飛行安全計画について	宇宙技術開発株式会社 第一事業部 リーダ	久保直史	

電気電子部会

28. 7. 5	極地に挑む技術	国立極地研究所 極地工学研究グループ	石沢賢二	74
28. 10. 17	再生可能エネルギーが進む欧州におけるエネルギー政策と最新技術の動向	長田技術士事務所 所長	長田雅史	70
28. 11. 10	太陽光発電システム普及・拡大とFREAの取組み	産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所 招聘研究員	小西博雄	36
28. 12. 5	福島事故の経験をより高い安全に結びつけるために	日本原子力学会倫理委員会委員長	大場恭子	71 (3)
29. 2. 7	①シリコン (Si) からカーボン (C) の環境デバイスの展開～太陽電池から医療応用まで～ ②生活食品で発電する～誰もが手軽に創れる太陽電池～	東京電機大学 教授および院生	平栗健二 上遠野惇市 鈴木雅之 寺井恭一	59 (6)

化学部会

28. 5. 26	超複雑混合系重質油の解析による真の技術革新	石油エネルギー技術センター技術企画部	豊岡義行	46 (2)
	ヨウ素の高度利用をめざして	ヨウ素学会 理事・事業委員長、技術士	海宝龍夫	
28. 6. 23	発電菌が切り拓く未来のバイオプロセス	東京薬科大学生命科学部教授	渡邊一哉	32 (1)
28. 7. 2	火薬類の化学分析と探知 ～テロ対策への応用～	公益財団法人総合安全工学研究所 事業部長	中村順	29 (5)
	岐路にきた日本の安全管理 ～どこまで安全を求めるか～	東京工業大学イノベーションマネジメント研究科特任教授	中村昌允	
28. 7. 28	中国の現代的石炭化学（オレフィン製造）は競争力があるか	元旭化成（株） 常務取締役	府川伊三郎	52 (4)
	低炭素技術の評価と課題	JST 低炭素社会戦略センター、技術士	岩崎博	
28. 8. 25	ウルトラファインバブルの産業化、メカニズム解明、国際標準化	NEDO 技術戦略研究センターユニット長、産総研 特別顧問名誉リサーチャー	矢部彰	25 (2)
28. 9. 29	リチウムイオン二次電池、はや四半世紀	元ソニー（株）常務執行役員	西美緒	42
	液晶デバイスの封止材料技術	日本化薬（株）、技術士	今泉雅裕	
28. 11. 24	陽電子消滅を使った微小空隙（存在しない原子）の評価	筑波大学 数理物質系教授	上殿明良	25
	プラスチックレンズの開発と応用	村中技術士事務所	村中昌幸	
28. 12. 10	いつかは独立！ 今から始める準備と知っておくべきノウハウいろいろ	秋元技術士事務所	秋元英郎	37 (2)
	YES-Metals! の紹介	京セラ（株）、技術士	松下滋	
	魂の伝承、技術士として次の世代に何を伝えるか	小柳塗工所、技術士	小柳拓央	

28. 12. 22	サステナブル社会の実現と日本のモノづくり改革	イノベーションオフィス田中	田中千秋	50 (2)
	英・独・米の国家戦略で加速されたゴム技術開発の歴史	後藤技術士事務所	後藤幸平	
29. 1. 26	ヒドリドイオン導電体の開発とエネルギーデバイスへの応用可能性	分子科学研究所 特任准教授	小林玄器	30 (1)
	酢酸の化学 ―どのように製造され、何に使われるのか―	(株)ダイセル、技術士	大野充	
29. 2. 23	原子分解能 STEM を用いた結晶界面・粒界の究極観察・解析	東京大学大学院工学系研究科教授	幾原雄一	24 (1)
29. 3. 23	超電導リニアモーターカー ～55年前に始まった超高速の研究～	鉄道総合技術研究所 浮上式鉄道技術研究部 部長	長嶋賢	40 (3)
	フレキシブルエレクトロニクス of 技術課題と将来展望	産総研フレキシブルエレクトロニクス研究センター 主任研究員	福田伸子	

繊維部会

28. 4. 23	バイオミメティクスの視点で見る繊維	八木技術士事務所 所長	八木健吉	17 (2)
28. 7. 30	東京都の伝統織物と繊維工業の現状および今後の動き	前東京都立産業技術研究センター 理事	吉野学	16 (1)
28. 9. 1	川合染工場におけるものづくりと技術開発	(株)川合染工場 代表取締役	川合創記男	26 (8)
28. 10. 19	世界のアパレルの現状と最新の工業用ミシン	JUKI (株) 縫製研究所 グループ長	臺秀一	22 (5)
28. 12. 17	第4回 全国アパレルものづくりサミット 「MADE IN JAPAN」の値打ち、商品開発や流通の課題	楽天(株) (株)サイバーエージェント クラウドファンディング	松山奨 中山亮太郎	16 (2)
29. 2. 2	高視認性安全服の今後の拡がり 災害種別避難誘導標識システムについて	(一財)ニッセンケン品質評価センター 防災・安全評価グループ長	竹中直	15
29. 3. 18	技術士を目指そう	溝口技術士事務所 所長	溝口隆久	14 (10)
29. 3. 19				

金属部会

28. 4. 20	中小企業の商品開発	JFE 精密株式会社代表取締役社長	林保之	33
28. 5. 18	「海岸部に設置したモデル桁の腐食環境モニタリング、金属溶射材料の種類と防食機構	トピー工業株式会社 綾瀬製造所主査	長屋五郎	29
28. 6. 15	シンガポールでのR&D (1996年～2002年) -下水道処理水の冷却水への再利用プロジェクト	平野技術士事務所 代表取締役	平野昭英	23
28. 7. 20	非金属への表面処理技術	非金属への表面処理技術	小塚隆	24

28. 10. 19	熱処理技術と生産技術	福井鋳螺株式会社	後藤稔	20
29. 2. 15	塗装前における素地調整方法の検討	(株) I H I 技術開発本部 生産技術センター、生産本部	井合雄一	29
29. 3. 15	最近のアルミニウムに関して	日本軽金属(株)蒲原製造所環境 管理生産技術本部	上野拓朗	25

資源工学会

28. 4. 12	世界における、アジア地域の割高石油コストの主要因とその是正方策	技術士	曾我正義	18 (3)
28. 6. 7	高レベル放射性廃棄物の地層処分について	原子力発電環境整備機構 技術部副部長及び地域交流部部長	吉村公孝 高橋徹治	30 (4)
28. 9. 6	小規模地熱開発の現状と課題	エネルギー資源環境事務所 代表	片山賢	24 (2)
28. 10. 11	現場から見た石炭開発・利用技術の変遷	元石炭エネルギーセンター	古川博文	13 (1)
28. 12. 17	我が国の地熱発電の現状と課題	産業技術総合研究所 名誉リ サーチャー	野田徹郎	43 (3)
29. 2. 7	中国のエネルギー事情と課題、対応について	石炭技術会 理事長	水野正勝	19 (3)

建設部会

28. 4. 20	CIMの取組みについて	(一財)日本建設情報総合センター 建設情報研究所主任研究員	影山輝彰	56 (9)
28. 6. 15	震災被害最大都市石巻市の復興の現状と課題	宮城県石巻市 建設技術管理監	大元守	37 (3)
28. 7. 20	日本の水資源管理とダム貯水池の役割	(一社)ダム工学会 前会長	濱口達男	33 (3)
28. 9. 21	ICT 施工技術の取り組み	国土交通省 関東地方整備局 企画部施工企画課 課長補佐	一本秀樹	32 (1)
28. 10. 18	地球温暖化対策と技術イノベーション～環境省の取組～	環境省地球環境局地球温暖化対策事業室 室長補佐	峯岸律子	38 (1)
28. 12. 14	インフラ認識と科学的精神 ～輝く未来を導くもの～	次期土木学会会長 (一財)国土技術研究センター 国土政策研究所長	大石久和	66 (6)
29. 1. 13	海岸防護にかかる景観設計の可能性～別府港海岸における試み～	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授	齋藤潮	24 (1)
29. 2. 15	最新の技術をまとった地下鉄東西線建設	仙台市交通局 次長	森研一郎	38 (3)

上下水道部会

28. 5. 21	東京水道の課題と対応	東京都水道局技監	田村聡志	35 (10)
28. 7. 15	渦巻きポンプの基礎知識	(株)荏原製作所風水力間カンパニー藤沢工場品質保証室	平岩廣直	22 (1)
28. 8. 27	多様化する生活排水対策	広島大学副理事(研究企画担当)環境安全センター長・教授)	西嶋渉	18
	水道施設の維持保全計画	広島市水道局技術部計画課課長補佐	新見一郎	
	荒尾市水道事業の包括委託	あらおウォーターサービス(株)取締役	松尾晃政	
28. 9. 26	東ティモールへの技術協力の取組み ・ブロック給水を活用した漏水検知 と修理による24時間給水の実現・	千葉県水道局水道部配水施設室工務班長	小林保雄	22 (2)
28. 11. 13	講演1 これまでの横浜水道と今後のあり方	講師：横浜市水道局施設部計画課長	川崎敬生	38
	講演2 横浜下水道事業について	横浜市環境創造局下水道調整部マネジメント課長	遠藤賢也	
29. 1. 23	再生可能エネルギーによる電力の地産・地消と自治体新電力の設立・運営	一般財団法人中之条電力代表理事	山本政雄	34

衛生工学部会

28. 5. 19	まちづくりと環境技術	(株)エックス都市研究所理事(兼横浜市環境未来都市推進担当参与)	信時正人	27
28. 9. 8	ISO 9001:2015 品質マネジメントシステム規格改定について	志澤技術士事務所代表	志澤達司	20 (1)
28. 12. 15	放射線に関する肩のこらないお話	(株)日立プラントコンストラクション	中田よしみ	35
29. 2. 16	廃棄物に関する国の動向等	一般社団法人 日本廃棄物コンサルタント協会 会長	西川光善	29
29. 3. 16	石巻赤十字病院(増築・改修工事共)の事業継続(BCP対策)事例紹介	(株)日建設計	金谷 靖	29

農業部会

28. 4. 23	グローバル人材育成のためのGAP教育	宮崎大学農学部教授	位田 晴久	43 (7)
	農業経営者の育成 ー農業MBA的教育で全員就農を果たした日本農業経営大学校のプログラムー	日本農業経営大学校校長	堀口 健治	
28. 6. 4	イチゴの輸出強化にむけたゲノム研究最前線	かずさDNA研究所先端研究部植物ゲノム・遺伝学研究室室長	磯部 祥子	34 (4)
	リンゴの輸出戦略 ー青森県産りんごによる台湾輸出を中心にー	弘前大学農学生命科学部准教授	石塚 哉史	
28. 8. 6	国内および世界におけるナノセルロースの研究動向と今後の展開	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	磯貝 明	34 (3)

	大潟村にモデル農村は実現したか	村田技術士事務所代表	村田 稔尚	
28. 12. 3	「知」の集積と活用場の検討経過と現状の取組みについて	農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課産学連携室長	田中 健一	25
	ブタを用いた再生医療研究最前線	明治大学バイオリソース研究国際インスティテュート教授	長嶋 比呂志	
29. 2. 4	HACCP 制度化に向けた検討について	食品産業センター技術環境部長	川崎 一平	30 (1)
	農産物の輸出促進に係る植物防疫上の課題とその対応	農林水産省消費・安全局植物防疫課長	島田 和彦	

森林部会

28. 4. 20	近年における我が国の山地災害の傾向と対策	(一社) 日本森林技術協会理事	落合博貴	121 (51)
28. 6. 24	オーストリアの治山技術の歴史	新潟大学名誉教授	丸井英明	55 (15)
28. 9. 16	林道施設の長寿命化対策	林野庁整備課森林土木専門官	林 茂	65 (17)
	治山施設の長寿命化対策	林野庁治山課課長補佐	川口大二	
28. 11. 25	木製道路施設の現状と可能性について	森林総合研究所木材研究部門主任研究員	加藤英雄	35 (11)
29. 2. 10	合法性証明から森林認証	(一社) 持続可能な森林フォーラム代表	藤原敬	42 (13)

水産部会

28. 5. 14	ICT (情報技術) と漁港	一般社団法人全日本漁港建設協会 会長	長野章	24
28. 7. 9	我が国の漁業・漁村をめぐる状況について—平成27年度水産白書より—	水産庁漁政部企画課動向分析班 課長補佐	竹田紗也子	23 (1)
28. 9. 3	漁具資材の変遷と最近の動向	ニチモウ株式会社資材事業本部海洋営業部チームリーダー	桜井広光	18 (2)
28. 11. 13	水産研究・教育機構の研究開発の状況と今後の方向性について	水産庁漁政部漁業保険管理官	井上清和	29 (2)
	産地の品質・衛生管理 (現況や事例、対策等)	海洋水産システム協会	岡野利之	
	水産物のトレーサビリティ導入における効果と問題点	(国研) 水産研究・教育機構	村田裕子	

	食育活動を通じた漁業地域の活性化	有限会社マリンシステム	桑原伸司	
	霞ヶ浦湖水の白濁化と魚類生産について	茨城県水産試験場	岩崎順	
29. 1. 14	定置漁業の鮮魚流通について	網代漁業株式会社 代表取締役社長	泉澤宏	28 (3)
29. 3. 4	漁港における水産物の高度衛生管理	一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所 次長	林浩志	17

経営工学部会

28. 4. 20	東日本大震災被災地の産業復興の現状と課題	復興庁産業復興支援グループ 主査	桑村明伸	38 (1)
	部会岩手三陸協力 WG 活動報告と今後の計画	部会岩手三陸協力 WG	室橋雅彦	
28. 6. 3	日本の補給機「こうのとりのこ」による国際宇宙ステーションへの物資輸送	JAXA 有人宇宙技術センター技術領域主幹	麻生大	44 (1)
28. 9. 3	国家戦略特区、千葉市のドローン宅配「近未来技術実証多文化都市」の構築に向けた取り組み	千葉市総合政策局特区推進担当課長	秋庭慎輔	56 (3)
	ドローンの技術と近未来に向けた可能性	(株) 自律制御システム研究所 取締役	三宅徳久	
	「ドローンの技術・市場の動向」～3次元大衆化	(合) スーパーポイントリサーチ 代表	河村幸二	
28. 10. 7	数理最適化技術を用いた日程計画・設備配置計画・梱包計画の実例	(株) 構造計画研究所技師	山田裕通	44 (1)
	経営工学におけるシミュレーションの活用	中央大学教授	高桑宗右エ門	
28. 11. 13	I o T が変える新しい時代と経営工学の役割	法政大学デザイン工学部教授	西岡靖之	42 (1)
	中部本部経営工学部会の活動状況と航空機等少量生産における改善指導について	中部本部技術士 (経営工学)	安田義美	
	技術士と安全課題 (技術士がものづくりを通じて社会に提供すべきものは何か)	近畿本部技術士 (経営工学)	増田武司	
	岩手三陸復興協力活動の取組	技術士 (経営工学)	室橋雅彦	
	経営工学三団体連携活動について	技術士 (経営工学)	志澤達司	

29. 2. 18	多様な価値時代に求められる経営工学技術者の育成	堀内技術士事務所（日本技術士会）	堀内孝男	50 (6)
	骨太であり続ける！NECグループの生産革新人財育成と革新文化の継承	日本電気SC統括ユニットものづくり統括本部エキスパート（日本IE協会）	山崎誠	
	大学を取り巻く環境の変化と経営工学科の現状について	日本経営工学会理事・産業能率大学教授	齊藤文	

情報工学会

28. 4. 22	ビッグデータの不思議?ウソとホント!	工学院大学情報学部教授	三木良雄	67 (6)
28. 5. 20	システム開発のグランドデザイン考	アイティプラン合同会社代表	會田信弘	58 (3)
28. 7. 23	厳密な仕様記述をめぐるワークショップ～文書の記述力とチームのコミュニケーション力の向上に向けて～	ソニー(株)フェリカネットワークス	栗田太郎	29 (3)
28. 8. 26	ドローンのテクノロジーとソリューション	(株)エンルート代表取締役社長	伊豆智幸	114 (2)
28. 9. 23	デジタルビジネス最前線とIoTプラットフォーム戦略について	伊藤忠テクノソリューションズ(株)部長	野村典文	31 (2)
28. 10. 28	SABOK (Strategy and Analysis Body Of Knowledge) へのお誘い	日本ITストラテジスト協会(JISTA)理事	楠美幸生	74 (18)
28. 11. 13	①人工知能研究の動向と展望 ②安全・安心社会の実現に向けたロボットの最新動向	①首都大学東京教授、人工知能学会理事 ②総合警備保障(株)セキュリティ科学研究所所長	①高間康史 ②加沢徹	54 (6)
28. 12. 3	高位の並行処理理論と応用～組み込みからクラウドまで～	CSP コンソーシアム理事	松井和人	25 (1)
29. 2. 3	修習技術者支援委員会の紹介及び技術士としての活動	修習技術者支援委員会委員長	川村智	51 (22)
29. 3. 11	IoT/IoE ワークショップ	産業技術大学院大学准教授	飛田博章	30 (3)

応用理学部会

28. 4. 19	応用理学部会の紹介	応用理学部会長	木寺幸司	29 (4)
	私の二次試験に向けた取組み	株式会社トプコン	布施浩一郎	

	6 度目の正直での合格&応用理学部門（地質）の技術士としての今後の抱負	パシフィック コンサルタント株式会社	松澤真	
	二次試験合格を経て思うこと	日本工営株式会社	安達浩平	
28. 5. 17	リモートセンシングを社会に実装する	国立大学法人 東京大学	安岡善文	33 (5)
28. 6. 21	①たいりくプロジェクト 西之島調査航海とその成果、②調査方法について	国立研究開発法人海洋研究開発機構	佐藤智紀 馬場尚一郎	35 (1)
28. 7. 19	技術士として生涯現役に生き抜く	石油分析化学研究所	藤田稔	17
28. 8. 23	水問題の諸相とダムの役割	一般社団法人ダム工学会	浜口達男	31 (1)
28. 9. 20	『下町ロケット』に学ぶ中小企業の知財戦略・経営戦略	国立大学法人 東京工業大学大学院	鮫島正洋	42
28. 11. 13	箱根火山のめぐみ～箱根温泉～	神奈川県温泉地学研究所	菊川城司	69 (15)
	首都直下地震・南海トラフ地震の最新情報	国立大学法人東京大学	田中愛幸	
	身近にあるプラズマの応用例	株式会社プラズマ理工学研究所	進藤春雄	
28. 12. 17	我が国の地熱発電の現状と課題	国立研究開発法人産業技術総合研究所	野田徹郎	22
29. 1. 17	大学教育と私が歩んできた道	千葉工業大学	小泉俊雄	21 (2)
29. 2. 21	見えないものが見える計測革命ーースパースモデリングの全てー	国立大学法人東北大学大学院	大関真之	35 (1)

生物工学部会

28. 4. 9	日本発の創業を目指して～日本の創業の歴史と創業研究を中心に～	富山化学工業経営企画部専任課長	柴田竜也	42 (7)
28. 6. 18	ビール副産物の活用事例～高付加価値化への取組み～	アサヒ GHD プロセス開発研究所	石田哲也	38 (1)
28. 10. 15	次世代シーケンス技術が開くゲノム編集による植物改造	静岡大学農学部教授	富田因則	38
	次世代施設園芸における植物工場技術の導入・運用と技術士の役割	(一社) 日本施設園芸協会技術部長	土屋和	
	技術士視点による農林水産業6次産業化の取組み ～課題の捉え方と解決のポイント～	AGURI DESIGN COMPANY 代表取締役	山下雄	
	近赤外光照射による青果物鮮度保持技術『iRフレッシュ』	四国総合研究所化学バイオ技術部長	石田豊	

28. 12. 10	微生物を用いた酵素製造の現状と展望	天野エンザイム	水戸光司	34
	酢酸菌のストレス応答機構	高杉製作所	原澤（原田）佳子	
	富士フィルム株式会社のヘルスケア事業について	富士フィルム	村口太一	
29. 1. 14	技術士を取得してからどうする？私の場合…	アステック細胞科学研究所	緒方貴宏	31 (7)
29. 2. 26	芽胞の生存戦略とその分子機構	摂南大学薬学部講師	桑名利津子	25 (6)
	化学工学的アプローチによるバイオプロセス開発への貢献	花王	浦川大樹	

環境部会

28. 5. 26	平成 28 年度 環境省重点施策について	環境省 大臣官房総務課 政策評価室 室長補佐	眼目佳秀	38 (4)
28. 7. 28	環境問題への経済学的アプローチ—環境経済学入門	和光大学 非常勤講師 技術士	小塚浩志	29 (3)
28. 8. 25	【技術情報交流会】 「大気汚染物質排出インベントリ構築の概要」 【一般廃棄物処理施設基本計画の動向】 「技術士の地域貢献活動のすすめ」 「東日本大震災から5年、農業の創造的復興」	環境部門 衛生工学部門 環境部門 環境部門 の各技術士	中塚誠次 川下章 高橋弘二 中山孝太郎	19
28. 10. 27	「精度管理としての技能試験—ISO/IEC 17043」	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 物質計測標準研究部門 博士	津越敬寿	19
28. 11. 13	「ブルーカーボンの先進的な取り組み」 「横浜・八景島シーパラダイスの横浜ブルーカーボン事業と海の環境教育の取り組み紹介」	東京海洋大学 教授 (株)横浜・八景島シーパラダイスアクリアーツ マネージャー	刑部真弘 養内真吾	19 (4)
28. 11. 5-6	サイエンスアゴラ2016「生物多様性と遺伝子攪乱」展示	—	—	—
28. 11. 25	電子書籍と紙書籍の環境影響—国内外の動向	大日本印刷(株)環胸部門 技術士	中村洋之	27 (1)
28. 12. 21	【忘年会】並びに【情報交流会】 「港湾工事による近接水産加工工場海水井戸障害とリスク対策の体験について」「続・門外漢トリウム溶融塩炉を調べる」	環境・建設・上下水道・衛生工学・総務部門 環境・建設・上下水道・衛生工学・農業・森林・水産・応用理学部門	丸山治 井上祥一郎	18 (1)
29. 1. 26	「川崎市の水素戦略について」	川崎市 臨海部国際戦略本部 臨海部事業推進部 担当課長	高橋友弘	28 (7)
29. 2. 23	「脱炭素化に動き出した世界のビジネス—COP22から見える変化のシグナル」	(公財)地球環境戦略研究機関 (IGES)	松尾雄介	30 (4)
29. 3. 23	「持続可能な開発目標 (SDGs) について」	(公財)地球環境戦略研究機関 (IGES)	堀田康彦	28 (5)

原子力・放射線部会

28. 5. 25	安全文化フォーラムディスカッション			19 (1)
28. 6. 24	レジリエンスエンジニアリングの視点から見た東日本大震災時の原子力発電所の対応と教訓	東北大学 名誉教授	北村正晴	43 (1)
28. 7. 22	東電福島第一発電所廃炉に伴う廃棄物の処理処分の課題、研究開発の状況	原子力機構 福島研究開発部門 廃炉国際共同研究センター	宮本泰明	49 (6)
28. 9. 16	放射線で見える植物の世界	原子力委員会 委員 東京大学教授	中西友子	30
28. 11. 18	原子力の安全確保－基本的考え方から現行規制まで－	日本原子力学会・原子力安全部会幹事	阿部清治	43 (7)
29. 1. 13	最近の地震と原子力施設の耐震設計	原子力安全推進協会	野田静男	37 (12)
29. 2. 14	安全文化フォーラムディスカッション			6
29. 3. 14				7
29. 3. 3	住民目線のリスク・コミュニケーションを考える(3)	医療法人 相馬中央病院 内科診療科長	越智小枝	19

資料 44 部会における見学会

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

機械部会	28. 11. 30	羽田整備工場 (日本航空&全日空)	10
	29. 1. 25	新江東清掃工場、中央防波堤外側埋立処分場	22 (2)
電気電子部会	28. 4. 13	鉄道総合技術研究所	42
	28. 5. 12	防衛省 航空装備研究所	57
	28. 6. 8	国立極地研究所 南極・北極科学館	52
	28. 9. 7	国際海底ケーブルシップ	35
	28. 11. 10	産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 (FREA) (郡山市)	36
	29. 3. 2	電気の史料館 (横浜市)	57
化学部会	28. 4. 21	富士フイルム株式会社 神奈川工場 小田原サイト	38 (2)
	28. 10. 27	防衛省 防衛装備庁 陸上装備研究所	37
繊維部会	28. 9. 1	(株)川合染工場	26 (8)
	28. 10. 19	JUKI (株) 縫製機器ユニット ソーイングセンター	22 (5)
	29. 2. 2	(一財)ニッセンケン品質評価センター 東京事業所 立石ラボ	15
資源工学部会	28. 5. 18	いわき市石炭・化石館	7
建設部会	28. 5. 20	東京外かく環状道路 (千葉/田尻地区) 開削工事及びシールドトンネル工事	26 (3)
	28. 8. 26	渋谷駅街区土地区画整理事業 地下施設整備工事	28 (1)
	28. 11. 18	相鉄・東急直通線 新横浜駅開削工事	27
上下水道部会	28. 9. 18 ～ 28. 9. 25	・ヤンゴン市 (ミャンマー) の上下水道施設 ・バンコックのタイ工科大学	11 (2)
	28. 12. 06	東京都水道歴史博物館	16
衛生工学部会	28. 6. 9	日本無機 (株) 結城工場	22
	28. 7. 14	相模原市南清掃工場	30
	28. 10. 20	(株)荏原製作所 藤沢工場	22
	28. 11. 15	みなとみらい 21 熱供給会社	28

	28. 11. 21～ 23	シガポール地域冷房施設、排水処理施設 (Newater 施設) 他	15
農業部会	28. 10. 14	神奈川県下の折本・東方農業専用地区及び生産緑地 (横浜市)、泉橋酒造株式会社 (海老名市)、農業生産法人株式会社井出トマト農園 (藤沢市)	38 (1)
経営工学部会	28. 7. 5	協和工業 (株) 本社、東金事業所、船橋市西浦下水処理場 (製品納入先) (株) タカラトミーマーケティング市川ロジスティクスセンター	29
情報工学部会	28. 5. 16	(株) シグマクシスのオフィス	5
	28. 6. 22	海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 横浜研究所	28
	29. 1. 17	国立印刷局東京工場、及び、お札と切手の博物館	28
応用理学部会	28. 10. 20	川崎鋼管株式会社	9
生物工学部会	28. 7. 28	とっとりバイオフロンティア並びに関連施設、株式会社テムザック技術研究所	21
環境部会	28. 6. 30	横浜市水・環境ソリューションハブ (北部下水道センター)	38 (4)
	28. 10. 01	ミニグランドキャニオン (山梨県北杜市)、サントリー白州工場 (水工場、ウイスキー蒸留所)	19 (3)
	28. 11. 13	八景島シーパラダイス	19 (4)
原子力・放射線部会	28. 5. 23	東京電力 (株) 福島第一原子力発電所	30
	27. 1. 27	檜葉遠隔技術開発センター	39 (10)

資料 45 地域本部における主な講演会等

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

北海道本部

28. 4. 16	「その先への選択」～岐路に立つ私たちの決断	(一社)北海道開発技術センター 研究員	中前千佳	26 (11)
28. 4. 22	旭川紋別自動車道について	北海道開発局室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所 所長	萬直樹	70 (50)
	北見市の都市計画施設の現状と計画	北見市都市建設部都市計画課長	津嘉田雅人	
28. 5. 13	強風による列車脱線事故についての一考察	最上鑑定技術士事務所	最上和生	23 (11)
	倫理事例として考える、技術士(原子力・放射線部門)の10年	日本技術士会理事、前 原子力・放射線部会長、電源開発(株)勤務	桑江良明	
28. 5. 13	ネパール大震災に遭遇して	前苫小牧副市長	中野裕隆	18 (7)
28. 5. 13	自然と観光を考慮した河川改修事業の計画・技術の指導と監理について	(株)アイネス	齊藤秀光	24
	地すべり地帯での砂防事業について	(株)ノース技研	沼田寛	
28. 5. 13	技術者倫理を仏道から考える	(株)プラテック札幌支店 技師長	日下部祐基	55 (30)
28. 5. 14	技術士を巡る動向	日本技術士会北海道本部 副本部長	森隆広	46 (6)
	新たな北海道総合開発計画と旭川開発建設部の取組みについて	北海道開発局旭川開発建設部 部長	伊藤丹	
	道北地域経済の現状と課題－地方における大学と企業のあり方を考える－	旭川大学経済学部 教授	江口尚文	
	第42回技術士全国大会(富山)のレポート	道北技術士委員会 代表	高桑史郎	
28. 5. 20	「Well-being～倫理共育への期待～」－より良く生きる－	旭川工業高等専門学校機械システム工学科・教授	岡田昌樹	84 (29)
	技術者の職務義務と積極的倫理－出る杭は打たれるか?－	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所寒地基礎技術研究グループ寒地地盤チーム主任研究員	富澤幸一	
	内部告発者の保護・救済に関する倫理的課題－技術者倫理教育の教材試案として－	(株)マド設計事務所	山本肇	

28. 5. 20	北海道の木材利用と地域活性化	北海道大学名誉教授	平井卓郎	20 (3)
28. 5. 24	破堤氾濫災害の軽減にむけて～千代田実験水路等による実験的研究～	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ長	船木淳悟	49 (8)
28. 5. 24	寒地土木研究所水産土木チームの研究について	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ 研究員	大橋正臣	58 (32)
	私の水産工学	元東海大学教授	谷野賢二	
28. 6. 3	北海道における新エネルギー導入拡大の取り組みについて	北海道経済部産業振興局環境・エネルギー室主幹	今西昌志	22 (4)
28. 6. 6	北海道の農村地域で優位な再生可能エネルギーの動向と地方創生	新谷建設(株) 札幌支店顧問	大内幸則	13 (1)
28. 6. 6	高齢社会の課題解決フィールドを目指したるもいコホートピアの試み	札幌医科大学医学部フロンティア学研究所病態情報学 教授 特定非営利活動法人るもいコホートピア理事長	小海康夫	247 (42)
28. 7. 8	ニュートン・工作機械の設計法	渡部技術士事務所	渡部厚夫	12 (4)
	“回転機械の不思議” 回転機械の釣り合わせを複素数で解く。振動と数学の面白い関係	IHI 回転機械	近藤孝邦	
28. 7. 8	おいしい北海道米ができるまで～「赤毛」から「ゆめぴりか」への軌跡～	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部上川農業試験場水稻グループ研究主幹	佐藤毅	26 (11)
	美味しいをデザインする	フードコーディネーター	金子由美	
28. 7. 15	室蘭市の水素社会への取り組みについて	室蘭市経済部産業振興課主幹	佐藤雅人	7
28. 7. 20	日本の水資源管理とダム貯水池の役割	(株) ニュージェック副社長執行役員	濱口達男	12 (4)
28. 7. 20	「札幌まちづくり」～都心の「顔」、札幌駅前通から考える～	札幌駅前通まちづくり(株) 統括マネージャー	内川亜紀	32 (21)
28. 7. 22	i-Construction の現状について	(株) ノース技研	布村重樹	17 (9)
	函館建設技術連携協議会 技術連携について	(株) 東鵬開発	藤田司	
	”	(株) エジソンブレイン	奈良哲男	
28. 7. 22	森と海のつながりの実態にせまる	地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部 林業試験場森林環境部機能グループ研究主幹	長坂晶子	55 (33)

	マナマコの資源増大に向けた増養殖研究への取り組み	東海大学生物学部海洋生物科学科 教授	櫻井泉	
28. 8. 19	東北大震災の復興を経験して～復興に関わった経過、内容、まちづくりの現場、課題～	パシフィックコンサルタンツ(株)北海道支社	山崎一弘	18 (3)
28. 8. 19	人口減少時代における北海道の地域戦略	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部参事官	五十嵐智嘉子	21 (7)
28. 8. 22	エネルギーの地産地消を前提としたスマートコミュニティについて	(株)NTTファシリティーズ北海道	飯野智紀	12 (1)
28. 8. 26	ドローンのテクノロジーとソリューション	(株)エンルート代表取締役社長	伊豆智幸	18 (7)
28. 9. 10	ラウンドアバウトについて	(株)東鵬開発	北藤幸恵	39 (24)
	森越川仮設及び実施工事に係る検討について	(株)小林土木工業所	小田司	
	〃	〃	赤石直樹	
	戸井川橋の橋梁点検事例	(株)ノース技研	渡辺潤	
	建設作業における振動・騒音発生事例	(株)ノース技研	清水亮輔	
	道路の整備効果について	(株)リージャスト	森下裕一	
	石組魚道計画時の留意点と設置後の効果	(株)エジソンブレイン	奈良哲男	
28. 9. 13	檻の外の技術者へと導く教育	高陽でざいん	宮下和也	10 (3)
28. 9. 14	石炭灰造粒物を用いた河口域干潟および浅海域の底質環境改善手法	中国地下工業(株)代表取締役	藤原哲宏	6 (2)
28. 9. 16	沿岸海域活断層の活動履歴を探る	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 地質研究所資源環境部沿岸地質グループ 研究主幹	内田康人	41 (27)
	石狩湾産ニシン増大への道のり、そして今後	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 中央水産試験場資源管理部 資源管理グループ研究主幹	星野昇	
	工学博士広井勇と築港	日本データサービス(株) 顧問	関口信一郎	
28. 10. 3	風力発電の現状と動向	(株)市民風力発電	仁野義章	14 (1)
28. 10. 13	災害救助法	国立研究開発法人防災科学技術研究所客員研究員	佐藤隆雄	5
28. 10. 14	大学でのものづくり教育へのPBLの試み	名古屋大学理学研究科	山口隆正	17 (5)

	トップランナーモータとその影響	(株) IHI プラントエンジニアリング医薬・ファインケミカル事業部技術部機械技術グループ	濁川義和	
28. 10. 18	防災学術連携体の活動と熊本地震への対応	防災学術連携体事務局長	塚田幸広	89 (30)
	東日本大震災における啓開活動について	橋本道路 (株) 代表取締役	橋本孝一	
	北海道の防災教育について	北海道総務部危機対策局危機対策課主査 (防災教育)	國田博之	
28. 10. 27	熊本地震での避難所の状況について	札幌市清田区土木センター	村瀬尚久	97 (97)
28. 10. 28	北海道の小町村の維持・発展のために	北海道開発局札幌開発建設部入札契約監察官	目黒聖直	12 (3)
28. 10. 28	SABOK (Strategy and Analysis Body Of Knowledge) へのお誘い	JISTA (日本 IT ストラテジスト協会) 会員 [JISTA 特定事業理事 (SABOK 担当)]	楠美幸生	7 (5)
28. 10. 28	地域の危険個所を把握し、災害に備える	HRS (株)	大浦宏照	71 (71)
28. 10. 31	北海道のこれから 少子高齢化・過疎化の荒波を超えて	作家・ジャーナリスト	外岡秀俊	74 (36)
28. 11. 2	熊本地震での避難所の状況について	札幌市清田区土木センター	村瀬尚久	28 (28)
	Do はぐ	HRS (株)	大浦宏照	
28. 11. 9	緊急時のマスコミ対応	広報コンサルタント、日本リスクマネジメント&コンサルタント協会理事	石川慶子	6
28. 11. 11	熊本地震での避難所の状況について	札幌市清田区土木センター	村瀬尚久	12 (12)
	神社にとっての防災を考える	HRS (株)	大浦宏照	
28. 11. 12	平成 28 年北海道豪雨災害について	HRS (株)	大浦宏照	95 (95)
	熊本地震での避難所の状況について	札幌市清田区土木センター	村瀬尚久	
28. 11. 15	熊本地震での避難所の状況について	札幌市清田区土木センター	村瀬尚久	22 (22)
	Do はぐ	HRS (株)	大浦宏照	

28. 11. 21	「工事工種体系化の手引き等について」	函館建設管理部地域調整課 主幹	中川寿昭	41 (33)
	使いやすい数量集計表の作り方	(株) エジソンブレイン 代表取締役	奈良哲男	
28. 11. 25	日本海北部海域における周年の水 域環境と生物生産性向上に向けた 検討	国立研究開発法人土木研究所寒 地土木研究所寒地水圏研究グル ープ 水産土木チーム研究員	三森繁昭	52 (34)
	自由落下式密度計を用いた港内浮 泥調査について	国立研究開発法人土木研究所寒 地土木研究所寒地水圏研究グル ープ 寒冷沿岸域チーム主任研 究員	大塚淳一	
	北海道区水産研究所の研究課題～ 環境、資源の変動について～	国立研究開発法人水産研究・教 育機構 北海道区水産研究所所 長	中津達也	
	北極研究のいま：世界、日本、北 海道	北海道大学北極域研究センター 教授	大塚夏彦	
28. 12. 2	十勝大雨災害事例発表	アークコーポレーション(株)	佐々木雅修	25 (1)
	〃	(株) 土木技術コンサルタント	西田光	
	〃	(株) 土木技術コンサルタント	古田勝章	
28. 12. 4	北の技術を語りつくす～雪を楽し む・暮らしを守る～	(一社) 北海道開発技術センター 調査研究部 研究員	藤井美智子	24 (16)
	〃	ボランティア活動による広域交 流イノベーション推進研究会	中前千佳	
28. 12. 6	プロジェクトマネジメント革新～ プロジェクト成功の条件を学ぶ～	イノベーションマネジメント (株) 代表取締役社長、経営学博 士	芝尾芳昭	9 (3)
28. 12. 8	『次の一步を踏み出すための、マ ーケティング・アプローチ』～マ ーケティング発想から、応用まで ～	北海道教育大学岩見沢校特任教 授	白井栄三	23 (7)
29. 1. 18	福島復興の5年間を振り返って ～除染の進展と放射線リスクコミ ュニケーション～	高エネルギー加速器研究機構 名誉教授	川合將義	8
29. 1. 30	「バイオマス燃料を使用した小規 模分散型熱利用システム（もみ殻 ボイラー）」	(株) IHI 環境エンジニアリング エンジニアリング統括部技術部 部長	成澤道則	15 (2)
29. 2. 1	常呂川の出水概要及び被災状況に ついて	北海道開発局網走開発建設部治 水課長	天野広之	220 (195)
	河川の被害状況と今後の対応	北見工業大学 教授	渡邊康玄	
	橋梁被害状況と今後の対応	北見工業大学 准教授	宮森保紀	
	河川地盤被害状況と今後の対応	北見工業大学 准教授	川口貴之	

29. 2. 10	「生体流体力学ー循環器系シミュレーションと可視化計測」《工学とバイオの融合》	東京大学大学院情報学環/生産技術研究所 教授 日本機械学会 筆頭副会長	大島まり	9 (1)
29. 2. 10	北海道のコアな価値を活用した滞在プログラムの検討	(一社) 北海道総合研究調査会	五十嵐智嘉子	20 (5)
29. 2. 16	「工事工種体系化の手引き等について」(2回目)	函館建設管理部地域調整課 主幹	中川寿昭	46 (43)
	使いやすい数量集計表の作り方	(株)エジソンブレイン 代表取締役	奈良哲男	
29. 2. 24	北海道におけるこれからのまちづくりと観光を考える	早苗コンサルタント(株) 技術顧問	小町谷信彦	20 (3)
29. 2. 25	道路災害箇所調査について	(株)東鵬開発 執行役員技術部長	藤田司	46 (32)
	3次元計測と3次元活用事例	(株)東鵬開発 管理技師	阿部敏之	
	函館湾岸価値創造プロジェクトについて	(株)ノース技研 代表取締役	布村重樹	
	北海道の鮮魚を世界に発進ースラリーアイスによる魚介類の鮮度保持ー	北海道立工業技術センター(函館地域産業振興財団) 研究開発部 食産業技術支援グループ	吉岡武也	
	スイスの社会基盤整備	函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 教授	澤村秀治	
29. 2. 27	本道における人口減少問題に対する取り組み	北海道総合政策部地域創生局地域戦略課 主幹	大野哲弘	99 (21)
	「建設業における生産性革命	北海道開発局 事業振興部機械課機械施工管理官	木下豪	
	働き方改革による生産性革命	日本データサービス(株) 環境技術部次長	田原さゆり	
	モノづくりの変遷を通じた生産性向上	(株)日立産機システム北海道支店	青木信成	

東北本部

28. 5. 10	東北の苦悩と誇り-3.11からの復興の未来-	東北工業大学 前学長	沢田康次	102 (8)
28. 5. 13	三陸の地質資源とジオパーク～被災資料の救済と地質資源の活用～	東北大学名誉教授, 同自然史標本館協力研究員	永広昌之	27
28. 5. 23	東北地方における気候の変化について	仙台管区気象台地域温暖化情報官	瀧上隆雄	51 (15)
28. 5. 25	超電導体を用いた磁気浮上応用技術の実用化に向けた取り組み	東北大学大学院 工学研究科電気エネルギーシステム専攻 教授	津田理	24

28. 6. 10	宮城県女川町の復興と未来	宮城県女川町長	須田善明	312 (120)
	『技術士宣言 (H24. 3)』から日本技術士会は何を行ってきたか	日本技術士会防災支援委員長	上野雄一	
	宮城県石巻市の復興と将来	石巻市建設技術管理監	大元守	
	(福島県の) 原発事故の概要と課題、そして将来	(株) ふたば代表取締役	遠藤秀文	
	岩手県の復興と ILC の展望	岩手県県土整備部技術企画指導課長	大久保義人	
28. 6. 15	恥じらいの文化と節水意識	福岡女子大学 准教授	豊貞佳奈子	34 (13)
28. 6. 17	老土木地質技術者の回顧談	老土木地質技術者の回顧談	菅原捷	10
28. 6. 24	釜石市の復興と未来	(一財) 沿岸技術研究センター東北事務所 所長	若崎正光	45 (16)
28. 7. 7	福島第一原子力発電所の廃炉作業の現状と今後の取り組みについて	東京電力ホールディングス(株)代表執行役副社長	石崎芳行	71
28. 7. 15	栗駒山麓ジオパークの魅力と見どころ～ジオパーク構想から実現まで	栗原市ジオパーク推進室係長及び専門員	佐藤英和, 田拓, 中川理絵	55 (9)
28. 8. 1	東北における次世代移動体システム研究開発とそれによる地域産業創生について他	東北大学未来科学技術共同研究センター教授	長谷川史彦、鈴木高宏、山邊茂之	24 (7)
28. 8. 19	深成岩地域の地下水調査の有効性～双葉郡葛尾村の例～	新協地水株式会社 技師長	谷藤允彦	12
28. 9. 2	エネルギーから地域を変えるスマートコミュニティのデザイン	東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻教授	中田俊彦	26 (1)
28. 9. 13	トッランナーモータ	(株)日立産機システム	宇辰 勝之 中村 大輔	35 (29)
28. 10. 14	トンネル施工時の対応について～地質技術者としての反省と今後の展望～	(株)ダイヤコンサルタント課長	伊藤靖雄	15
	津波による洗掘のメカニズム～巻上げと液状化について～	東北大学名誉教授	真野明	
28. 10. 25	観光交流に活かそう地域資源と技術士の力	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部長・他 5 名	宮原育子・他 5 名	73
28. 11. 11	国南部北上古陸の成立と発展～南からやってきた日本列島の基盤の形成～	東北大学名誉教授, 同総合学術博物館協力研究員	永広昌之	22 (2)

28. 11. 30	言葉を理解する人工知能のいま～自然言語処理・人工知能から見える社会・産業のスマート化～	東北大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻 教授	乾健太郎	19 (4)
28. 12. 9	偏光顕微鏡と岩石薄片鏡下監察について	(株)川口技術士事務所	川口通世	10
	砂防ボランティア活動の紹介～活動内容と危険箇所点検時のポイントについて～	(株)復建技術コンサルタント	押見和義	
28. 12. 16	中間貯蔵施設に係わるこれまでの動きと今後の課題	環境省福島環境再生事務所 中間貯蔵施設等整備事務所 調査官	高橋忠良	52 (13)
29. 2. 14	燃料電池と水素社会への取組み名取市閉上の復活に向けた取組みについて	名取市副市長	石塚昌志	27 (2)
29. 2. 18	インフラって何だろう？～暮らしを支える縁の下の力持ち～	東北大学大学院工学研究科教授	久田真	50 (35)
29. 2. 23	電力システム改革について	経済産業省 東北経済産業局資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課長	柏芳郎	64 (46)
29. 2. 24	東日本大震災の被災地における実践的研究	東北大学助教授	佐藤翔輔	114 (63)
	認知症のケアと対応について	仙台富沢病院精神衛生福祉士	谷佳奈子	

北陸本部

28.4.17	新潟県内技術士（補）有資格者懇談会特別講演 「社会資本整備のこれから」	国土交通省北陸地方整備局長	藤山秀章	52 (12)
28.7.2	北陸本部年次大会特別講演 「マイナス金利と地方創生」	三条信用金庫地方創生推進グループ常務理事	陣内純英	58
29.1.23	第4回防災講演会 「迫りくる大規模災害と備え」 ①「大規模自然災害の備えについて－北陸地方整備局の取り組み－」 ②「新潟県における過去の津波と今後の備え」 ③「防災学術連携体の活動と熊本地震への対応」	国土交通省北陸地方整備局 総括防災調整官 新潟大学災害・復興科学研究所研究教授 公益社団法人土木学会専務理事・防災学術連携体事務局長	山岸達也 ト部厚志 塚田幸広	73 (27)
29.1.27	CPD講演会 「日本海国土軸～北陸からの発信～」 ①「日本海交流圏」 ②「日本海国土軸の整備と北陸・金沢のまちづくり」 ③パネルディスカッション 「日本海国土軸 北陸からの発信」	北陸地方整備局局長 金沢大学理工研究域環境デザイン学系長・学類長 教授 コーディネーター：(株)日本海コンサルタント専務取締役	中神陽一 高山純一 埜正浩	79 (39)

29.2.11	青年技術士交流委員会 講演会 「新しいお米ブランド-新之助-」 ①新潟の新しいお米「新之助」 ②新しいお米ブランド「新之助」	新潟県農業総合研究所作物研究センター育種科長 農事組合法人ファーム小栗山代表理事	石崎和彦 三沢孝喜	26 (1)
29.2.25	地域産官学と技術士合同セミナー 「技術を通じた持続可能な地域社会の形成」 ①「富山の土木と地域の活性化」 ②「富山大学の『都市デザイン学部』設置構想～大学と連携した今後の富山のまちづくり～」 ③「ものづくりにおけるオープン化次世代産業用ロボット」 ④「アルミニウム建材の発展と技術」	富山県土木部 次長 富山大学大学院 理工学研究部 教授 株式会社不二越ロボット開発部 制御開発部部长 三協立山株式会社三協アルミ社 技術部 部長	村岡清孝 久保田善明 石田勇一 宇野清文	103 (42)
29.3.4	土木の未来を考える～若手が創る新しい業界のカタチ～ ①土木の未来・将来を考えるきっかけに ②国土交通省生産性革命プロジェクト～本格的なi-Constructionへの転換～ ③建築・土木の未来のカタチ ④i-Constructionの適用工事全国第一号として行ったICT土工 ⑤若手が支える地域インフラの維持管理(ME 新潟の取り組みと今後の展開)	新潟大学 工学部 准教授 北陸地方整備局 企画部 企画課 課長補佐 伊藤忠テクノソリューションズ 会津土建株式会社技術管理部部长 ME 新潟の会会長	大竹雄 藤木裕二 高橋修 宮井隆利 荒木克	80 (51)

中部本部

28.4.1	歴史技術講座 「航空機用ディーゼルエンジン史とクリーンディーゼル自動車の課題など」	杉本技術士事務所	杉本漢三	16
	自由討論会「MRJの次は？～日本の航空機産業の歩む道」	田島技術士事務所	田島暎久	
28.4.2	『海外工場指導事例 インドNo.2』	国際経営技術研究所	石川君雄	13 (6)
	『外注・購買管理のSCM・IoTによる国際社会での競争力強化』	PEK長谷川技術士事務所	長谷川欽一	
28.4.28	私見 大国で働き、生活する際の手帳メモ	三宅立郎技術士事務所	三宅立朗	21
	零戦と超々ジュラルミン	株式会社UACJ顧問	吉田英雄	
28.4.30	ノーベル賞中村修二氏の技術者倫理を考える～青色LED製法開発と特許訴訟から見えること～	春田技術士事務所所長	春田要一	33 (4)
28.5.13	強風による列車脱線事故 についての一考察	最上鑑定技術士事務所	最上和生	22

	倫理事例として考える、技術士（原子力・放射線部門）の10年	日本技術士会理事、前原子力放射線部会長、電源開発(株)	桑江良明	
28. 5. 14	レーザーが創る不思議な世界～レーザー光ピンセット&レーザースクリーニング技術～	中部大学 工学部 電子情報工学科 教授	葛谷幹夫	27 (1)
28. 5. 15	技術士倫理綱領と米国主要技術者協会の倫理綱領を概観して	アイシン精機(株)	山田豊久	23 (2)
	別角度から『倫理Code』を考える	ラーテン技術士事務所所長	比屋根均	
28. 5. 21	東京駅復原工事にみる伝統技術への情熱と最新技術の融合について	鹿島建設(株) 副所長	上浪鉄郎	100 (5)
	中部本部青年技術士会活動状況	トヨタ自動車(株)	石川智康	
	中部本部青年技術士過去の状況	(株) パスコ	岡本芳樹	
	北海道本部青年技術士会活動状況	(株) 北海道水工コンサルタンツ	千葉裕	
	統括本部青年技術士会活動状況	日本コントロールシステム(株)	太田道宏	
	技術士の魅力向上に向けて	ラーテン技術士事務所所長	比屋根均	
		(株) 中日本建設コンサルタント	栗本和明	
		富士機械製造(株)	藤田政利	
		日本ガイシ(株)	奥村康	
		アイシン精機(株)	田村浩史	
パナソニックエコシステムズ(株)	木村琢磨			
(株) デンソー	嘉田善仁			
28. 6. 11	航空機の空力設計について —航空機の空力設計技術の紹介と携わった機体の空力設計の紹介—	元・川崎重工	酒井謙二	22
28. 6. 23	突発事故により損傷した大口径下水管の補修工事	(株) みらいコンサルタント	伊藤久	14
	(プレス)金型について	(有) シバ金型(岐阜県各務原市) 専務取締役	芝世志造	
28. 7. 8	ニュートン・工作機械の設計法	渡部技術士事務所	渡部厚夫	18
	回転機械の不思議	IHI 回転機械	近藤孝邦	
28. 8. 6	私と微生物	(株) ダイセキ環境ソリューション	成田尚宣	52 (8)
	私とテスト	日本ルプゾール(株)	本田晃之	
	私と天蚕—身近な里山の生物資源—	(株) 本堀商会	本堀雷太	

	私と情報 -身近な生活からモビリティまで-	トヨタ自動車 (株)	石川智康	
	自分の考えに忠実に行動 数多の失敗で成長して 20 年	野原産業 (株)	盛田直樹	
	社長に直訴、重大なトラブル発生を未然に防止	メタウォーター (株)	阿部秀樹	
28. 8. 6	フーンボロ航空ショー報告	田島技術士事務所	田島暎久	21
	「さび (錆)」について	濱井技術士事務所	濱井升平	
28. 8. 21	予防倫理と隣接分野の比較 ~犯罪予防には街路樹の剪定をする~	三菱電機エンジニアリング (株)	倉地晴幸	25 (1)
	予防倫理から志向倫理へ	大阪ガス (株)	田岡直規	
28. 8. 25	温故知新~コメット機の墜落事故と金属疲労	田島技術士事務所	田島暎久	9
	エンジンの燃費の話	プライテック特許事務所 所長 弁理士	三林大介	
28. 8. 27	「香料よもやま話」	浅井技術士事務所	浅井清次	25
	「化学メーカーから見た LED と有機 EL」	(株) 東レ	西脇寛美	
	「半導体材料について」	(株) アルプス技研	笠原敬男	
28. 9. 9	半導体ウェーハにおける切断技術	(株) ディスコ 技術開発本部	遠藤智章	13
28. 9. 10	巨大水災害克服に向けて	名古屋大学 名誉教授	辻本哲郎	66 (7)
	災害! いざというときどうする? ~合言葉は「命・支えあい・自ら動く」~	名古屋市港防災センター 防災教育アドバイザー J I C A 防災教育担当専門家	近藤ひろ子	
28. 9. 17	I o T が創る未来社会 一業務経験に基づく展望と課題一 小型コンピュータの歩みと I o T	K D D I (株) 足立技術士事務所 愛知工業大学	木崎洋 足立茂美	24
	I o T にシニア人生の夢を託して	日立オムロンターミナルソリューションズ (株)	岡崎憲一	
28. 09. 17	少量生産・受注生産企業における生産性向上指導について	安田技術士事務所	安田義美	13 (8)
	海外 (スペイン) アルミダイカスト技術指導について	G O - T O M 技術・経営研究所代表	富田剛	
28. 09. 18	大学で学んだ「技術者倫理」と実務の「技術者倫理」とのギャップ	機械部門 (修習)	大町勇己	19 (3)
	「本来のコンプライアンス」を世の中に知らしめるのは技術士	鈴木技術士・労働安全 C o n 事務所代表	鈴木朗	
28. 10. 08	航空機装備品への適用技術について	川崎重工	米田治史	21 (1)
28. 10. 14	大学でのものづくり教育への P B L の試み	名古屋大学	山口隆正	16
	冷却水システムの更新と省エネ化	(株) I H I プラントエンジニ	濁川義和	

		アリング		
28. 10. 16	MBAマーケティングの理論と実際	PEK長谷川技術士事務所	長谷川欽一	10 (5)
	ブラジル等の海外コンサルティング活動報告・雑感	国際経営技術研究所	石川君雄	
28. 10. 19	「南海トラフ地震に対する防災減災の取組」	国土交通省中部地方整備局 総括防災調整官	可児裕	104 (53)
	「地震津波シミュレーションによる被害予測と防災・減災対策」	(株)ハイドロソフト技術研究所 開発センター長	川崎浩司	
28. 10. 27	STAP細胞事件の真相と倫理	ベルナー技術士事務所	太田隆之	12 (1)
	国の求める女性活躍と、女性が望む女性活躍	(一社)日本少子化対策ネットワーク 代表理事	安藤摩里	
28. 10. 29	インダストリー4.0やIoTの取り組みを知ろう	(株)アイリンク	照井清一	36
	電子部品実装業界での取り組み事例	富士機械製造(株)	藤田政利	
	ダントツ工場の取り組み紹介	(株)デンソー	嘉田善仁	
	SONYのIoT MESH 紹介	ソニーGM&O(株)	高瀬春之	
	IoTがもたらす自動車サービスの変革	トヨタ自動車(株)	石川智康	
28. 10. 30	地域と連携したこれからの理科教育について	知立市立知立南小学校校長	福井信也	25 (3)
28. 10. 30	技術者向け英語WS 体験セミナー(1回目)	村田機械(株)	田尻明子	9
28. 11. 6	倫理問題における専門職としての技術者の能力への期待	麻田技術士事務所所長	麻田祐一	16 (1)
	専門職の倫理に頼るしかない建設施工現場の管理システム	ミネルヴァ技術事務所所長	打田憲生	
28. 11. 19	環境先進都市を目指す豊田市の取組	豊田市企画政策部環境モデル都市推進課長	柴田徹哉	16
	再生可能エネルギーの現状と課題	豊田市再生可能エネルギーセンター相談役	服部順一	
28. 11. 26	インターンシップの経験者へ	吉川建設株式会社積算購買統括部 課長	小島茂樹	17 (6)
28. 12. 03	技術とは? ～科学との混同によって見過ごされる技術者	東京都市大学客員教授 元千葉大学副学長 元科学技術庁科学技術振興局長 他	宮林正恭	63 (2)
	不確実性下の意思決定～信頼性設計と技術者	JABEE業務執行理事・国際委員長 岐阜大学名誉教授	本城勇介	
	パネルディスカッション&会場全体討議	司会：倫理委員会委員	比屋根均	

	「技術者の専門性・役割・倫理」			
27. 12. 4	技術者向け英語WS 体験セミナー（2回目）	村田機械（株）	田尻明子	9
27. 12. 9	半導体製造装置の耐震性	（株）ニコン	高橋正人	14
28. 12. 15	進化を続ける染色技術、チーズ染色とカーボン・ナノ・チューブの可能性	茶久染色（株） 代表取締役	今枝憲彦	30 (16)
28. 12. 17	持続可能なCIMモデルの活用を目指して	オフィスケイワン（株）	保田敬一	17
	3次元デジタルカメラ計測システムの紹介	SoftBridge（株）	高口昇	
	橋梁の生産性向上のための技術的解決事例について	橋梁調査会	本多仁	
28. 12. 17	HAZOPによる安全分析について	名古屋市工業研究所	小川清	16
28. 12. 17	IOT、インダストリー4.0時代の生産管理について	高度生産研究所	和澤功	15 (11)
	「売れない」のは原因がある！	ライトアップコンサルティングサービス	西岡昭彦	
29. 1. 8	倫理の考え方の基本～創造の楽天性と倫理的想像力 倫理Codeから第4回までを振り返ってみる	ラーテン技術士事務所所長	比屋根均	18 (1)
29. 1. 29	仕事を創る！お客につながる！～私の技術士仕事術～	株式会社本堀商会・本堀技術士事務所	本堀雷太	30 (2)
	チャンスの神には、前髪しかない	前田コンサルタント事務所所長	前田持	
	環境技術への情熱を燃やして、46歳で独立へ 技術士事務所独立開業及び業務の体験談と推奨内容～大学・高専の非常勤講師となるには何が必要か～	野々部技術士事務所所長 春田技術士事務所所長	野々部顕治 春田要一	
29. 2. 4	ヒューマンエラーによる事故例や対策	中央エンジニアリング	渡邊幸之助	16
29. 2. 4	環境技術同好会活動について	（株）本堀商会	本堀雷太	22 (2)
	製造技術同好会活動について	ソニーGM&O（株）	高瀬春之	
		（株）ダイセキ環境ソリューション	成田尚宣	
		富士機械製造	藤田政利	
		ライトアップコンサルティングサービス	西岡昭彦	
		ムトーハイテック	三島孝朗	
	（株）VSN	森口尚基		
建設技術同好会活動について	吉川建設（株）	小島茂樹		

29. 2. 12	「MBAマーケティングNo2 応用編」	PEK長谷川技術士事務所	長谷川欽一	10 (2)
	「海外指導雑感」	国際経営技術研究所	石川君雄	
29. 2. 18	ループウィング風力発電装置の発電特性	静岡理工科大学機械工学科	萩田祐希	41 (11)
	円錐形状尖頭物体の頂角と空力抵抗の相関に関する研究	静岡理工科大学機械工学科	大石涼太	
	春日井市における廃食油回収の現状調査とGIS解析	中部大学工学研究科	手嶋楓	
	重力異常を利用した地下空洞の特定化の試み	中部大学工学研究科	伊藤健介	
	地下鉄を考慮した名古屋における津波の浸水解析	中部大学工学研究科	中島勇介	
	段戸川に生息する外来魚ブラウントラウトが在来魚類に及ぼす影響	玉野総合コンサルタント(株)	大竹賢人	
	ポリマーを混入した繊維補強超速硬セメントコンクリートの強度特性	豊田高等工業専門学校	中根康智	
新型3次元顕微鏡と画像情報処理を融合した藻類/水質管理技術の開発	(株)マクシス・シントー	中川勝統		
29. 2. 18	田口メソッドの概要とソフトウェアデバッグへの応用事例	浜松ホトニクス(株)システム事業部品品質管理部	松島正	30 (1)
	Deep Learning(深層学習)	吉村技術士事務所	吉村元一	
29. 2. 23	里山の猪について	(株)環境デザイン	村橋光臣	13
	自動車ボディの複合材(コンポジット)について	長岡国際技術士事務所代表	長岡猛	
29. 3. 10	機械技術者をいかに育成するか	奥田技術士事務所	奥田孝之	10
	ICT時代の技術者倫理	飯田ICT技術士事務所	飯田敏幸	
29. 3. 12	企業不祥事「公衆優先原則」の視点で見たら何が見えるか	アイシン精機(株)HV駆動技術部	池田実	24 (2)
	公衆優先原則の課題とその解決策に関する一考察	潮田技術士事務所	潮田智道	
29. 3. 18	DP(デザインプロデューサー)としての技術士 ～ささやかな私の取り組み紹介～	一般社団法人愛知県建設業協会 副会長 株式会社山田組代表取締役	山田厚志	62 (2)
	人生を成功に導く5つの実践	カレーハウスCOCO壱番屋創業者	宗次徳二	

近畿本部

28. 4. 2	ISO 26000 (社会的責任) について ISO 45001 開発最新情報	タケウチ技術士事務所 増田技術士事務所	竹内修治 増田武司	12
28. 4. 8	日本の近代・現代の歴史をふりか える ～大日本帝国の興亡と平和国家日 本国の成立・発展～	中塚技術士事務所代表	中塚 勉	12 (2)
28. 4. 15	最近のペット事情	アニマルハウス技術士事務所	戸口昌俊	11 (2)
28. 4. 16	4 月度「部会+研修会」	柏原コンサルティングオフィス 代表	柏原秀明	26 (2)
28. 4. 16	文書コミュニケーションの新潮流 21 世紀を生きるサムライ「技術士」	ラボ・ハルサワ 代表 坂東技術士事務所 所長	榛澤美保 坂東大輔	13
28. 4. 18	鍍金事業所と土壌汚染 国際協調によるバイオマスエネル ギー開発の提案	技術士 技術士	山本王明 濱崎彰弘	48 (13)
28. 4. 19	ファインバブルの基礎・実用・新 展開 総会 (H27 年度活動報告、H28 年度 計画、人事)	大阪府立大学名誉教授 掛田技術士事務所所長	上原 赫 掛田健二	21 (5)
28. 4. 21	透明導電膜の基礎と塗布型透明導 電膜の応用展開	日立マクセル 技師、技術士 (化学)	水谷拓雄	15
28. 4. 27	中国におけるごみ焼却発電の現状 と課題 上海老港ごみ発電プラ ント訪問記録 最近の建設コンサルタント会社に ついて	掛田技術士事務所 所長 (株)エース環境整備本部担当部 長	掛田健二 木村孝司	8
28. 5. 7	廃棄物固形燃料について	高橋技研	高橋明男	12
28. 5. 12	東南アジアにおける水ビジネスの 事例	(株)神鋼環境ソリューション水環 境技術本部	石丸 豊	26 (11)
28. 5. 12	中小企業の生き残り作戦と異業種 交流 東日本大震災の復興の取組と課題	有限会社リンク 代表取締役会 長 株式会社 オオバ 大阪支店 マ イスター	寺家照二 伊勢博幸	16 (1)
28. 5. 14	事業継続計画 (BCP) の概要 技術者に求められる資質について	京セラ (株) 経営推進統括部 パナソニック (株) ストレージ 事業部	野原英則 本多利行	19 (1)
28. 5. 14	ジャイロの応用 “波力発電と揺れ 止め” 海にからむ地球資源からみた日本 鉄鋼業の進歩と将来	カンキロータダイナミクスラボ 技術士 (金属)	神吉 博 細谷陽三	58 (1)
28. 5. 19	ベトナムと中国での企業活動 中国研究会会計問題経過報告、訪 中団計画報告	甲南電機(株)取締役 掛田技術士事務所所長	椋本栄一 掛田健二	9
28. 5. 27	欧州の不織布生産設備の進展と今 後の方向	日本不織布 協会 顧問	矢井田修	31 (16)
28. 5. 28	第 1 回近畿本部建設部会『金井塾』	(株)大林組特別顧問	金井 誠	58

				(41)
28. 6. 2	「最新の上下水道処理関連技術紹介」	水ing(株)下水技術部計画技術課副参事	吉田秀潔	20 (7)
28. 6. 4	くい長さ不適合への旭化成調査報告とISO 9001による検証	上西技術士事務所	上西健雄	13
28. 6. 15	リチウムイオン電池の開発状況	(株)GSユアサ リチウムイオン電池事業部 ビジネス本部 企画部 部長	中満和弘	34
28. 6. 17	キノコ関連についての現状と展望	エムシーテクノオフィス(株)	山内政明	18 (3)
28. 6. 18	IoT時代のセキュリティリスクと対策 サイバー犯罪の動向	沖電気工業(株) 研究開発センタ 白井技術士事務所 所長	川本康貴 白井義美	99
28. 6. 18	新興国への技術移転で利益を出すぞ！～環境問題がビジネスチャンスに～	秋葉技術士事務所 所長	秋葉恵一郎	11 (5)
28. 6. 18	創新興国への技術移転で利益を出すぞ！ ～環境問題がビジネスチャンスに～	(一社)技術知財経営支援センター代表理事、統括本部化学部会長、元住友化学	秋葉恵一郎	44 (34)
28. 6. 18	新興国への技術移転で利益を出すぞ！	(一社)技術知財経営支援センター 代表理事 技術士	秋葉恵一郎	36 (12)
28. 6. 23	JETRO 中国高齢者ビジネスの現状と展望 大商仲介の中国高齢者ビジネス	掛田技術士事務所所長 江村技術士事務所所長	掛田健二 江村和朗	14 (3)
28. 6. 25	6月度「部会+研修会」	川崎重工業	藤原章治	18
28. 7. 2	第4回年次大会および業績研究発表会	(株)森川鑿泉工業所 CEO	森川嘉夫瑠	33
28. 7. 2	ISO 14006 環境配慮設計について	八代技術士事務所	八代 弘	14
28. 7. 5	極地に挑む	国立極地研究所 極地工学研究グループ	石沢賢二	6
28. 7. 7	「企業組織倫理」	細谷技術士事務所	細谷陽三	20 (8)
28. 7. 8	セレンディピティ 電気主任技術者の使命とは	上田技術士事務所 代表 一般財団法人 関西電気保安協会 営業本部 マネージャー	上田修史 大西 潤	19 (3)
28. 7. 9	グリーンITからIoTのエネルギーマネジメント	パナソニック(株) ストレージ事業部	本多利行	20
28. 7. 9	原子力発電の歴史、基礎、今とこれから 技術者が企業に勤めながら博士号を取る方法	技術士(機械、原子力・放射線、総合技術監理) 技術士(機械)	大西祥作 田尻明子	42 (2)
28. 7. 14	オムロン health-Care ベトナム2014 見学報告	掛田技術士事務所所長	掛田健二	9
28. 7. 15	営業秘密の保護と改正特許法について	(株)片山化学工業研究所	半埜賢治	14
28. 7. 22	東電福島第一発電所廃炉に伴う廃棄物の処理処分の課題、研究開発の状況	日本原子力研究開発機構(JAEA) 福島研究開発部門	宮本泰明	14

28. 8. 1	植物工学の現状と課題	京都大学 大学院 教授	清水 浩	51 (13)
28. 8. 1	植物工場の現状と課題	京都大学教授	清水 浩	10 (3)
28. 8. 4	「管路維持管理手法について（漏水調査・埋設管調査）」	フジテコム株式会社大阪支店次長	桑田秀雄	26 (10)
28. 8. 5	燃料電池の開発の歴史と今後の展開 セルロースナファイバーを用いた次世代電子デバイス開発	田島技術士 事務所 所長 大阪大学准教授	田島 収 能木雅也	34 (20)
28. 8. 5	私の業務経験 業務研究会の運営について	新庄工業経営研究所 代表	新庄秀光	12 (2)
28. 8. 6	光合成色素フィコシアノピリンを合成する酵素と基質ビリベルジンとの複合体の中性子結晶解析	大阪大学名誉教授、理学博士	福山恵一	16 (1)
28. 8. 20	8月度「部会+研修会」	三菱電機	鶴田明三	28 (2)
28. 8. 20	ものづくりと価値づくり-MOT(技術経営)の視点から- Continuous Integration とレガシー環境	パナソニック(株) 人材開発カンパニー アイテック阪急阪神(株) 電子交通ソリューション部	土田雅之 榊一憲生	20 (1)
28. 9. 1	コレステロール低下作用を有する野菜・果物混合飲料(トクホ)の開発	サンスター(株)	水道裕久	22 (7)
28. 9. 3	戦略的標準化への取組	八代技術士事務所	八代 弘	14
28. 9. 9	自動運転車は人間を超えられるか? 福島復興支援ツアー2015、2016 見聞記	有限会社SRD 代表取締役 深田技術士事務所 代表	鈴木 裕 深田晃二	17 (1)
28. 9. 9	食品添加物の基礎(食添のハセツブを含めて)	徳永技術士事務所	徳永浩二	10 (1)
28. 9. 10	都市情報学について~スマートシティへの道~ 趣味的視点のIoT概論	三菱電機(株) 社会システム第二部 パナソニック(株)	丹波光夫 衛藤博樹	17 (1)
28. 9. 10	ティルトロータ型ドローンの研究開発 東日本震災後の原子力発電所の設備改善と核燃料廃棄物処理について	神戸大学大学院システム情報学研究科助教 技術士(機械)	浦久保孝光 吉田晋侑	45 (1)
28. 9. 16	放射線で見える植物の世界	原子力委員会委員 東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授	中西 智子	7
28. 9. 16	最近の射出成型・プレス機械・工作機械の動向 業務紹介: ガスタービン運転場建設と関連情報	外山技術士事務所所長 川重明石エンジニアリング(株)	外山榛一 三木俊明	12
28. 10. 1	ISO 45001 DIS 最新情報	津田技術士・安全コンサルタント事務所	津田文男	14
28. 10. 3	水環境の保全~琵琶湖の事例	独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所	野口 宏	51 (15)
28. 10. 5	再生可能エネルギー(太陽光発電)	環境計画センター専任理事	鍵谷 司	12

	の光と陰について 福島復興支援ツアー一見聞記	深田技術士事務所 代表	深田晃二	
28. 10. 6	「下水再生水の高度複合利用について（イオンモール堺鉄砲町）」	(株)関電エネルギーソリューション営業部	五明伸夫	25 (8)
28. 10. 8	10 月度「部会+研修会」	太陽工業	埴 泰之	19 (1)
28. 10. 8	企業内 技術士 その後 組込みソフトウェア開発現場での プロセス改善の取り組み	(株)フルノシステムズ パナソニック (株) エコソリューションズ社	岸田昌巳 隅田清彦	23 (1)
28. 10. 8	「暴走反応とリスクアセスメント」 「化学物質管理のためのリスク評価・リスク管理概論」	日本写真印刷(株)、技術士(化学、 総監) (有)相模ソリューション、元(株) 日本触媒、技術士(化学)	橋本隆幸 伊藤雄二	25
28. 10. 14	英国の Chartered Engineer について	公益財団法人 応用科学研究所 理事	秋山雅義	9 (1)
28. 10. 15	第 2 回近畿本部建設部会『金井塾』	(株)大林組 顧問	金井 誠	33 (21)
28. 10. 17	欧州におけるエネルギー政策・技術動向	長田技術士事務所 所長	長田雅史	13
28. 10. 20	中国水ビジネス産業の現状と今後の方向性：紹介 知財ブランド協会：知財パラダイム革命を」聴講報告	天野技術士事務所所長 掛田技術士事務所所長	天野武日古 掛田健二	11
28. 10. 21	主な食品危害要因のリスク管理と”食の安心・安全”	西浦技術士事務所	西浦康雄	14 (1)
28. 10. 28	繊維から衣服へ、感性の評価 生体情報計測用素材“COCOMI”について	神戸大学 教授 東洋紡総合研究所 部長	井上真理 石丸園子	28 (16)
10. 31- 11. 5	中国研究会訪中団（南通・南京・蘇州・上海）	団長	掛田健二	12 (2)
28. 11. 5	JIS Q9026 マネジメントシステムの パフォーマンス改善（日常管理の指針）	中西技術士事務所	中西正士	15
28. 11. 11	高速道路の老朽化と対策（仮題） 高速道路の大規模補修と更新について～損傷原因は何か、どう補修・更新するか、阪神高速道路の事例から～	青木技術士事務所 代表 福岡技術士事務所 所長	青木寛治 福岡 悟	18 (1)
28. 11. 12	技術者の流動性と派遣技術者について UAVとMMS利用の現状と課題	(株)アスパーク エンジニアリング事業部 (株)日建技術コンサルタント	山下秀一 川上 崇	14
28. 11. 13	合同専門部会			60
28. 11. 17	ミャンマー国の現状と日本企業の進出状況見学報告 業務紹介「鉄系鋳物鋳造技術の紹介 1」	掛田技術士事務所所長 (株)クボタ西島事業所	掛田健二 坪田博隆	10
28. 11. 18	小麦たん白質とその利用について	長田産業(株)	辰野謙二	14 (1)

28. 11. 19	生薬・漢方薬について 金属材料を微生物が腐食する？原因と対策と応用	京都大学大学院薬学研究科 准教授 神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 特命准教授	伊藤美千穂 若井 暁	88 (71)
28. 11. 25	水辺空間を生かした年の再生	(一社) 近畿建設協会 技術顧問	中野雅弘	21 (4)
28. 11. 30	マイクロ (ミリ) リアクターを利用した化学製品の工業化は可能か？	マイクロプロセス研究所代表、元日本触媒、工学博士	三井 均	15 (1)
28. 12. 1	「ポンプ場設備の維持管理について」 「LC-ocd (溶存有機体炭素分離測定装置) のご紹介とオゾン分解による溶存有機体炭素の変化」	アイテック(株) (株)総合水研究所	原口宣明 鈴鹿正人	22 (7)
28. 12. 3	ISO 14001 : 2015 年版の現地審査の事例	三菱電線工業(株)箕島製作所	狩野 陽	10
28. 12. 10	近畿本部合同部会研修セミナー	パナソニック (株) 伊藤技術士事務所 アシックス (株)	土田雅之 伊藤雄二 大冢陽右	98 (10)
28. 12. 12	バイオマスは地球を救う	技術士	濱崎彰弘	52 (19)
28. 12. 13	2016 日中科技交流訪中団報告会	技術士	掛田・小林・ 三木・江村・ 金野	15
28. 12. 16	低環境負荷プロセスによる繊維の染色機能加工	アシックス 研究部員 京都工芸繊維大学 准教授	森 洋人 奥林里子	29 (18)
28. 12. 17	12 月度「部会+研修会」	アサヒビール	美馬恒治	17 (1)
28. 12. 17	<技術解説>航空管制を支えている情報処理技術と今後の展開について メモリマネジメントの Similarity	三菱スペース・ソフトウェア (株) 関西事業部第二技術部 パナソニック (株) ストレージ事業部	佐藤 力 本多利行	24 (1)
29. 1. 7	ISO9000/IATF16949 : 2016 年版 / 2009 年版の要求事項比較	川崎重工業(株) 精密機械カンパニー	藤原章治	10
29. 1. 12	「社会環境変化に適応した上下水道システムの構築」	京都大学大学院助教	浅田安廣	32 (12)
29. 1. 13	特許の基礎と出願のために技術士がすべき留意事項 最近の知財ニュースと、ものづくりに必要となるブランディングの基礎知識	パトリオ特許事務所 弁理士 齊藤特許商標事務所 所長	中塚雅也 齊藤 整	19 (4)
29. 1. 14	<事例研究>事例から学ぶ企業コンプライアンスの在り方 最近の ERP パッケージの技術トレンドおよび生産性向上への取り組み	中祖弁護士事務所 代表 SCSK (株) AMO 第二事業本部	中祖康智 吉田佳元	25 (4)
29. 1. 14	バッテリー式フォークリフトについて	技術士 (機械)	山本博昭	45 (1)

	機械設計技術者のキャリア形成について	技術士（機械）	孝治正和	
29. 1. 20	オーガニックコットンー食品と衣料品の消費者志向の違いー	モリリン(株)	東 昭二	16 (1)
29. 1. 27	住民主権型減災のまちづくり	神戸学院大学 教授	中山久憲	19 (8)
29. 1. 28	技術士を目指そう in 大阪 2017			17 (9)
29. 2. 2	表流水取水装置 WSS ウォータースクリーン スレッド式ろ過装置, これらのろ過方式や凝集剤について	日本エンジニア(株)営業部長 アルテック(株)営業部長	牛島 聡 常松健一	22 (6)
29. 2. 4	ISO 14001;2015 版への「よくある質問」	中西技術士事務所	中西正士	16
29. 2. 6	バイオ技術と活性炭による環境浄化技術「OIL BACT 工法」の開発	大和ハウス工業株式会社 総合技術研究所	川越大樹	36 (8)
29. 2. 10	鋼製橋梁における溶接技術の紹介 コンピュータと人類〜知的な機械とは何か〜	たかば技術士事務所 代表 佐伯英子技術士事務所 代表	鷹羽新二 佐伯英子	16 (3)
29. 2. 16	IoT/M2M の現状と動向 光配線部材の最新動向	三菱電機(株)交通システム部 交通情報システム技術二課 担当課長 (株)フジクラ	長島義明 青柳 守	30
29. 2. 17	安全衛生管理の基本と化学物質のリスク管理	サンスター(株)	水道裕久	12 (1)
29. 2. 18	2 月度「部会+研修会」	小木曾技術士事務所	小木曾健一	18
29. 2. 18	FA 技術の最新動向と今後の課題 「やりたい仕事とスキル」〜(看板の)ある時・ない時、超高齢社会を生きる〜	(株)村田製作所 モノづくり技術統括部 鍛冶技術士事務所 代表	長尾和信 鍛冶秀美	14
29. 2. 18	人工光合成の現状と展望〜二酸化炭素の削減から資源化への転換	大阪市立大学 人工光合成研究センター 所長、工学博士	天尾 豊	35 (25)
29. 3. 2	仮題「エネルギーとしての原子力について」	三菱日立パワーシステムズ(株)	松永健一	25 (9)
29. 3. 10	社会資本（鉄道構造物）維持管理の重要性 パリ協定についてー宇宙船地球号の行方ー	西日本電気テック(株)常勤監査役、広成建設株式会社特別顧問 (株)地研工業 常務取締役	松岡義幸 佐々木一恵	15 (3)
29. 3. 11	クラウドネイティブの登場とその将来 Industrial IoT の安全なリアルタイムデータ通信ソリューションについて	三菱スペース・ソフトウェア(株)関西事業部第六技術部 (株)パルティクル 社長	能村 隆 藤田好邦	24 (4)
29. 3. 11	地震と鉄道	関西大学社会安全学部教授	林 能成	41
29. 3. 17	もっと野菜を、きちんと野菜を。ー野菜加工の重要性ー	帝塚山大学 教授	稲熊隆博	18 (3)

中国本部

28. 4. 23	第1回技術者研鑽セミナー ワークショップ「技術者の学びの 方法について考えて見よう」	日新製鋼(株)	川本 明人	27 (5)
28. 5. 18	青年技術士交流委員会講演会 「非破壊検査について」	(株)シーエックスアール	伊東 卓哉	25 (10)
28. 6. 11	建設部会第1回講演会「元気で安全な地方創生」 「中国圏のインフラ整備について」 「インフラの長寿命化について考える」 「熊本地震 被災直後の現地調査報告」	国土交通省中国地方整備局 企画部長 広島工業大学 工学部環境土木工学科 教授 一山コンサルタント	吉田 敏晴 十河 茂幸 山下 祐一	88 (24)
28. 6. 15	青年技術士交流委員会講演会 「カウンセリングとモチベーション」	(CDA (キャリアディベロップメントアドバイザー)、産業カウンセラー)	河内 理	24 (10)
28. 6. 25	機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会 例会・講演会 【講演1】「NEDOのIoT推進への取組」 ～プロジェクト立ち上げまでの国内外の動向調査結果について～ 【講演2】「第4次産業革命」 ～2015年版ものづくり白書からの一考察～ 【講演3】「マテリアルズ・インフォマティクスの現状と課題」	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) Primetals Technologies Japan(株) 日新製鋼(株)	奥村 直人 池本 裕二 川本 明人	52 (11)
28. 7. 9	化学/繊維/金属部会 例会・講演会 「たたら製鉄の歴史と日本刀」 「COP21 パリ合意を考える」 「レア・アースとレアメタル」	和鋼博物館館長 合同会社 グリーンネッツ代表 寄高技術士事務所代表	伊藤 正和 栗原 茂 寄高 政史	36 (5)
28. 7. 16	平成28年度中国本部年次大会 「断層地震の連鎖～東日本大震災らの教訓に学び、迫りくる海溝型巨大地震に備える～」	元山口大学 教授	金折 裕司	101 (26)
28. 7. 20	青年技術士交流委員会講演会 「社会貢献活動リハーサル」 「社会貢献活動リハーサル」	中国施設設計(株) (株)アマノ	水田 聡一郎 名越 希	24 (8)
28. 7. 23	電気電子/経営工学/情報工学部会 例会・講演会 「エネルギーマネジメントシステム (EMS) の最新動向」 「省エネルギー・地球温暖化対策支援研究会の取り組みについて」	清水建設 ecoBCP 事業推進室 広島市中小企業支援センター	小林 勝広 中島 泰孝	26 (3)
28. 8. 10	青年技術士交流委員会講演会 「社会貢献活動リハーサル」	(株)ヒロコン	久場 貴博	19 (4)
28. 8. 20	第2回技術者研鑽セミナー ワークショップ「シナリオプランニング」	Primetals Technologies Japan(株)	池本 裕二	16 (4)
28. 8. 25	第1回防災講演会「みんなで考える地震災害ー日本列島に潜むリスクと熊本地震災害ー」 「GPS地殻変動観測データから明	京都大学防災研究所附属地震予知研究センター准教授	西村 卓也 兵動 正幸	240 (135)

	<p>らかにった西南日本のひずみ集中帯」 「熊本地震における地盤災害について」 「熊本地震における熊本市内の建築物の被害状況と被災建築物応急危険度判定について」</p>	<p>山口大学大学院創成科学研究科 特命教授 国土交通省 中国地方整備局 営繕部 営繕調査官</p>	<p>原田 和幸</p>	
28. 8. 27	<p>上下水道部会・講演会 基調講演 「多様化する生活排水対策」 講演1 「水道施設の維持保全計画」 講演2 「荒尾市水道事業の包括委託」</p>	<p>広島大学 副理事 環境安全センター長・教授 広島市水道局 技術部 計画課 課長補佐 あらおウォーターサービス(株) 取締役</p>	<p>西嶋 渉 新見 一郎 松尾 晃政</p>	<p>40 (14)</p>
28. 9. 17	<p>応用理学部会・講演会 「熊本地震の地震断層と中国地方の活断層」 「広島市安佐南区・安佐北区の土石流の発生履歴」</p>	<p>広島大学大学院文学研究科 准教授 復建調査設計(株)</p>	<p>後藤 秀昭 松木 宏彰</p>	<p>34 (7)</p>
28. 9. 21	<p>青年技術士交流委員会講演会 「海外建設工事イスラム教国編」</p>	<p>測地技研(株)</p>	<p>阿部 馨</p>	<p>14 (3)</p>
28. 10. 15	<p>農業/森林/水産部会 例会・講演会 「近年の農産物物流の動向」 「UAV(ドローン)を用いた測量技術と農林業分野における活用事例」</p>	<p>広島修道大学商学部 教授 ルーチサーチ(株)経営企画部長</p>	<p>矢野 泉 本多 哲也</p>	<p>18 (3)</p>
28. 11. 16	<p>青年技術士交流委員会講演会 「施肥技術の視点から、昨今の農業改革を考える」</p>	<p>理研産業(株)</p>	<p>佐藤 雄太</p>	<p>20 (3)</p>
28. 11. 19	<p>技術者倫理 集中講座 技術者倫理の基礎, 講師心得, 4階層モデル, 個私公集・プロフェッションの概念, エンジニアリング・デザインとの関連, ほか</p>	<p>(有)スズカワ設備事務所</p>	<p>鈴木 竜司</p>	<p>19 (7)</p>
28. 11. 23	<p>建設部会第2回講演会「中国地方の活性化と土木技術者の役割」 「地方都市の元気増加策を探る」 「世羅町観光協会が担う観光振興と地域づくり」 「技術者のこだわり ～維持管理の大切さ～」 「地域の土木遺跡を活用した地域活性化策の提案」</p>	<p>公益社団法人 中国地方総合研究センター 副総合研究リーダー 一般社団法人 世羅町観光協会 事業部長 広島工業大学 工学部環境土木工学科 教授 西日本高速道路エンジニアリング中国(株)</p>	<p>宮本 茂 西原 淳 中村 一平 藤田 尚徳</p>	<p>41 (6)</p>
28. 11. 26	<p>第3回技術者研鑽セミナー ワークショップ「事例をもとに考える技術者倫理」</p>	<p>三菱重工コンプレッサ(株)</p>	<p>田川 敬二</p>	<p>16 (6)</p>
28. 12. 4	<p>岡山例会 (講演会) 「中山間地域における農業へのチャレンジ」 「H型支持柱による簡易な太陽光パネル設置工法の開発」 「一般社団法人エコエネ技術士ネットの省エネ相談地域ブラッ</p>	<p>(株)荒谷建設コンサルタント 馬場技術士事務所 (株)ジオブレイン 山陽ロード工業(株) (株)ウエスコ (株)ロボノ金属機械</p>	<p>萬谷 昌毅 馬場 啓丞 小林 昇 森川 洋介 露無 誠 小野 宏</p>	<p>423 (2)</p>

	トフォーム事業活動 「橋梁橋のメンテナンス」 「水道事業経営に関する一考察」 「工場の自動化に向けた取り組み」 「ハンディGPS・スマホを活かした調査事例」 「アコースティックカメラの活用について」	(株)ジオブレイン 中外テクノス(株)	小林 昇 今田 雄一	
28. 12. 17	青年技術士交流委員会講演会 「ディベート「長時間労働は正のために、残業上限時間を一律設定すべし(45時間) 是か非か」	マツダ(株)	加藤 二郎	25 (7)
29. 1. 16	青年技術士交流委員会勉強会 討議、ワークショップ「山口全国大会キックオフ」	マツダ(株)	三角 春樹	16 (2)
29. 2. 13	第2回 防災講演会「みんなで考える地震災害ー平成28年鳥取県中部の地震災害ー」 「地震発生の背景と地震動に及ぼす地盤の影響」 「外観調査に基づく建築物の被害報告」 「土木構造物等の被害記録」 「弁護士による被災者支援活動」 「日本技術士会中国本部 防災委員会」 「建設コンサルタンツ協会中国支部 防災委員会」	鳥取大学工学部附属地域安全工学センター長 鳥取大学大学院工学研究科シンワ技研コンサルタント(株) 広島弁護士会 中電技術コンサルタント(株) (株)ヒロコン	香川 敬生 向坊 恭介 新 任修 今田 健太郎 古川 智 青原 啓詞	125 (73)
29. 2. 15	青年技術士交流委員会講演会 「足が遅くても一定時間内に長距離走行可能な私の手法」	熊野技建(株)	海原 一仁	18 (4)
29. 3. 15	青年技術士交流委員会講演会 「理的に考えよう ～フレームワークを使っちゃおう～」	(株)新川センサテクノロジー	青木 寛	18 (2)

四国本部

	第25回修習技術者支援セミナー			
28. 5. 15	技術士制度と近年の合格状況	四国本部修習技術者支援委員会委員	森田 朗	11 (6)
	合格体験談発表	新合格者2名		
	グループディスカッション 「技術士の役割」	参加者全員		
28. 5. 28	第40回CPDセミナー・公開講座、防災講演会、技術士第二次試験合格者祝賀会(徳島会場)			72 (29)
	河川環境にも配慮した既設堤防耐震化の事例紹介	四国建設コンサルタント(株)専務取締役	天羽 誠二	

	住民主体の事前復興まちづくり計画 ～徳島県美波町由岐湾内地区の挑戦～	徳島大学地域創生センター学術研究員	井若 和久	
	四国遍路の世界遺産登録に向けた取り組み	NPO 法人徳島共生塾一步会理事長	新開 善二	
28. 6. 4	第 13 回青年技術士交流会 高知大生プレゼンツ 農業×防災で地域をつなぐ『耕活プロジェクト』	高知大学防災すけっと隊 元代表	折中 新	19 (3)
28. 6. 11	第 41 回 CPD セミナー・公開講座、技術士第二次試験合格者祝賀会（愛媛会場） 超高压合成実験技術とその地球科学・材料科学への応用	愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センターセンター長	入船 徹男	69 (40)
	一日一笑 自分のために	ローカルタレント	らくさぶろう	
28. 6. 22	【年次大会】第 42 回 CPD セミナー・公開講座、技術士第二次試験合格者祝賀会（香川会場） 高レベル放射性廃棄物の地層処分について ふるさとに自転車の聖地をつくる！ 青年技術士交流会の活動紹介	原子力発電環境整備機構 技術部技術企画グループマネージャー（副部長） (有)アイヴエモーション代表取締役 四国本部青年技術士交流委員会委員長	安保 秀範 廣瀬 将人 池谷 聖	85 (8)
28. 6. 24	第 43 回 CPD セミナー・公開講座、技術士第二次試験合格者祝賀会（高知会場） 長宗我部元親とライバルたち 地震・津波災害から命を守る	高知県立歴史民俗資料館 学芸課長 高知地方気象台台長	野本 亮 荒谷 博	56 (29)
28. 6. 25	第 26 回修習技術者支援セミナー 技術士制度・試験と修習 合格体験談発表	四国本部修習技術者支援委員会委員長 合格者 3 名	安孫子 尚正	10 (5)

	座談会「技術士の役割」	参加者全員		
28. 9. 10	第 14 回青年技術士交流会			25 (12)
	ブランド「伯方の塩」の生い立ち	伯方塩(株)伯方の塩工場長	岡田 裕二	
28. 9. 17	H28 防災講演会・見学会・意見交換会			52 (19)
	近年多発する自然災害からの教訓と備え	香川大学危機管理先端教育研究センター副センター長 特命教授	岩原 廣彦	
	南海トラフ地震に備えて	香川県危機管理課防災指導監	増田 恭士	
	地域自主防災会の活動について	高松市自主防災組織連絡協議会会長	中村 隆	
28. 10. 8	第 44 回 CPD セミナー・公開講座			73 (38)
	土佐が生んだ土木偉人～廣井勇の人生から学ぶ～		吉川 勝三	
28. 10. 8	第 27 回修習技術者支援セミナー			52 (41)
	技術士制度について	四国本部修習技術者支援委員会委員	松本 直	
	若手技術士としての活動	(株)愛媛建設コンサルタント	渡邊 徹	
	座談会「技術士が社会に果たす役割」	参加者全員		
28. 11. 25	【愛媛例会】 第 45 回 CPD セミナー・公開講座、防災講演会、第 28 回修習技術者支援セミナー			47 (9)
	愛媛発【スマ】の完全養殖の取り組み	愛媛大学南予水産研究センター教授	松原 孝博	
	熊本地震にみる防災対策～南海地震などの大災害に備えて～	松山市消防局地域防災課	芝 大輔	
	砥部焼と“トベリテ”の活動	伝統工芸士（きよし窯）	山田ひろみ	
	技術士試験制度等について	四国本部修習技術者支援委員会委員	吉村 和司	
28. 12. 3	第 46 回 CPD セミナー・公開講座			64 (31)
	技術分野における男女共同参画の実践	日本技術士会男女共同参画推進委員会 委員長	石田 佳子	

	高専における男女共同参画の取組紹介と将来の問題	阿南高専創造技術工学科 教授	松保 重之	
	女性が活躍する建設業に向けて	徳島県県土整備部副部長	東村 正行	
28. 12. 10	第 47 回 CPD セミナー・公開講座			28 (5)
	これからの時代を生きる技術者像について	国土交通省四国地方整備局四国技術事務所所長	松本 秀應	
	青年技術士交流会の活動紹介	四国本部青年技術士交流委員会委員長	池谷 聖	
	お遍路さんの安全確保×地域防災対応力向上×空き家活用	香川大学工学部助教	藤井 容子	
29. 1. 21	第 15 回青年技術士交流会			25 (3)
	青年技術士交流会の活動紹介	四国本部青年技術士交流委員会委員長	池谷 聖	
	東部下水処理場バイオマス発電について	高松市職員		
29. 1. 28	第 29 回修習技術者支援セミナー、平成 28 年度技術士第一次試験合格者祝賀会			29 (16)
	技術士試験と修習のあり方について	四国本部修習技術者支援委員会委員	木下 博久	
	四国本部青年技術士交流委員会の紹介	四国本部青年技術士交流委員会委員長	池谷 聖	
	技術士第二次試験合格体験談発表	合格者 2 名		

九州本部

28. 4. 2	①中国・チベット自治区の、高地特有のインフラ事情とその課題 ②創造的問題解決手法 (TRIZ) を知って良かったこと	㈱尾上設計事務所/顧問	松原好直	36 (8)
		吉田技術士事務所/代表	吉田 剛	
28. 4. 16	①日本技術士会の活動 ②技術士倫理について	九州本部 本部長	甲斐忠義	75 (27)
		九州本部 副本部長	末松正典	
28. 5. 14	①北九州 e-PORT 構想 2.0 (e-PORT チャレンジ) ②情報セキュリティについて	九州ヒューマンメディア創造センター事務局長	山田修司	74 (2)
		佐賀大学全学教育機構/大学院工学系研究科教授 熊本大学国際先端科学技術研究	堀 良彰	

	③資源探査などにおける地震（地熱資源と地震） ④発電・蓄電のための機能性材料開発について	機構特任教授 日揮触媒化成株式会社:技術士	當舍利行 小柳嗣雄	
28. 5. 21	①韓国中小企業への自動冷間鍛造技術指導の事例紹介 ②学位取得記念講演「非常作業の行動測定と危険回避」	宮田ハイメック品質技術研究所/代表 有明工業高等専門学校/教授	宮田守次 堀田源治	37 (5)
28. 5. 28	年次大会記念講演 日本列島の動きを見張る見張るー地殻変動の監視ー	国土地理院 九州地方測量部 次長	田中和之	40 (1)
28. 6. 4	①品質工学を用いた技術課題の解決アプローチ ②甘く見たら痛い目に会う？プラスチック製品の設計技術	六丸技術士事務所 所長 田口技術士事務所 所長	六丸治親 田口宏之	10
28. 6. 11	①循環型社会形成に向けた取組み～業務を通して～ ②熱延ロールの製造法と評価方法	新日鉄住金エンジニアリング(株)/シニアマネジャー 三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)	安達政隆 松永榮八郎	32 (8)
28. 7. 16	①火力発電プラント計装設備の保安全管理 ②リスク対策七つ道具 ③金属材料の非破壊検査について	(株)ジェイ・リライツ 空洞・陥没穴対策事務所 計測検査株式会社	鈴木 淳 平原淳次 姜 忠男	37 (4)
28. 7. 23	①インフラのストック効果について ②界面活性剤の化学特性とその環境影響について ③完熟した柚子果皮が持つ保健機能（アレルギー抑制と脂肪肝予防）と大豆煮汁未利用資源の活用 ④地球近傍宇宙空間でのごみ問題について	国土交通省 九州地方整備局 企画部長 日鉄住金環境株式会社/技術士/ 工学博士 大分大学工学部教授/学長特別 補佐 九工大大学院機械知能工学教授	小平 卓 宮崎照美 石川雄一 赤星保浩	95 (5)
28. 8. 27	①地盤改良工および法面補強工の最近の新技术 ②地盤と被害について～土地を買う時の注意～ ③専門家から非専門家にわかりやすく伝えるためには	ライト工業株式会社 株式会社テクノ大地 Ganesh Links LLP/代表	上杉吉史 久保川孝俊 泉優佳理	39 (7)
28. 9. 17	①「有限要素法の原理と応用」および「現代の技術者教育の課題と提言」 ②空気圧を用いた工作機械の制御とエネルギー消費量の見える化 ③宇佐八幡と国東六郷山	納富技術士事務所/代表 福岡工業大学/准教授 大分県立歴史博物館/学芸員	納富 信 加藤友規	34 (6)

			高宮なつ美	
28. 10. 7	①平成28年熊本地震の被災状況と対応について ②里山保全と農山村の活性化について ③佐賀県における県産木材の利用拡大について ④200年の森構想について	九州森林管理局治山課長 佐賀大学全学教育機構教授 佐賀県農林水産部林業課 副課長 太良町森林組合代表理事組合長	川上伸一 五十嵐勉 吉良孝広 村井樹昭	91 (55)
28. 10. 8	①空気圧駆動の機械要素の計測・制御に関する研究の紹介 ②IoTの技術動向	福岡工業大学准教授 自営	加藤友規 久富浩明	11
28. 10. 15	施設見学会（北九州市上下水道局穴生浄水所・水質試験所） (訪問先側) 北九州市の水道 (技術士会側) 水道施設における改善事例について		穴生浄水所長 南雲伸司 村田健司	35 (6)
28. 10. 22	①【基調講演】「九州の地方創生を考える」 ②【政府における取組報告】3題 ③【県・学・産における取組報告】3題 詳細は様式-4	公益財団法人九州経済調査協会常務理事・調査研究部長	田代雅彦	62 (8)
28. 11. 9	①ミャンマーにおける上水道の現状と技術指導について ②社会関係資本の効果：豊かさと環境について	福岡市水道局経営企画課係長 九州大学都市研究センター長 主幹教授	松岡 賢 馬奈木俊介	39 (1)
28. 11. 12	九州本部優秀論文発表会 ①南九州火砕流台地周縁における深層崩壊の発生予測 ②地下掘削事故への対応策事例 ③LEDとその組立工程の課題・動向	優良論文として選抜された3編 鹿児島大学大学院 院生 川崎技術開発株式会社 ㈱リクルート R&D スタッフィング (ソニーセミコンダクタマニユファクチャリング(㈱勤務))	3名 松本祐樹 新屋敷和明 中村友紀	28 (15)
28. 11. 19	①KIGS 調査研究報告会「コークス技術の系統化調査」 ②環境経営と経営診断	国立科学博物館/元主任調査員 合同会社ワライト	中村正和 井本浩嗣	83 (47)
28. 11. 22	①UAV (ドローン等) を利用した土地改良事業について ②直売所の経営と地域の農林水産業の振興 ③ふくおかのさかなが美味しい！～知っていますか、食べていますか旬の魚～	福岡県土地改良事業団体連合会技術主査 伊都菜彩店長 福岡県水産海洋技術センター企画情報課長	上田 圭 松隈貴幸 深川敦平	15

28. 12. 3	①専門家から非専門家にわかりやすく伝えるためには ②認知症の臨床、病因、治療、予防について	Ganesha Links LLP/Salt Extraction AB 北九州八幡東病院・医学博士	泉優佳理 椎 裕章	58 (1)
28. 12. 17	①教育の視点からみる地域振興～地域で産業・技術を担う人材の育成に向けて～ ②基調講演「北九州における工学教育の可能性～北九州地域産業人材育成フォーラムについて～」とパネルディスカッション	K I G S 館長 北九州市立大学大学院/教授 サポートセンター門司/施設長 (株)ジブノオト/代表取締役 技術士 コーディネータ	鹿毛浩之 城戸宏史 中村順子 大野圭司 永岩研一 垣迫裕俊	59 (21)
28. 12. 18	①『巨大な非在来型天然ガス資源について～北部九州におけるCBM(コールパットマン)の現状報告～』 ②『地震による宅地の被害形態とその要因について～H28年熊本地震の復旧・復興支援に向けて～』	西部ガス(株)生産部 味澤技術士事務所	松倉誠也 味澤泰夫	76 (48)
29. 1. 21	①工場設備のPM、BM対応 ②「北九州e-PORT構想2.0」その後の展開 ③安川電機のロボット開発と将来展望	戸田工業(株) 九州ヒューマンデザイン創造センター(株)安川電機	鈴木真吾 山田修司 河野寿之	45 (10)
29. 2. 4	①非常作業の行動測定と危険回避 ②溶接技術の進歩とこれからの課題	有明工業高等専門学校教授 株式会社高田工業所 技術本部副本部長	堀田源治 安西敏雄	10
29. 2. 15	①土木の遊びと多様性からの未来を考える ②よく知ろう公共交通～その現状と課題 —今さら聞けないLRT・BRTの役割と魅力—	九州大学大学院工学研究院環境社会部門准教授 福岡大学 工学部社会デザイン工学科	杉本めぐみ 辰巳 浩	47 (4)
29. 2. 18	①KIGS 調査研究報告会「北九州における鑄造技術の歴史と発展」 ②産学連携について考える	KIGS 特任調査研究員 安倍・下田国際特許事務所	宮田守次 和田洋二 松永榮八郎 恵良秀則 下田正寛	68 (37)
29. 2. 25	①「技術士の知財支援」～技術士が参画する知財支援に期待すること～ ②国際化社会の“人財”としての外国人留学生について考える ③「シリコン系太陽電池に肉薄す	INPIT「独立行政法人 工業所有権情報・研修館」地域支援部専門員 九州大学工学研究院/助教 工学系国際交流センター室員 九州工業大学大学院生命体工学研究科/教授 株式会社安川電機 技術開発本	竹丸 巖 田村美香	61 (2)

	る高効率を有するプリント 太陽電池」～最近の技術動向 と展望～ ④ロボット業界の動向および今 後の展開	部部長	早瀬修二	
29. 3. 18	①KIGS 調査研究報告会「北九州 における高温・高圧バルブ技術の 歴史と発展」 ②玄米菜食とガン予防	KIGS 特任調査研究員 日鉄住金環境(株)	河野寿之 濱田信善 佐倉克彦	66 (29)

資料 46 地域本部における主な見学会

※ 右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

北海道本部	28. 7. 8	道道 273 号 (花畔札幌線)、大友公園、J R 苗穂工場	20 (6)
	28. 7. 15	水素ステーション (北海道エア・ウォーター (株) 室蘭支店)、水素燃料電池車 (トヨタ M I R A I) 試乗	14 (7)
	28. 7. 22	厚幌ダム建設現場、かるまい遺跡調査整理事務所	35 (9)
	28. 8. 5	北海道新幹線 施工現場 (野田追トンネル (北) ほか)	7 (1)
	28. 8. 19	室蘭市「移動式水素ステーションと TOYOTA MIRAI」、日本製鋼所室蘭研究所「水素吸蔵合金」	25 (4)
	28. 9. 16~17	サンルダム建設現場、カンディハウス (旭川家具工場) など	25 (4)
	28. 9. 30	石狩湾新港火力発電所建設工事、石狩 LNG 基地建設現場ほか	13 (2)
	28. 10. 12	夕張市石炭博物館、ゆうばりキネマ街道、夕張シューパロダム、三笠市立博物館	11 (4)
	28. 10. 18	日本 CCS 調査 (株) 苫小牧 CCS 実証試験センター	11 (4)
	28. 11. 14	J R 室蘭本線 小幌駅	3 (1)
28. 11. 22	函館湾岸コンクリート施設 (笹流ダム・沈澱池、太平洋セメント上磯工場、函館漁港船入潤防波堤ほか)	50 (38)	
東北本部	28. 6. 11	福島県浜通り (富岡町、楡葉町) 現地視察会	37
	28. 6. 11	石巻市、女川町現地視察会	25
	28. 8. 8~9	尾花沢市役所、株式会社最上クリーンセンター、最上町役場、国立研究開発法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄雪氷環境実験所	8
	28. 9. 8	1 栗原市役所ジオパーク推進室 2 栗駒ダム取水塔改修工事 3 荒砥沢地すべり復旧対策工事	30 (10)
	28. 9. 16	栗駒山麓ジオパーク (荒砥沢地すべり、冷水沢崩壊地、駒の湯土石流、行者の滝崩壊地)	15 (3)
	28. 11. 15	石巻市役所、蛇田地区スマートコミュニティ	6
	28. 12. 12	岩手県梁川ダム基礎岩盤の地質・地質構造状況の観察 (早池帯根田茂相 [付加体])	16 (6)
	28. 12. 19~20	気仙沼線・大船渡線 BRT 視察	10 (5)
北陸本部	28. 7. 1	燕市産業史料館、(株) マルト長谷川工作所、(株) 内山溶接工業	50
	28. 9. 27~28	富山県立山カルデラ防災	30 (24)
	28. 10. 21	酒造見学 (日本酒文化研究所及び併設蔵節五郎蔵、二王子蔵、貯蔵棟、製品棟)	24
	28. 10. 28	「苗場山麓ジオパーク」新潟県津南町・十日町市 (柱状節理・河岸段丘・縄文遺跡他)	17 (9)

中部本部	28. 5. 20	リニアモーターカー試乗体験・基地視察 知の拠点あいち視察	50 (1)
	28. 6. 17	株式会社宮崎本店	1
	28. 6. 28	株式会社UACJ (旧住友軽金属工業) 名古屋製造所	18
近畿本部	28. 4. 14	京都府営水道宇治浄水場	36 (19)
	28. 5. 27	タマノイ酢株式会社 本社工場 有限会社とぐちファーム	17 (3)
	28. 6. 10 -6. 11	ダイキン工業(株) 滋賀製作所 (株)ナガセインテグレックス トヨタ記念館	28
	28. 6. 10	ダイキン工業株式会社滋賀製作所 株式会社ナガセインテグレックス	21 (7)
	28. 6. 17-18	「福島の現状と除染に向けた取り組み」 福島県環境創造センター、南相馬市除染科学研究所	5
	28. 6. 30	中之島フェスティバルタワー	10 (2)
	28. 7. 9	おおさか ATC グリーンエコプラザ	20
	28. 9. 14	日立造船(株)舞鶴工場・小阪金属工業(株)	26
	28. 10. 20	大阪府箕面整備事務所管内【箕面森町】	15 (2)
	28. 10. 21	株式会社 クボタ 枚方製造所 鋳鋼工場及び小型建設機械組立工場	19 (1)
	28. 11. 22	たつの市 そうめんの里・ヒガシマル醤油 施設	17 (4)
	28. 11. 25	岡本株式会社 奈良工場 (奈良県北葛城郡広陵町)	17 (9)
	28. 11. 28	(株) エクセディ本社工場	28
	28. 11. 28	株式会社エクセディ	23 (5)
	28. 11. 29	大阪府堺臨海部のリサイクル施設 1. リマテック 2. DINS堺RAC事業所) 3. 関西再資源ネットワーク	10 (3)
	28. 12. 14	(株)ケイ・オプティコム兵庫総括局	35
29. 3. 6	URうめきた2期地区	18 (5)	
中国本部	28. 5. 14	上下水道部会・環境/衛生工学/生物工学/原子力・放射線部 会・農業/森林/水産部会 (1) 米子市水道局ステンレス製貯水槽見学 (2) 湯梨浜町地熱発電所見学	23 (6)
	28. 9. 30	建設部会 主催 / 応用理学部会 共催 八木梅林沢 (306 溪流: 堆積岩) 復旧工事現場見学 上山川 (303 溪流: 花崗岩) 復旧工事現場見学 鳥越川 (299 溪流) 強靱ワイヤーネット工見学	39 (9)

	28. 10. 7	化学/繊維/金属部会・機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会・電気 電子/経営工学/情報工学部会合同見学会 (1) 三菱レイヨン(株)大竹事業所 見学 (2) 中国電力(株)柳井 LNG 発電所 見学	30 (1)
	28. 10. 15	上下水道部会 土木遺産の水道用ダム視察(呉市上下水道局本庄水源地堰 堤)の見学 呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)の見学 宮原浄水場低区配水池、二河水源地取入口、本庄水源地堰 堤の見学	28
	28. 12. 3	岡山例会 見学会 長船刀剣博物館見学 閑谷学校見学	32 (1)
四国本部	28. 6. 4	第 13 回青年技術士交流会 ①高知市岩ヶ淵地区「耕活プロジェクト実践場」	19 (3)
	28. 9. 10	第 14 回青年技術士交流会 ①愛媛県今治市大三島「伯方の塩工場、塩田」	25 (12)
	28. 9. 17	H28 防災見学会 ①高松市福岡町周辺「津波対策事業(詰田川・御坊川護 岸工事)現場」	52 (19)
	28. 11. 26	愛媛例会 ①松山市「松山城～路面電車～道後温泉源泉」	21 (5)
	29. 1. 21	第 15 回青年技術士交流会 ①高松市屋島西町「東部下水処理場」	25 (3)
九州本部	28. 6. 25	①八丁原地熱発電所 ②大分川ダム工事現場 ③大分駅周辺まちづくり見学	14 (6)
	28. 9. 15	①世界遺産三重津海軍所跡 ②五ヶ山ダム建設事業	49 (11)
	28. 9. 27	①中間貯蔵:環境安全事業株式会社 (PCB無害化処理施設) ②TOTO小倉第一工場及びTOTOミュージアム	38
	28. 10. 15	北九州市上下水道局 穴生浄水場	38 (9)
	28. 11. 2	トヨタ自動車九州株式会社宮田工場	20

資料 47 地域本部管轄下の県支部における主な講演会等

※ 右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

東北本部 宮城県支部

28. 7. 21	東日本大震災からの復興 5 年目、政策決定過程の分析から見えてきた課題	東北大学名誉教授	稲村肇	72 (4)
28. 7. 28	シリコンとシリコーン ～我々の生活や都市の景観を劇的に変えた物質群～	放送大学名誉教授	萩野博	36 (2)
28. 10. 28	第 12 回環境対応セミナー 仙台藩の環境対応	仙台市博物館 主幹兼学芸普及室長	菅野正道	81 (31)
29. 3. 01	高速道路における交通安全及び ITS (高度道路交通システム) 技術の潮流について	中日本高速道路 (株) 東京支社 総務企画部	浦上夏菜子	47 (12)

東北本部 青森県支部

28. 7. 9	1. 青森県地域活性化活動の今後 2. 福島復興状況	1、企画集団ラプリー金木代表 2、東北本部長	1、角田周 2、吉川謙造	43 (12)
28. 7. 29	1. 技術士制度について 2. 福島復興状況 3. 圧密とは	1、青森県支部 CPD 委員長 2、(株) 復建技術コンサルタント 技術課長 3、(株) ダイヤコンサルタント東北支店副支店長	1. 池本栄一 2. 村上隆 3. 高坂敏明	59 (42)
28. 11. 26	1. 再生可能エネルギーについて 2. 最近研究していること	1、2、八戸工業大学教授	1、石山俊彦 2、竹内貴弘	22 (8)

東北本部 秋田県支部

28. 4. 9	資質向上講演会	NPO 法人 WAC おばま 理事長	鳥居 直也	75 (15)
28. 7. 9	秋田県の河川水・河川堆積物の特徴 -地球化学図からのアプローチ-	秋田大学国際資源学部 国際資源学科 教授 理学博士	石山 大三	55 (10)
28. 10. 21	東日本大震災の対応について -大震災から得た教訓-	(株) 復建技術コンサルタント 事業企画本部 理事	熊谷 順子	91 (32)
29. 1. 22	地域の技術開発と資源活用に関するトピックス	秋田県産業労働部地域産業振興課 秋田県総合食品研究センター	高橋 弘毅 塚本 研一	64 (14)

東北本部 福島県支部

28. 6. 22	・避けられない「化学物質のリスクアセスメント」 ・「原子力災害からの住まいの再	落合労働安全衛生コンサルタント事務所 所長 福島県土木部建築総室建築担当	落合 幸弘	73 (26)
-----------	--	---	-------	---------

	生」	次長	蓮沼 敏郎	
28. 10. 6	地域産学官と技術士との合同セミナー 「福島の復興と創生」	福島大学学長	中井 勝己	122 (28)
28. 11. 17	・「震災からの復旧復興状況について」 ・「道路行政に関する最近話題～浜通り地域を中心に～」	福島県いわき建設事務所所長 国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所長	安田 博道 松田 和香	77 (3)

東北本部 山形県支部

28. 4. 22	平成 27 年度合格者による体験発表	山形県工業技術センター	佐藤 敏幸	48 (46)
		山形県土地連	荒川 英也	
		山形県県土整備部	尾形 大輔	
		新和設計(株)	小嶋 猛	
28. 7. 1	県土整備事業と技術士に期待するもの	山形県県土整備部 整備推進監 (兼) 次長	會田 秀一	65 (2)
	東日本大震災の復興と問題点	日本技術士会東北本部 本部長	吉川 謙造	
28. 11. 11	加速器研究の現状と展望～ニホニウム・113 番元素の発見から重粒子がん治療まで～	山形大学理学部 教授	門叶 冬樹	67 (33)
	先端技術を事業化する～メタボローム解析技術の開発とベンチャー企業の経営～	ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株) 取締役研究開発本部長	大橋 由明	
29. 2. 17	技術者倫理と SGEE の会の活動について ワークショップ	前東北本部倫理研究委員会委員長	江平 英雄	22

東北本部 岩手県支部

28. 6. 24	東北・岩手の再生可能エネルギー	東北自然エネルギー (株)	加藤 修	40 (18)
28. 10. 21	いわてと鋳物 (南部鉄器と鋳造技術について)	岩手県工業技術センター	高川 貫仁 長嶋 宏之	45 (15)
28. 10. 21	岩手発 最先端ゲノム解析技術で作物育種を切り開く	岩手県工業技術センター	阿部 陽	45 (15)
29. 2. 10	震災復興に向けた三陸の地域資源の観光活用を考える	宮城学院女子大学	宮原育子	35 (7)

北陸本部 富山県支部

28. 7. 23	富山県支部第 24 回講演会 ①とやまの森づくり ～富山県の森林・林業～ ②富山県の地下資源、とくに越中七金山について	富山県農林水産部森林政策課 森づくり推進班長	松井 俊成	54
		富山大学理学部 教授	清水 正明	

28. 12. 10	富山県支部第 25 回講演会 ①農業土木分野におけるストック マネジメント ②コンクリートのアルカリシリカ 反応 (A S R) について ③生物機能を活用した環境影響評 価と環境改善	富山県土地改良事業団体連合 会 富山県土木部道路課改良装係 副主幹・係長 富山県立大学工学部 教授	竹沢 良治 大代 武志 楠井 隆史	46
------------	--	---	-------------------------	----

中部本部 愛知県支部

28. 4. 23	日本のエネルギーの展 望と科学 技術の将来	九州大学 名誉教授	佐藤浩之助	50 (10)
28. 5. 28	社会資本の維持管理の 現状	橋梁調査会	岡本 利朗	42 (7)
28. 6. 18	最先端デザインと産業 の未来	名古屋市立大 学大学院芸術 工学研究科 教授	國本 桂史	36
28. 7. 02	A P E Cエンジニアになって海外 で活躍をしたい一次試験合格から 二次試験へ向けての活動	(株) 大気社塗装システム事 業部	青山 尚弘	27 (2)
	新規 3 次元顕微鏡を活用した水道 処理の障害原因生物の自動判別装 置の技術開発	(株) マクシス・シントー	中川 勝統	
	技術士一次試験の経緯と技術者倫 理について	機械部門	大町 勇己	
	変革の時代を迎えての、 今後の抱負	三井化学 (株) 名古屋工場	北河 敏久	
	技術士を活用して人生 を豊かにする方法 — 技術士としてのこれまでとこ れから —	(株) カナエジオマチックス技 術部	伊勢野 暁彦	
21世紀のEngineer in g SAMURAI 技術	坂東技術士事 務所所長	坂東 大輔		
28. 8. 06	私と微生物	(株) ダイセキ環境ソリューシ ョン	成田 尚宜	51 (8)
	私とテスト	日本ルプゾール (株)	本田 晃之	
	私と天蚕:身近な里山 の生物資源	(株) 本堀商会	本堀 雷太	
	私と情報:身近な生活 からモビリ ティーまで	トヨタ自動車 (株)	石川 智康	
	自分の考えに忠実に行 動 数多の 失敗で成長 して20年	野原産業 (株)	盛田 直樹	
社長に直訴、重大なトラ ブル発生 を未然に防	メタウォーター (株)	阿部 秀樹		
28. 9. 24	人工知能は電気羊の夢 をみるか?	坂東技術士事 務所所長	坂東 大輔	46 (12)
	人間を超えられるか、 人工知能	情報技術コン サルタント	近藤 史大	
28. 10. 19	南海トラフ地震に対す る防災・減 災の取組	国土交通省 中部地方整備 局 総括防災調整官	可児 裕	104 (53)
	地震津波シミュレーシ ョンによ る被害予測と 防災・減災対策	ハイドロソフ ト技術研究所 開発センター 長	川崎 浩司	
28. 10. 30	地域と連携した小学校理科授業の 取組みについて	知立市立知立南小学校/校長	福井信也	24 (3)
28. 11. 05	食に関する国内外認 証規格の最	花井技術士・労働安全・衛生	花井 健夫	27 (7)

	新動向	コンサルタント事務所 所長		
	食品表示・・・それから何がわかるか?	ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	跡部 昌彦	
	食の安全を支える保蔵 技術	(株)本堀商会	本堀 雷太	
28. 11. 19	エネルギー問題の動向 と展望	(有)野尻経営技術研究所	野尻 一男	32
	I o TとA Iは技術の現場 にどう影響するか	(株)豊田自動織機製作所	新美由香史	
	技術不祥事その背景と 構造を考える	柴田技術士事務所 所長	柴田 素伸	
29. 01. 15	ふれあい技術士プラザ	参加者全員で自己紹介		20
29. 02. 11	工作機械主軸の振動設 計	中部大学 教授	安達 和彦	32 (4)
	顧客の満足度を高める 魅力的なサービスの創 出	麻田技術士事務所所長	麻田 祐一	
	日米学協会の倫理綱領 にみられる技術者倫理 の構造	アイシン精機(株)	山田 豊久	
	『技術士として役立つ』を 実践して10余年一作 業者は絶対死なせない	鈴木技術士・労働安全C o n事務所代表	鈴木 朗	

中部本部 岐阜県支部

28. 5. 14	自由でスリルと冒険の趣味の仕事人生	エムシー技研(有)代表	中平 真一	31 (1)
	定年後の独立を目指して	安田技術士事務所	安田 義美	
	大気環境研究における大気輸送モデルの役割	豊橋技術科学大学特命教授、 名誉教授	北田 敏廣	
28. 7. 2	光通信ネットワークシステムに従事した30年を振り返って	岐阜市情報統括審議監	進 京一	21
	太陽光発電に従事した30年とこれからを考える	岐阜大学工学部 学部長	野々村 修一	
28. 9. 3	海外における建設技術者の活動機会	hy コンクリート技術事務所	横山 博司	37 (2)
	地球の歴史から環境と生命を考える	岐阜薬科大学 学長	稲垣 隆司	
28. 11. 5	航空機産業の現状と三菱重工におけるMRJへの取組	三菱重工業(株)民間機事業部	松本 篤始	23
	自然と技術の文明論	滋賀県立琵琶湖博物館館長	篠原 徹	
29. 1. 7	防災教室の企画提案について	森川事務所 大日コンサルタント	森川 英憲 高木 智	26 (2)
	紛争解決へのアプローチ	浦田益之法律事務所	浦田 益之	
29. 3. 4	航空機システムのライフサイクルコストと後方支援ビジネス	川崎重工業株式会社	石田 治夫	28 (1)
	消費者視点で考える情報社会	東海学園大学経営学部・同大学院経営学研究科教授	伊藤 久司	

中部本部 三重県支部

28. 4. 8	農村地域における石積みの特徴と 災害抑制に 関する研究	三重大学大学院生物資源学研 究科准教授	岡島 賢治	20 (1)
28. 6. 25	乗物酔の人間情報学 -動揺病の 発症原因と 軽減技術-	三重大学大学院工学研究科情 報工学専攻教授	井須 尚紀	21
28. 10. 15	次世代石炭火力発電の開発と日本 のエネルギー	名古屋大学名誉教授	森 滋勝	27
29. 1. 14	ロボット制御技術と福祉産業への 展開	三重大学大学院工学研究科機 械工学専攻教授	矢野賢一	25 (1)

中部本部 静岡県支部

28. 4. 16	VWディーゼル車排出ガス不正の 深層と、未然防止の考察	NPO 法人 SDC 検証審査協会会 長	宮野正克	56 (6)
	静岡・浙江ビジネスフォーラム	春田技術士事務所 所長	春田 要一	
	横浜の杭偽装事件、技術者倫理と リスク管理	小久保都市計画事務所 所長	小久保 優	
28. 6. 11	マルチローター機の飛行原理と技 術動向	静岡理工科大学 特任講師	田村 博	43
	無人航空機の実用性と安全な運用 とは～熊本地震を学んで～	JUIDA 認定スクールNDMC 講師	小栗幹一	
	静岡における航空宇宙技術普及～ 無人航空機～	静岡理工科大学 教授	増田和三	
28. 8. 27	異分野（微生物・エネルギー・物 質）の融合からイノベーションを めざして	静岡大学工学部化学バイオ工 学科 教授	二又裕之	34 (2)
	人工知能の最前線～機械は人間を 超えられるか	静岡大学情報学部行動情報学 科 准教授	狩野芳伸	
28. 10. 29	2016年6月浙江省国際技術展示会 参加報告	森技術士事務所	森 一明	26
	講演会企業訪問概要、中国ビジネ スチャンス考察、訪問概要紹介	NPO 法人 SDC 検証審査協会会 長	宮野正克	
	こども防災教室の紹介	こんどう技術士事務所	近藤 衛他 5名	
28. 12. 10	技術士会の理科授業活動 (技術士会による理科授業の現状 と課題・理科授業の実例)	吉田技術士事務所 所長 (株)ジーベック	吉田建彦 柴田達哉	29
	テクノロジカフェ講演の紹介(現 場管理は有利な設計変更で決ま る)	(株)中村組	小泉雅弘	

近畿本部 兵庫県支部

28. 10. 23	地域創生と産学公連携活動/公設試と公立大学の役割	兵庫県立工業技術センター 所長 (工博)	太田 薫	88 (19)
28. 12. 10	世界遺産姫路城:その歴史と魅力、天守、防御施設、門の構造他	元姫路市立城郭研究室長	中川秀昭	26 (1)

中国本部 岡山県支部

28. 4. 9	技術士への期待	岡山大学大学院環境生命科学 科学研究科准教授	橋本成仁	21 (11)
28. 6. 4	まちづくり実践に向けての講演会	岡山市 ESD・市民協働推進セ ンター長	高平亮	27 (9)
28. 7. 30	スポンジ化する都市をコンパクト へ	岡山大学大学院環境生命科学 科学研究科助教	氏原岳人	40 (5)
28. 9. 3	熊本地震を踏まえた地域価値向上 に資する BCP	香川大学四国危機管理教 育・研究・地域連携推進機構 地域強靱化研究センター特 命准教授	磯打千雅子	53 (17)

中国本部 山口県支部

29. 1. 21	衛星リモートセンシング利用の可 能性	山口大学 副学長 (教授)	三浦 房紀	57 (19)
29. 1. 24	技術者倫理 20 年・高城重厚氏没後 10 年「確かな目標とスタンスを決め よう」	T. スギモト技術士事務所	杉本泰治	5 (2)

中国本部 鳥取県支部

28. 11. 19	技術者倫理 集中講座	技術者教育研究会 代表	鈴川 竜司	19 (5)
28. 1. 28	技術士とリスクマネジメント 第二次試験合格者体験発表	鳥取大学副学長	杓見 吉晴	74 (44)
		鳥取県土地改良事業団体連 合会	澤 麻衣子	
		鳥取県産業技術センター 機械素材研究所	田中 俊行	
		鳥取県 米子工事検査事務所	村下 勝	

九州本部 大分県支部

28. 6. 4	①大分県土木建築部長長期計画「お おいた土木みらいプラン201 5」 ②大分県経済の動向について ③自管路更生工法 SPR 工法・オメガ	大分県土木建築部建設政策 課主幹、副主幹 (株)大銀経済研究所 代表取締役 積水化学工業(株)九州支店	石和 哲也、 首藤 成次郎 沓掛 正幸 西部 徳人	103 (84)
----------	--	---	--	----------

	ライナー工法について ④コンクリート構造物の補修・補強と新しい品質管理方法 ⑤活水源・泉源の調査～開発	東亜コンサルタント(株) 専務取締役 日本地研(株) 副統括技術部長執行役員	財津 公明 田口 修	
28. 9. 3	①被景観を考える一魅力的な景観形成と地域再生のこれからー ②落石・崩壊土砂対策について ③河川等における防災・減災工法の紹介 ④BEST 理論及びその応用 ⑤港湾施設の維持管理及び補強工法	大分大学工学部福祉環境工学科建築コース 助教授 ゼニス羽田(株) 技術部次長 太陽工業(株) 国土環境エンジニアリングカンパニー 技術センター 課長代理 日進コンサルタント(株)技師長 西日本コンサルタント(株)福岡支店長	姫野 由香 福永 一基 加藤 英樹 鐘 廣喜 中原 和之	80 (61)
28. 12. 17	①計 P. F. ドラッガーから学ぶ技術 コンサルタントのマネジメント ②橋梁床版の長寿命化対策床版上面補修材リフレット SF について ③鋼構造物におけるブラズワイヤ溶射工法による防錆技術の紹介 ④最新技術を取り入れたスポーツフィールドの価値向上について ⑤戸次本町街づくり推進事業について	技術マネジメント研究所 代表 住友大阪セメント(株) (株)ブラズワイヤー開発部長 コウフ・フィールド(株) 常務取締役 大分市役所 都市計画部 専門員	上野 浩司 三上 光司 山崎 正文 久米本 潤 松崎 和夫	77 (52)

九州本部 鹿児島県支部

28. 5. 28	①廃棄物（産業廃棄物）処理の現状と課題 ②木造でこんなことが出来る	鹿児島高専 名誉教授 山佐木材（株） 代表取締役	平田登基男 佐々木幸久	42 (11)
28. 8. 20	①海岸林の防災機能 ②鹿児島県における未固結地山トンネル工法の基本	鹿児島大学 准教授 第一工業大学 教授、工博	寺本 行芳 岩波 基	39 (20)
28. 11. 12	①北九州港の過去・現在・ ②九州本部優秀論文発表会	北九州市 元部長 発表者	吉田 春彦 3名	28 (15)
29. 2. 18	①熊本地震調査報告 ②鹿児島県の社会資本施設の効率的な維持管理に向けて	九州本部 防災委員長 鹿児島大学 工学部准教授	矢ヶ部秀美 審良 義和	54 (25)

九州本部 宮崎県支部

28. 9. 3	平成 28 年度第 1 回 CPD ①「第四世紀・古環境」 ②「建設・土木と生物多様性」 ③「自然由来の地盤汚染問題の課題・理解・対応」 ④「遺伝子多様性と進化から見た生物多様性の保全」	(株)九州土木設計コンサルタント 岩切環境技研(株) 宮崎大学国際連携センター 講師 宮崎大学教育学部准教授	後藤 繁俊 岩切 康二 伊藤 健一 西田 伸	26 (13)
----------	---	--	---------------------------------	---------

九州本部 佐賀県支部

28. 5. 28	①佐賀県の“水防災意識社会再構築ビジョン”への取組 ②佐賀市平野部の浸水被害軽減に向けて	佐賀県県土整備部河川砂防課 課長 佐賀市上下水道局下水プロジェクト推進室下水道施設課 課長	横尾秀憲 江頭聖司	39 (17)
28. 11. 26	①熊本地震調査報告 ②佐賀県の地震被害想定について	(公社)日本技術士会九州本部防災委員長 佐賀県消防防災課防災企画担当係長	矢ヶ部秀美 嘉村隆浩	34 (12)

九州本部 熊本県支部

28. 6. 18	熊本地震緊急報告	熊本大学名誉教授	北園 芳人	28 (2)
28. 11. 18	①日本列島の動きを見張る－地殻変動の監視－ ②熊本地震調査報告	国土地理院 九州地方測量部 次長 九州本部防災委員長	田中 和之 矢ヶ部秀美	15 (2)
28. 12. 2 ～ 28. 12. 21	熊本大学工学部キャリアデザインセミナー	サステイナブル共創研究所 所長 森技術士事務所 所長 (株)九州イノベーション (株)福山コンサルタント 技術部長	小島 義博 森 津一 中尾 勇二 山内 稔	53 (53)

九州本部 長崎県支部

28. 6. 18	①「長崎県における地方創生へ向けた取組みについて」 ②「発電設備のことはじめ」	長崎県企画 振興部政策企画課 MHPS エンジニアリング (株) 長崎事業部	岩松 隼人 長谷川裕之	61 (23)
28. 12. 03	①「集約型の都市づくりを目指して」 ②「小さな楽園プロジェクト」	長崎県土木部都市計画課 課長補佐 長崎県企画振興部地域づくり振興課 係長	真鳥 喜博 梅田真由美	37 (9)

資料 48 関東甲信地域の県支部における主な講演会等

※右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

神奈川県支部

28. 4. 2	第 22 回情報交流会の会			93 (48)
	新規監視カメラシステム	(株)SEtech 技術部長	関根弘一	
	女川原子力発電所見学会報告	日本工営 生産事業部	大類伸子	
	建設プロジェクトの採算性と経済	橋本技術士事務所代表	橋本道哉	
28. 4. 23	第 44 回 CPD 講座—クラウドサービス/技術から見た IoT の現状と最新動向			74 (3)
	IoT の構成要素について	クラウドディアン(株)部長	太田 洋	
	IoT 時代を支えるクラウドサービスの最新動向	NTT コミュニケーションズ部長	大野理望	
28. 5. 14	第 45 回 CPD 講座神奈川県のエネルギー政策を学ぶ			70 (4)
	神奈川県のエネルギー政策について	神奈川県 エネルギー担当局長	松浦治美	
	「湘南電力」の電力の地産地消推進事業の取組	(株) エナリス スマートコミュニティ事業推進室室長	二村宏治	
	省エネ・ZEB (ゼロ・エネルギー・ビルディング) の事例紹介	(株) スマートエナジー代表取締役	大串卓也	
28. 6. 4	第 23 回情報交流会の会			49
	佐久間ダムの建設-J-POWER 黎明期の水力開発-	電源開発(株)技術開発部茅ヶ崎研究所土木技術研究室	仲田貞夫	
	環境計量証明事業の事業内容を公定分析方法について	株式会社アクアパルス環境事業部	飯尾祐子	
	設計技術者育成のための社会人教育を担って	加戸技術士事務所代表	加戸正治	
	災害救援物資の外装に施す色彩分別法の提案	物流問題研究所所長	西 襄二	
28. 6. 11	第 46 回 CPD 講座—環境問題の現状と展望—			43 (3)
	廃棄物の処理はなぜ問題が多いのか	公益社団法人神奈川県産業廃棄物協会専務理事	渡辺一法	

	環境アセスメント制度および水環境についてー長野県の状況を中心にー	悠環境事務所所長（日本技術士会長長野支部長）	小口雄平	
28.7.28	第5回年次大会・第47回CPD講座			71(1)
	第4次産業革命への日本企業の対応ー第4次産業革命の正体は何か、日本の製造業はこの潮流にどう対応すべきかー	経済産業省 製造産業局 素材産業課革新素材室長	井上悟志	
28.9.10	第13回テクノセミナー～中小企業の技が光る宇宙ビジネス～人口衛星システムの中で生きる中小企業の宇宙品質			41(2)
	人口衛星システム設計	日本電気株式会社 宇宙システム事業部プロジェクト推進部部长	岡本 章	
	中小企業に期待する宇宙品質を備えたものづくりの実際	NECスペーステクノロジー（株）生産技術部/経営革新室 シニアエキスパート	小川文輔	
28.9.17	第5回サイエンスカフェ			31(5)
	魚と日本人の深い係り～冷凍技術を土台とした魚文化の紹介	杉本技術士事務所所長	杉本昌明	
28.9.24	第48回CPD講座～コーチングを体験しよう～			41
28.10.1	第24回情報交流の会			40
	ものづくりの今	(株)日立製作所	若月 保	
	医療機器 電磁環境適合性の企画動向	倉西技術士事務所所長	倉西英明	
	水の微小エネルギーによる生鮮食料品の鮮度保持及び農作物改良	元湘南工科大学教授	杉原 淳	
	「私の半生を振り返ってー後期高齢技術士の生きざまー」	佐藤正忠事務所所長	佐藤正忠	
28.10.22	第6回オープンテクノフォーラム（第50回CPD講座）「企業に役立つ補助金と施策の活用」中小企業支援施策と事例紹介			110(31)
	来年度の省エネ関連の施策と補助金について	経済産業省 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー一部省エネルギー対策課	南須原 恵美	
	関東経済産業局が進める「経営改善につながる環境経営」事例紹介	MFCA 研究所 代表	安城泰雄	
	神奈川県よろず支援拠点の支援体	神奈川県よろず支援拠点	山崎隆由	

	制について	チーフコーディネーター		
	横浜市の環境関連施策について	横浜市環境創造局政策調整部長	高橋俊和	
	横浜国立大学の産学官連携推進体制について	横浜国立大学の産学官連携推進部門産学官連携支援室客員教授、産学官連携コーディネーター	山本亮一	
	新情報：ものづくり補助金と中小企業等経営強化法の概要	神奈川県中小企業団体中央会 組織支援部 主査	渡辺 信	
28. 10. 29	第 49 回 CPD 講座技術士開業のための研修会			33 (1)
	業務紹介の仕組みと基本心得	技術士活躍支援小委員会	藤井貞雄 岩崎博	
	技術士開業と業務開拓の現状	敬愛技術士事務所所長	森田敬愛	
	参加者の質問と留意事項	技術士活躍支援小委員会	5 名	
28. 11. 26	「技術士への道」ガイダンス（東京都市大学）			40 (36)
	活躍事例の紹介①	青山技術士事務所所長	青山芳之	
	活躍事例の紹介②	稲垣技術士事務所所長	稲垣秀輝	
28. 12. 3	第 25 回情報交流の会			41
	大型溶接構造物の品質管理	新井技術士事務所所長	新井 勲	
	東日本震災により崩壊してのり面の復旧	小田急エンジニアリング課長	小原丈二	
28. 12. 10	第 14 回テクノセミナー			43 (4)
	自動車業界のモノづくりを学び、自社のモノづくりを改善しよう	江口技術士事務所所長	江口正芳	
28. 12. 17	第 51 回 CPD ものづくりにおける製品安全			42
	ものづくりにおける製品安全	独立行政法人製品評価技術基盤機構	菊池 徹	

29. 1. 24	平成 29 年新春特別講演 (第 52 回 CPD)			85 (17)
	社会インフラの成人病入門	東京都市大学学長	三木千壽	
29. 2. 21	地域産業活性化研究会 in 川崎 航空機産業へどうすれば参入できるか			99 (47)
	航空機産業の最新動向と先端中小企業の取り組み	JAC 新鋭の匠 理事	千田泰弘	
	航空機産業への参入を目指す「まんでんプロジェクト」	まんでんプロジェクト 専務理事	愛恭輔	
	民間航空機産業の現状と今後の動向について	川崎重工業(株)航空宇宙カンパニー	榊 達朗	
29. 3. 4	第 15 回テクノセミナー身の回りの平凡な商品をダントツにする			26 (1)
	アイデア発想法とワークショップ「機能で考える」	前田技術士事務所所長	前田慶之	
	アイデア発想法とワークショップ「価値=コスト」	沼澤技術士事務所所長	沼澤朋子	
29. 3. 11	「技術士への道」ガイダンス			(36)
	平成 28 年度技術士試験状況と平成 29 年度の予定	日本技術士会	試験センター	
	技術士制度について 受験の準備について	福田、河相技術士事務所所長	福田・河相雅史	
	合格者体験談	技術士事務所所長	荒木・杉山 清水・大塚	

埼玉県支部

28. 5. 28	「日本のものづくり」～今何が求められているか～	埼玉県産業振興公社 理事 所長	小田秀明	47 (11)
28. 6. 18	埼玉県の防災対策（震災に強い都市づくり）	埼玉県都市整備部都市計画課 主査	下川原優一	29
		埼玉県都市整備部都市計画課 主事	伊藤拓真	
28. 7. 2	次世代産業の創造に向けた SAITEC の役割	埼玉県産業技術総合センター (SAITEC) センター長	中村雅範	71 (10)
	“パネルディスカッション～チャレンジする技術士・技術士補～”	技術士事務所 M テクノス所長 (株) サココンサルタント	町田博 小柳直昭	

		T A K E 国際技術士研究所 所長	黒澤兵夫	
		国際石油開発帝石(株) 経営 企画本部	巽孝夫	
		(公財) 廃棄物・3R 研究財 団企画部	佐野愛美	
28. 7. 22	原子力関係見学報告会	JAEA(核燃料サイクル工学研 究所)	菅原 宏 氏	15
		東京電力福島原子力発電所	村山 肇 氏	
28. 9. 28	日本の鉄道の歴史と特徴	鉄道博物館 副館長	荒木文宏	25
28. 10. 28	産学官連携による地域農産物の加 工・販売面での付加価値向上(6 次産業化) 支援	埼玉県産業技術総合センタ ー(SAITEC) 北部研究所 技 術・事業化支援室 室長	小島登貴子	17
28. 11. 17	経営者・技能士として見た企業倫 理と技術者倫理	東京都墨田区小柳塗工所 代表取締役	小柳拓央	24(2)
28. 12. 3	経済産業省 中小企業支援の施策 について	経済産業省関東経済産業局 中小企業課	村瀬一世	35(3)
28. 12. 13	再生可能エネルギーの現状と NEDO の取組	国立研究開発法人新エネル ギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 新エネルギー部 主任	三枝俊介	30(2)
29. 1. 14	水道事業の国際展開	埼玉県大久保浄水場 場長	久保田広志	51(4)
	埼玉県の地方創生	埼玉県企画財政部地域政策 課 主査	三好正智	
	次世代施設園芸の埼玉県における 推進と技術士の役割	一般社団法人日本施設園芸 協会技術部長	土屋和	
	X線自由電子レーザーSACLA を支える建設技術	国立研究開発法人理化学研 究所施設担当調査役	関口芳弘	
	東日本大震災復興支援活動	阿津沢技術士事務所 所長	阿津沢潔	
29. 1. 21	女性経営者としての共育(ともそ だち)	(株)クリタエイムデリカ 代表取締役	栗田美和子	52(23)
	越谷地区での女性活躍推進活動	越谷市環境経済部産業支援 課 副課長	岩永伸	
		越谷商工会議所中小企業相 談所 所長	伊藤猛	
		越谷商工会議所地域振興課 主幹	田中敦子	
	日本技術士会における男女共同参 画の取組み	(公社) 日本技術士会男女共 同参画推進委員会	神下栄	
輝きながら働くために	(公社) 日本技術士会男女共 同参画推進委員会	中田よしみ		
29. 1. 28	新規開業基本事項及び事例・留意 事項	増古技術士事務所 所長	増古恒夫	18
	早くから開業した事例と課題	ベルセッジ・インコーポレ ーテッド 日本代表	菅原宏	
	60代での開業事例紹介と課題	近藤技術士事務所 所長	近藤孝	
29. 2. 25	埼玉県の河川防災	埼玉県県土整備部 河川砂 防課	榎本澄香	28(2)

29. 3. 4	埼玉県施策・予算、埼玉県産業界の展望	埼玉県産業労働部産業支援課課長	増田文之	62 (12)
	わが社のイノベーション〜グローバル経営と展開〜	カネパッケージ (株) 代表取締役	金坂良一	
	事例報告「経営体質改善」	埼玉県よるず支援拠点 チーフコーディネーター	野口満	
	事例報告「経営革新」	埼玉県中小企業診断協会理事	小林貞夫	
	事例報告「製造業のイノベーション支援事例」	橋口技術士・中小企業診断士事務所 代表	橋口政弘	
28. 3. 25	技術士制度の重点事項の説明	TAKE 国際技術士事務所 所長	黒澤兵夫	19 (11)
	技術士補資格の取得に当たって (一次試験を中心に)	沖電気工業株式会社	小林建了	
	技術士資格の取得に当たって (二次試験を中心に)	株式会社ニコン半導体装置事業部	高橋正人	
	諸注意事項について	ベルセッジ・インコーポレイテッド 日本代表	菅原宏	

山梨県支部

28. 5. 28	地球温暖化の現状とその影響について	甲府地方気象台調査官	北野芳仁氏	20 (4)
28. 7. 30	・リニア時代の到来と山梨県の地域づくり ・甲府市リニア活用基本構想	・山梨県リニア交通局リニア推進課課長	依田誠二氏	26 (5)
		・甲府市企画部リニア交通政策監 (部長)	秋山益貴氏	
28. 10. 25	「技術支援交流会」 ・宇宙開発の取組み ・共同研究と地域産業活性化 ・県の重点産業支援施策 ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業の概要 ・当所における試作・モデリングに関する技術支援体系 ・ICTを支える電子部品実装装置事業のグローバル競争環境と取組みについて」	AXA (国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構) 新事業促進部 ・山梨大学工学部機械工学科	阿久津亮夫氏	36 (20)
		県産業労働部新事業・経営革新支援課長 公益財団法人やまなし産業支援機構プロフェッショナル人材戦略拠点長	園家啓嗣氏	
		山梨県工業技術センター パナソニック ファクトリーソリューションズ株式会社	内藤裕利氏	
			廣瀬典仁氏	
28. 12. 10	・15分ゼミナール	会員技術士9名による研究	鈴木文晃氏 酒井一信氏	16 (2)

		発表		
29. 3. 4	ヘルスケア食品の動向 ブドウの新仕立て法「ハヤシマート・システム」について	食と生活文化研究所 代表 技術士（農業部門） 山梨大学生命環境学部准教授	木村友浩氏 山下裕之氏	10 (1)

長野県支部

28. 7. 9	北アルプスの成り立ち－地質探偵 ハラヤマ－	信州大学学術研究院（理学系）教授	原山 智	55 (15)
28. 9. 10	生物多様性の機能を活かしたこれからの社会基盤のありかた	日本ピオトップ管理士会会長	高山 光弘	22 (5)
28. 9. 24	岐阜県奥飛騨温泉郷中尾高原における地熱開発事業の取り組み（掘削現場の見学会を含む。）	(有)中尾温泉代表取締役社長 (株)イノベーション・テクノロジー代表取締役	内野 政光 小松 茂美	15 (3)
28. 12. 3	南信工科短期大学校について 防災行政無線のデジタル化について （南信工科短期大学校の見学会を含む。）	長野県南信工科短期大学校校長 長野県南信工科短期大学校教授	大石 修治 蟹江 知彦	18 (1)
29. 1. 29	掘ってわかった信州の原始・古代 （歴史館のバックヤード見学会を含む。）	長野県立歴史館考古資料課長	大竹 憲昭	72 (52)

茨城県支部

28. 4. 2	形骸化 ～そのマニュアル、表、それとも裏～	(有)かにでん 代表取締役	手島久	47 (13)
28. 4. 29	技術士談話（経験）	(国研)日本原子力研究開発機構 副主幹	井上賢紀	8 (2)
28. 5. 14	総合的流域水質管理からみる霞ヶ浦の水質対策	茨城大学農学部地域環境科学科 教授	黒田久雄	43 (17)
28. 6. 18	技術士談話（経験談）	茨城県支部 研修委員長	小林守	3
28. 6. 26	途上国地球温暖化対策支援プロジェクトについて	芦ヶ原環境エネルギー開発企画 所長	芦ヶ原治之	62 (10)
	日本と海外の湖沼環境問題 ～世界湖沼会議に向けて～	筑波大学生命環境系 教授	福島武彦	
28. 8. 6	技術士会の倫理要綱に関する最近の動向	日本技術士会 元倫理委員会委員長	林 克己	32 (2)
28. 9. 10	エンジニアに必要な交渉力	日立産業情報ソリューションズ総務本部人材開発部 主管技師	鈴木但義	14

28. 10. 15	技術士挑戦へのキッカケ	日立産業情報ソリューションズ総務本部人材開発部 主管技師	鈴木但義	3 (1)
28. 10. 29	ひたち立志塾の活動を通して見えたもの	ひたちなか商工会議所 企業支援部 部長	小泉力夫	22 (3)
28. 12. 17	『再生可能エネルギーと次世代グリッドの技術動向』	(株)日立製作所 電力ビジネスユニット 統括技術主管	八坂保弘	33 (1)
29. 1. 21	那珂湊の反射炉	茨城県産業技術短期大学校 講師	加藤木和夫	52 (7)
	茨城県の製造業の現状と支援施策	茨城県商工労働観光部 理事兼次長	中嶋勝也	
28. 2. 11	技術士制度の変更説明	茨城県支部 研修委員長	小林守	6 (2)
28. 2. 18	IT/数学を用いた溶接技能の抽出とレーザ溶接の話	(国研)産業技術総合研究所 主任研究員	瀬渡 直樹	27 (8)
	建設機械における溶接技術の紹介	日立建機(株) 研究本部 技術開発センター 部長	山本 光	

千葉県支部

28. 4. 16	電波関連研修会 ①ハムの魅力 ②最近の電波事情と電波障害	技術士(化学) 支部幹事	今住則之	30
		技術士(情報工学)	小暮裕明	
28. 5. 14	合格者祝賀会 支部の魅力あふれる活動(活動推進委員会のチームリーダー5名による活動案内)	①技術士(化学/総合技術監理) ②技術士(経営) ③技術士(建設) ④技術士(化学) ⑤技術士(情報)	①宮田隆夫 ②志澤達司 ③江藤政継 ④滝沢利治 ⑤西田 宏	52 (10)
28. 7. 18	年次大会特別講演会 最近の気象情報の進化とビジネスへの活用	(株)ウェザーニューズ 執行役員	安部大介	61 (8)
28. 9. 3	防災研修会 ①大規模公益災害に対する地域の備え ②過去の災害広報から学ぶ	①一般財団法人AVCC チーフ コンサルタント ② (有)シン取締役社長	①葛西章広 ②石川慶子	43 (2)
28. 10. 15	科学技術講演会 IoTとSecurity	千葉大学 総合情報センター 大学情報企画運営部門教授 (工学博士)	今泉貴史	47 (8)
28. 11. 12	経営トップによる講演会 ①超電導利用に不可欠なヘリウム再利用技術開発 ②鉛の有益側面からの用途開発	①(株)新領域技術研究所代表 取締役社長 ②ヨシザワ LA(株)取締役社長 (東葛テクノ会会長)	①武田常弘 ②佐久本明	19 (1)
28. 11. 16	県内技術士会4団体の合同勉強会 ①都市・土木史について ②i-Constructionについて	①日本大学理工学部准教授 ②国土交通省大臣官房 技術調	①阿部貴弘 ②梶谷有吾	76 (63)
		コマツ(株)スマートコン ラクション推進室長	西原研一	
28. 12. 10	開業技術士の経験とノウハウ	①川口技術士事務所所長、②	①川口洋一	40

	①技術士業務と産学連携 ②技術士事務所開設にあたって準備すべき事柄 ③技術士としてやってきたこと	畑技術士事務所所長、③E&T0 (江藤技術士事務所 代表)	②畑 明 ③江藤政継	
29. 1. 14	新春講演会 犯罪捜査と科学－微細証拠物件－ 天然物質と工業製品	科学警察研究所法化学第3部化学第4室長	杉田律子	56 (5)
29. 2. 5	防災講演会フォーラム 地震発生メカニズムと予測研究	国立大学法人東京海洋大学 学術研究院特任教授 (東京大学 名誉教授)	木村 学	229 (208)
29. 3. 25	技術支援事例研修会 支援業務を実施した技術士の経験 とアドバイス	①技術士 (機械) ②技術士 (機械) ③技術士 (建設)	①中野 昇 ②中村吉男 ③山下六男	37

栃木県支部

28. 6. 4	「栃木県工業振興課における技術 振興施策について」	栃木県工業振興課ものづく り企業支援室	中川友也	34 (5)
28. 7. 22	第1回 CPD 研修会	支部会員及び協賛団体	川上寛児 羽山定治 稲葉 茂 萩原良章	32 (10)
28. 11. 12	秋の科学技術講演会 『“人工血液” 研究最前線』	中央大学理工学部教授	小松晃之	30 (8)
28. 11. 25	第2回 CPD 研修会	土木学会土木情報学委員会	石田 仁 小島文寛 五十嵐善一	21 (12)
28. 12. 10	12月期「講演会」	支部会員	小川正順 松本 茂 益子 崇 稲葉 茂 金澤政和 川上寛児 井本郁子	38 (4)
29. 2. 22	「技術士を志す方への情報提供講 座」	技術士第二次試験合格者	井上直也 堀内 仁 景山晃弘	35 (28)

群馬県支部

28. 7. 22	特防災の視点で考える電力改革と公 共施設の在り方	技術士 (建設部門)、一般社 団法人ソーシャルテクニカ 代表	大村 裕美	34 (7)
29. 2. 24	ロボット/UAVによる土木・建 設・施設管理分野のICT活用に ついて	産業技術総合研究所/知能 システム研究部門 主任研究 員 一般社団法人日本UAS産 業振興協議会 (JUIDA) 常務理事	岩田 拓也	107 (87)

29. 2. 24	UAV 活用に関する県の施策について	群馬県県土整備部建設企画課 技術調査係長	鈴木 修	107 (87)
29. 2. 24	UAV を用いた公共測量マニュアル(案) の実践と課題	国際航業(株) 技術本部 センシング技術担当部長	村木 広和	107 (87)
29. 2. 24	3次元計測の現状	(株)トプコンソキアポジションングジャパン スマートインフラマーケティング 国内営業開発課	大谷 仁志	107 (87)
29. 2. 24	点検ロボットの実用化に向けた取り組み	(株)イクスリスサーチ 代表取締役	山崎 文敬	107 (87)
29. 3. 10	高レベル放射性廃棄物の地層処分について	原子力発電環境整備機構(NUMO) 技術部部長/交流部専門部長	山田 基幸 富森 卓	22 (3)

資料 49 地域本部管轄下の県支部における主な見学会

※ 右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

東北本部 宮城県支部	28. 6. 11	統括本部行事「東日本大震災 5 年目シンポジウム」関連 行事 「女川・石巻被災地復興研修視察」 建設部会・青年委員会合同企画	27
	29. 1. 26	石巻市内の下記地区・施設 ①石巻市新門脇地区被災市街地復興土地区画整理事業 施工地 ②旧北上川河川堤防・新内海橋・中央地区の公営住宅・ 再開発地区 ③復興まちづくり情報交流館中央館 ④石巻市中央水産地方卸売市場 ⑤魚町一丁目津波避難タワー ⑥石巻市運動公園聖火台	18
東北本部 青森県支部	28. 9. 23	駒込ダム メタルロード工法	32 (8)
東北本部 福島県支部	28. 5. 12	ハイテクプラザ施設見学・ロボットスーツ装着体験	20
東北本部 山形県支部	28. 10. 14	鶴岡浄化センター TTCK (鶴岡タウンキャンパス) 鶴岡サイエンスパーク	21
	28. 10. 15	鶴岡市文化会館建築現場 月山ダム	
東北本部 岩手県支部	28. 6. 21	久慈市長内町 市道橋梁下部工事	13 (3)
	28. 10. 19	梁川ダム堤体工事現場	19 (7)
	28. 12. 9	山田線 松草・平津戸間復旧工事	11 (2)
中部本部 愛知県支部	28. 10. 26	J F E スチール (株) 知多製造所 新日鐵住金 (株) 名古屋製造所	28 (2)
中部本部 三重県支部	28. 9. 29	東海環状自動車道建設現場 養老 I C 付近 (岐阜県養老 町)	11
	29. 3. 9	①三菱重工業株式会社小牧南史料館 ②三菱重工業株式会社MR J 最終組立工場及びMR J Museum	21 (1)
近畿本部 兵庫県支部	29. 2. 18	野島断層保存館・福良港津波防災ステーション	18 (1)
中国本部 岡山県支部	28. 5. 14	備中松山城及び山田方谷	22 (5)
	28. 10. 15	土木遺産の水道用ダム視察及び宮原浄水低区配水池、 二河水源取入口、本庄水源堰堤等の施設見学	8 (1)
	28. 11. 12	倉敷立会高梁川大橋、玉島・笠岡道路工事現場見学	17 (4)
九州本部 大分県支部	28. 10. 14	大分川ダム建設現場、白水溜池堰堤 (通称：白水ダ ム)	17
九州本部 宮崎県支部	28. 11. 23	①霧島酒造(株) 志比田工場 ②住友ゴム工業(株) 宮崎工場	11
九州本部 鹿児島県支部	28. 10. 8	熊本地震現地	35 (16)

九州本部 長崎県支部	28. 5. 26	中島川河川改修工事現場	17 (10)
	28. 10. 19	大村市・東彼杵町のため池と茶畑	16 (3)

資料 50 関東甲信地域の県支部における主な見学会

※ 右欄の数字は参加者数、()はそのうち一般の参加者数を示す

神奈川県支部	29. 2. 18	(株) アマダ「ソリューションセンター」	78 (8)
	29. 3. 7	(株) リコー環境事業開発センター	32
埼玉県支部	28. 6. 14	独立行政法人日本原子力研究開発機構 JAEA 及び東海開発センター	14
	28. 6. 18	「防災体験学習」 埼玉県防災学習センター（都市計画づくりの講演と防災施設の体験学習）	29
	28. 9. 28	「日本の鉄道の歴史と特徴」 鉄道博物館（日本の鉄道の歴史と特徴を知り埼玉県の鉄道の歴史を理解し、鉄道事業の行く末について考察）	25
	29. 2. 25	「埼玉県の河川防災」 埼玉県立川の博物館（荒川大型模型の見学と防災に係る映画鑑賞を行う。）	28 (2)
山梨県支部	28. 9. 24	(1) 山梨県立リニア見学センター（都留市小形山 2381） (2) 都留市家中川小水力発電設備	10 (1)
茨城県支部	28. 11. 9	東京ガス日立 LNG 基地 日立製作所小平記念館	15
	29. 3. 10	(国研) 産業総合技術研究所先端技術研究部門 日立建機(株) 神立工場	26 (4)
栃木県支部	28. 5. 16	古河電工日光事業所	3
	28. 5. 23	東京電力パワーグリッド鬼怒川制御所	4
	28. 7. 13	IHI 相馬工場	2
	28. 9. 27	古河電工日光事業所	1
	28. 10. 27	東京電力パワーグリッド鬼怒川制御所	3
	28. 10. 27	古河電工日光事業所	4
	28. 11. 4	本田技研寄居完成車工場	1
	28. 11. 20	JIMTOF	2
	28. 11. 22	コマツ小山工場	2
	28. 11. 22	長府製作所宇都宮工場	2

	28. 11. 25	富士重工業宇都宮製作所	1
群馬県支部	28. 11. 25	株式会社原田・ガトーフェスタ ハラダ 本社工場	15 (4)

資料 51 地域本部管轄下の県支部、部門別正会員・準会員数
(平成29年3月31日)

【正会員】		東北本部						北陸本部
部門	県支部	宮城	青森	秋田	山形	福島	岩手	富山
機械		7	3	1	2	10	4	12
船舶・海洋		0	0	0	0	0	0	0
航空・宇宙		0	0	0	0	0	0	0
電気電子		47	2	2	6	10	6	8
化学		0	0	0	1	1	0	1
繊維		0	0	0	0	1	0	0
金属		1	1	2	0	1	0	4
資源工学		0	0	0	0	0	0	0
建設		377	41	59	49	64	72	68
上下水道		24	7	12	4	11	9	8
衛生工学		7	0	1	0	3	1	5
農業		39	23	18	16	18	15	11
森林		4	12	6	2	8	10	4
水産		4	1	1	0	1	1	1
経営工学		3	0	2	1	3	0	3
情報工学		2	0	0	3	6	1	2
応用理学		44	4	10	7	5	14	6
生物工学		1	1	1	0	0	0	0
環境		9	2	3	4	3	6	3
原子力・放射線		1	5	1	0	3	0	1
総合技術監理		163	24	32	11	31	38	45
(部門別数 計)		733	126	151	106	179	177	182
会員数 計		537	95	108	90	141	122	133

【準会員】		東北本部						北陸本部
部門	県支部	宮城	青森	秋田	山形	福島	岩手	富山
機械		7	1	0	1	4	2	4
船舶・海洋		0	0	0	0	0	0	0
航空・宇宙		1	0	0	1	0	1	0
電気電子		13	2	3	3	1	2	3
化学		0	0	0	3	2	1	1
繊維		0	0	0	1	0	0	0
金属		2	1	1	0	1	1	0
資源工学		0	0	0	0	1	0	0
建設		42	11	12	10	29	19	14
上下水道		5	1	2	2	5	2	4
衛生工学		3	0	2	1	1	0	1
農業		8	4	3	2	7	2	0
森林		1	0	2	0	1	3	0
水産		0	1	0	0	1	1	0
経営工学		1	0	1	1	0	0	0
情報工学		3	0	0	2	1	1	2
応用理学		4	0	1	0	0	1	1
生物工学		4	1	0	1	1	2	2
環境		15	1	0	4	9	3	6
原子力・放射線		1	3	0	0	0	0	0
総合技術監理		0	0	0	0	0	0	0
(部門別数 計)		110	26	27	32	64	41	38
準会員数 計		77	23	21	27	48	29	33

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

【正会員】

部門	県支部				中部本部			近畿	中国本部	
	愛知	岐阜	三重	静岡	兵庫	岡山	山口			
機械	118	15	12	43	126	13	17			
船舶・海洋	0	0	1	1	5	0	2			
航空・宇宙	11	9	1	0	3	0	0			
電気電子	74	13	4	24	92	10	4			
化学	20	5	8	12	23	7	5			
繊維	8	1	0	0	8	1	0			
金属	20	3	1	9	17	3	4			
資源工学	1	0	0	0	1	0	0			
建設	309	68	36	59	150	57	45			
上下水道	47	6	10	19	47	6	5			
衛生工学	33	3	2	6	30	3	2			
農業	35	7	12	7	4	10	4			
森林	11	6	0	10	4	3	0			
水産	3	0	1	1	4	0	1			
経営工学	24	8	1	9	35	1	4			
情報工学	34	2	2	7	29	3	1			
応用理学	22	1	3	13	15	6	11			
生物工学	4	1	0	8	8	2	3			
環境	21	5	2	9	14	3	3			
原子力・放射線	0	0	0	2	16	2	0			
総合技術監理	189	52	22	34	148	45	25			
(部門別数計)	984	205	118	273	779	175	136			
会員数計	711	146	89	219	576	119	102			

【準会員】

部門	県支部				中部本部			近畿	中国本部	
	愛知	岐阜	三重	静岡	兵庫	岡山	山口			
機械	61	10	7	28	52	4	4			
船舶・海洋	0	0	0	0	1	0	0			
航空・宇宙	12	1	0	1	1	0	0			
電気電子	32	6	10	10	28	1	3			
化学	14	4	8	9	9	1	3			
繊維	0	0	0	0	1	0	1			
金属	5	1	0	4	4	0	0			
資源工学	0	0	0	0	0	0	0			
建設	47	12	12	16	32	9	19			
上下水道	11	6	1	5	9	3	2			
衛生工学	13	1	3	2	9	2	0			
農業	1	1	4	2	2	0	1			
森林	1	1	0	1	1	1	0			
水産	4	0	0	3	1	0	0			
経営工学	4	1	2	2	9	1	1			
情報工学	15	1	2	6	14	0	1			
応用理学	2	1	3	2	6	0	3			
生物工学	8	2	1	4	6	4	0			
環境	29	5	8	2	18	3	2			
原子力・放射線	0	1	0	0	3	0	0			
総合技術監理	1	2	0	0	1	1	0			
(部門別数計)	260	56	61	97	207	30	40			
準会員数計	214	49	50	88	160	25	33			

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

【正会員】

部門	中国本部		九州本部				
	鳥取	大分	鹿児島	宮崎	佐賀	熊本	長崎
機械	1	1	1	4	3	2	17
船舶・海洋	0	0	0	0	0	0	1
航空・宇宙	0	0	0	0	0	0	0
電気電子	0	2	3	1	1	3	6
化学	2	1	0	1	0	1	3
繊維	0	0	0	0	0	0	0
金属	2	0	1	0	3	0	1
資源工学	1	0	0	0	0	1	0
建設	24	65	45	44	35	47	32
上下水道	3	7	6	8	0	8	6
衛生工学	0	0	2	1	1	1	2
農業	5	9	12	12	10	15	11
森林	1	5	2	2	1	5	4
水産	1	2	1	0	0	1	3
経営工学	0	1	2	2	0	2	0
情報工学	0	2	1	1	0	2	1
応用理学	5	3	6	3	5	9	2
生物工学	0	2	0	1	0	0	0
環境	2	2	5	3	1	2	3
原子力・放射線	0	0	0	0	0	0	0
総合技術監理 (部門別数 計)	56	131	114	101	73	122	112
会員数 計	43	99	85	76	57	83	87

【準会員】

部門	中国本部		九州本部				
	鳥取	大分	鹿児島	宮崎	佐賀	熊本	長崎
機械	1	0	2	1	2	2	7
船舶・海洋	0	0	0	1	0	0	0
航空・宇宙	0	1	0	0	0	0	0
電気電子	1	1	5	2	0	2	3
化学	1	1	1	1	0	0	0
繊維	0	0	0	0	0	0	0
金属	0	2	0	1	0	1	0
資源工学	0	0	0	0	0	0	0
建設	6	11	10	13	3	10	11
上下水道	1	1	3	2	2	1	2
衛生工学	1	1	1	0	0	4	2
農業	1	1	1	1	1	0	2
森林	0	1	0	0	2	0	0
水産	0	1	0	1	0	0	0
経営工学	1	1	0	2	1	1	1
情報工学	1	1	2	0	1	3	2
応用理学	1	1	2	0	0	1	0
生物工学	3	2	2	0	0	0	0
環境	1	2	7	4	0	3	3
原子力・放射線	0	0	0	0	0	0	0
総合技術監理 (部門別数 計)	19	28	36	29	12	28	33
準会員数 計	15	20	26	23	11	24	28

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

資料 52 関東甲信地域における県支部、部門別正会員・準会員数
(平成29年3月31日)

【正会員】

県支部 部門	神奈川	埼玉	山梨	長野	千葉	茨城	栃木	群馬
機械	261	79	5	12	102	82	23	23
船舶・海洋	1	0	0	0	2	0	0	0
航空・宇宙	11	2	0	0	4	3	0	0
電気電子	239	117	2	13	121	73	17	8
化学	87	18	0	2	56	12	4	4
繊維	10	3	0	0	3	1	1	0
金属	58	30	2	4	31	17	6	1
資源工学	5	4	1	0	13	1	0	0
建設	284	258	18	82	231	86	39	33
上下水道	74	49	4	13	50	16	8	16
衛生工学	59	36	1	2	45	11	3	4
農業	37	32	3	9	31	17	9	6
森林	8	6	2	10	9	1	1	5
水産	16	13	0	0	16	5	0	0
経営工学	96	20	3	6	31	17	7	4
情報工学	170	50	0	4	58	38	1	2
応用理学	55	45	1	14	26	25	3	4
生物工学	19	4	1	2	10	6	1	2
環境	52	24	1	6	21	5	1	3
原子力・放射線	39	5	0	0	4	65	2	1
総合技術監理	337	199	10	47	183	118	18	19
(部門別数計)	1,918	994	54	226	1,047	599	144	135
会員数計	1,488	736	43	161	816	441	124	105

【準会員】

県支部 部門	神奈川	埼玉	山梨	長野	千葉	茨城	栃木	群馬
機械	95	33	8	19	34	27	7	5
船舶・海洋	1	0	0	0	1	0	0	0
航空・宇宙	4	1	0	1	2	6	1	0
電気電子	73	31	5	6	42	21	8	4
化学	26	15	1	1	14	10	3	3
繊維	0	0	0	0	1	0	0	0
金属	12	3	0	1	9	3	4	1
資源工学	0	0	0	0	1	0	0	0
建設	60	46	5	23	46	15	10	15
上下水道	21	17	1	7	19	9	4	1
衛生工学	20	9	0	0	9	7	2	2
農業	7	8	0	1	8	4	3	1
森林	3	2	1	0	2	1	2	0
水産	3	2	0	0	5	1	0	0
経営工学	26	13	1	0	10	7	3	1
情報工学	64	29	1	2	23	13	5	3
応用理学	12	10	0	1	4	7	1	0
生物工学	25	10	1	2	10	7	3	1
環境	37	28	5	6	24	10	2	9
原子力・放射線	2	2	0	0	2	6	0	0
総合技術監理	3	0	0	0	1	1	0	0
(部門別数計)	494	259	29	70	267	155	58	46
準会員数計	412	217	27	60	220	115	50	32

注1: 複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2: 準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

資料 53 地域本部、部門別 女性正会員・準会員数（平成29年3月31日）

【正会員】

部門	地区	地域本部所属									地域本部以外(※)	合計
		北海道	東北	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	小計		
機械					2	4			1	7	5	12
船舶・海洋										0		0
航空・宇宙										0	2	2
電気電子							1			1	2	3
化学										0	2	2
繊維						1				1	3	4
金属				1					1	2	3	5
資源工学										0	2	2
建設		6	8	9	5	15	4	5	7	59	60	119
上下水道		1	1		1		2		2	7	14	21
衛生工学						2	1		2	5	4	9
農業		5		1	1				2	9	2	11
森林		1		1	1	1			0	4	3	7
水産		2					1			3	4	7
経営工学										0	6	6
情報工学				1	1	2				4	15	19
応用理学			1			0			4	5	9	14
生物工学		2				3	1	1	1	8	8	16
環境		1	3	1	1	3	3	2	4	18	23	41
原子力・放射線										0	3	3
総合技術監理		5	3	3	1	5	3		6	26	37	63
(部門別数計)		23	16	17	13	36	16	8	30	159	207	366
会員数計		15	13	12	11	29	8	6	20	114	150	264

【準会員】

部門	地区	地域本部所属									地域本部以外(※)	合計
		北海道	東北	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	小計		
機械					1		1		1	3	6	9
船舶・海洋										0	1	1
航空・宇宙										0	1	1
電気電子		1				2				3	3	6
化学					2		1			3	8	11
繊維						1				1	1	2
金属										0	1	1
資源工学										0	0	0
建設		2	2	1	1	4	2		4	16	15	31
上下水道				1	1					2	5	7
衛生工学		1				1				2	0	2
農業			0		2		1		1	4	7	11
森林		1							1	2	3	5
水産					1				1	2	2	4
経営工学					1					1	5	6
情報工学		1			1	2				4	4	8
応用理学						2				2	4	6
生物工学		2	1		2	6	1	2	2	16	11	27
環境		1	5	2	4	6		4	2	24	23	47
原子力・放射線										0	1	1
総合技術監理										0	1	1
(部門別数計)		9	8	4	16	24	6	6	12	85	102	187
準会員数計		9	4	3	16	18	6	5	9	70	82	152

注1：※印は、関東・甲信地区（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県及び長野県）及び沖縄県を示す。

注2：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。（準会員は複数部門の登録・合格者は無し）

注3：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

資料 54 会員による活動グループの異動状況（統括本部登録）

登録取消されたグループ

No.	登録取消年月日	グループ名称	責任者
1	平成 28 年 6 月 29 日	コンサルティングエンジニア育成 支援研究会	本田 尚士 (化学)
2	平成 28 年 6 月 29 日	神奈川 PL センター	青山 進 (繊維)
3	平成 29 年 3 月 31 日	技術図書刊行会	岩熊 まき (応用理学)

※ 平成 29 年 3 月 31 日現在、下記の 46 グループが登録されている。

登録グループ名	登録グループ名
科学技術リテラシー向上支援フォーラム	IT21の会
持続可能な社会推進センター	パソコン通信システム
新エネルギー研究会	企業内技術士交流会
食品技術士センター	溶接接合研究会
生体・環境、保全交流会	技術士翻訳センター
経営管理チーム	省エネ相談センター
データサイエンス研究会	労働安全衛生コンサルタントグループ
知財コンサルティングセンター	技術融合センター
事故技術研究会	子どもの安全研究グループ
技術者倫理研究会	情報化研究会
環境マネジメントセンター	事故調査手法研究会
食品産業関連技術懇話会	コンプライアンス/リスク・マネジメントセンター
中小企業支援グループ	ロボット技術研究会
実装技術研究会	成功・失敗体験教育研究会
日中技術交流センター	わくわく理科教育の会
エネルギー開発センター	神奈川 環境経営支援センター
高分子材料技術情報交流会	神奈川 ISO・経営支援センター
科学技術鑑定センター	TQM 経営支援研究会
技術士包装物流グループ	技術士ライフプラン研究会
新規開業技術士支援研究会	東京でビジネスを考える会
WPETF〔技術者をめざす女子学生を支援する 会〕	WIPO Green 推進研究会
メコン川流域技術協力フォーラム	製品安全技術士センター
製造物責任技術相談センター	IPD 研究会(初期技術者教育を研究する会)

資料 55 平成 28 年度技術士試験実施状況

事 項	第一次試験		第二次試験	
	平成 28 年度	平成 27 年度 (参考)	平成 28 年度	平成 27 年度 (参考)
試験施行に関する 公告 (文部科学省公告)	28. 3. 1	27. 3. 2	28. 3. 1	27. 3. 2
受験申込受付期間	28. 6. 20～7. 1	27. 6. 16～7. 1	28. 4. 6～4. 27	27. 4. 6～4. 27
筆記試験の実施	28. 10. 9	27. 10. 12	28. 7. 17 28. 7. 18	27. 7. 19 27. 7. 20
筆記試験の試験地	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県
筆記試験合格者発表	—	—	28. 10. 27	27. 10. 29
口頭試験の実施	—	—	28. 11. 25～12. 23 29. 1. 6～1. 19	27. 11. 27～12. 23 28. 1. 7～1. 20
合格者の発表 (文部科学省公告)	28. 12. 15	27. 12. 16	29. 3. 1	28. 3. 1

資料 56 技術部門別 女性技術士登録者数

(平成29年3月末日現在)

技術部門名	技 術 士 登 録 者 数										対前年度 増減	
	1部門	2部門	3部門	4部門	5部門	6部門	7部門	8部門	9部門	10部門		合 計
機 械	22	2									24	5
船 舶・海 洋											0	0
航 空・宇 宙	1	1									2	0
電 気 電 子	9	1									10	1
化 学	10										10	1
繊 維	11	1									12	0
金 属	9	1									10	0
資 源 工 学	5										5	0
建 設	642	176	36	2	2						858	42
上 下 水 道	110	27	1	2	1						141	10
衛 生 工 学	40	4	2	1							47	3
農 業	77	11	4	1	2						95	6
森 林	22	10	2								34	6
水 産	8	10									18	0
経 営 工 学	8	2		1							11	1
情 報 工 学	28	11	1	1							41	1
応 用 理 学	52	17	6	1	2						78	5
生 物 工 学	24	2									26	4
環 境	121	52	29	3	1						206	8
原子力・放射線	5										5	0
総合技術監理		170	36	4	2						212	13
合 計	1,204	498	117	16	10	0	0	0	0	0	1,845	106
		×1/2	×1/3	×1/4	×1/5	×1/6	×1/7	×1/8	×1/9	×1/10		
登 録 者 実 数	1,204	249	39	4	2	0	0	0	0	0	1,498	83

資料 57 技術部門別 女性技術士補登録者数

(平成29年3月末日現在)

技術部門名	技 術 士 補 登 録 者 数					
	1部門	2部門	3部門	4部門	合 計	対前年度増減
機 械	17				17	2
船 舶 ・ 海 洋						0
航 空 ・ 宇 宙	3				3	0
電 気 電 子	19				19	1
化 学	26				26	4
織 維	1				1	0
金 属	3				3	0
資 源 工 学	2				2	0
建 設	1,472	3			1,475	176
上 下 水 道	213	3	1		217	16
衛 生 工 学	34		1		35	6
農 業	329	2			331	40
森 林	62	2			64	5
水 産	35	1			36	2
経 営 工 学	9				9	0
情 報 工 学	44	1			45	3
応 用 理 学	221				221	29
生 物 工 学	96				96	4
環 境	469	2	1		472	25
原子力・放射線	3				3	1
合 計	3,058	14	3	0	3,075	314
		×1/2	×1/3	×1/4		
登 録 者 実 数	3,058	7	1	0	3,066	315